

令和 4 年 度

若者の地元就職促進事業調査結果報告書

令和 5 年 3 月

函 館 市

目 次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果【高校生】	2
1. 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 居住地	3
(3) 一人暮らしの生活費	4
(4) 卒業後の進路希望	5
2. 進学予定者	6
(1) 進学後の学費や生活費	6
(2) 貸与型奨学金の利用予定	7
(3) 将来働きたい職場	8
(4) 卒業後は函館で働きたいか	9
(5) 函館で働きたいと思う理由	10
(6) 函館での就職を検討する際に役立つこと	11
(7) 函館で働きたいと思わない理由	12
3. 就職予定者	13
(1) 志望業種	13
(2) 将来働きたい職場	14
(3) 就職先や仕事を決めるときに参考にすること	15
(4) 就職活動で不安に思うこと	16
(5) 会社について知りたいこと	17
(6) 函館で働きたいと思う理由	18
(7) 就職先があれば「うれしい」制度	19
(8) 函館で働きたいと思わない理由	20
4. 進路未定	21
(1) 将来働きたい職場	21
5. 函館で働きたいと思う人を増やすためのアイデア	22

Ⅲ. 調査結果【大学生等】	23
1. 回答者の属性	23
(1) 性別	23
(2) 学年	24
(3) 出身地	25
(4) 貸与型奨学金制度の利用	26
(5) 給付型奨学金制度の利用	27
2. インターンシップについて	28
(1) インターンシップ経験の有無	28
(2) インターンシップに参加した学年	29
(3) インターンシップに参加した月	30
(4) インターンシップに参加した日数	31
(5) インターンシップに参加した目的	32
(6) 興味のあるインターンシップ内容	33
3. 就職について	34
(1) 志望業種	34
(2) 将来働きたい職場	35
(3) 就職先を検討する際の情報源	36
(4) 企業について知りたいこと	37
(5) あれば「うれしい就職支援の取り組み」	38
(6) 就職先があれば「うれしい制度」	39
(7) 卒業後は函館で働きたいか	40
(8) 函館で働きたいと思う理由	41
(9) 函館で働きたいと思わない理由	42
4. 貸与型奨学金制度の利用者	43
(1) 利用している貸与型奨学金の種類	43
(2) 年間の返還予定額	44
(3) 返還予定期間	45
(4) 返還補助のある函館の企業はエントリー候補になり得るか	46
(5) 函館の企業の返還補助は入社する動機になり得るか	47
5. 函館で働きたいと思う人を増やすためのアイデア	48

IV. 調査結果【若手社員】	49
1. 回答者の属性	49
(1) 性別	49
(2) 年齢	50
(3) 最終学歴	51
(4) 現在の居住地	52
(5) 入社年	53
(6) 入社形態	54
(7) 高校卒業時の居住地	55
(8) 高校卒業後の居住	56
(9) 世帯状況	57
(10) 貸与型奨学金制度の利用	58
(11) 給付型奨学金制度の利用	59
2. 現在の勤務先について	60
(1) 業種	60
(2) 函館で就職した理由	61
(3) 何社応募したか	62
(4) 就職のとき重視した点	63
(5) 勤務先を選ぶ際に参考にしたこと	64
(6) 入社後ギャップを感じたこと	65
(7) 充実させるべき就職支援の取組	66
3. 若者の地元就職・定着のための考えや感じたこと	67
V. 調査結果【企業】	68
1. 回答者の属性	68
(1) 業種	68
(2) 従業員数	69
(3) 採用実績	70
(4) 人事・採用業務の担当者	71
2. 29歳以下の若手正規従業員の採用について	72
(1) 今後3年間の採用予定	72
(2) 募集方法	73

(3) 選考方法	74
(4) 採用活動における課題	75
(5) 採用促進のため実施していること・実施してみたいこと	76
(6) 採用確保のため市に求める支援策	78
(7) どのような方を採用したいか	79
3. 新規高卒者の採用について	80
(1) 自社に定着するための課題	80
4. 新規大卒者等の採用について	81
(1) 採用活動開始時期	81
(2) 採用活動が6月以降となる最大の理由	82
5. 貸与型奨学金返還支援制度について	83
(1) 返還している社員を把握しているか・把握している人数	83
(2) 社員の返還支援制度を実施しているか	84
(3) 返還支援制度は採用活動にとって利点になるか	85
(4) 返還支援制度は函館市への定着にとって利点になるか	86
(5) 返還支援制度を創設した場合の制度活用意向	87
(6) 返還に係る企業負担額	88
(7) 返還支援期間	89
(8) 制度を活用しない理由	90
6. 若者の地元定着実現のための考えや感じたこと	91
VI. 参考資料 調査票	92
1. 高校生	92
2. 大学生等	98
3. 若手社員	103
4. 企業	107

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、地域の将来を担う若者の地元就職の促進と定着に効果的な事業を検討するための基礎資料として活用することを目的に実施した。

2. 調査対象

- ・市内の高校に在学する高校生 1,088 人
- ・市内の高等教育機関に在学する大学生等 3,760 人
- ・下記の事業所に勤務する、令和4年4月1日時点で29歳以下の正規雇用の若手社員
- ・市内に所在する函館商工会議所・一般社団法人北海道中小企業家同友会函館支部の会員企業、函館しごとネット登録企業、函館市内立地企業 1,207 事業所

3. 調査期間

令和4年8月1日 ～ 令和4年10月31日

4. 調査方法

- ・調査票の配布・回収
- ・調査票の郵送・返信用封筒での回収
- ・チラシの配布・インターネット回答

5. 調査回収状況

	調査対象数	回答数	回答方法		回答率
			調査票	インターネット	
高校生	1,088	781	535	246	71.8%
大学生等	3,760	433	-	433	11.5%
若手社員	-	297	72	225	-
企業	1,207	423	260	163	35.0%

6. 集計・分析上の留意事項

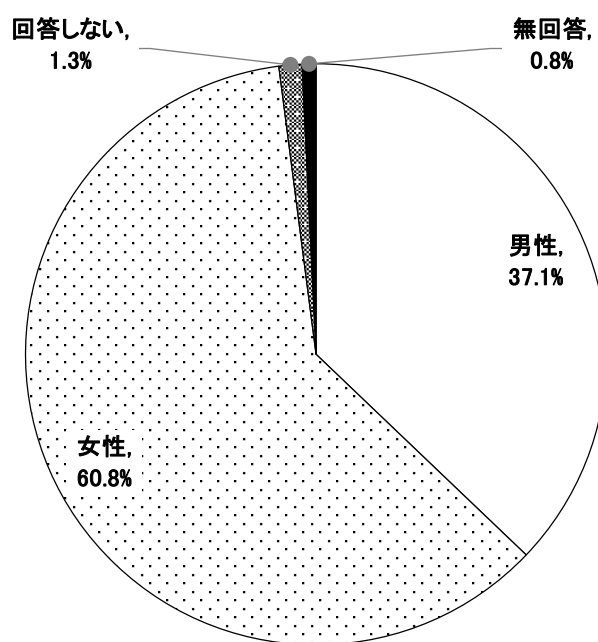
- ・比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答可の設問は、回答を2つ以上選択していることがあるため、百分率の合計が100.0%を越える場合がある。
- ・各質問のサンプル数は「n」で表記した。

II. 調査結果【高校生】

1. 回答者の属性

(1) 性別

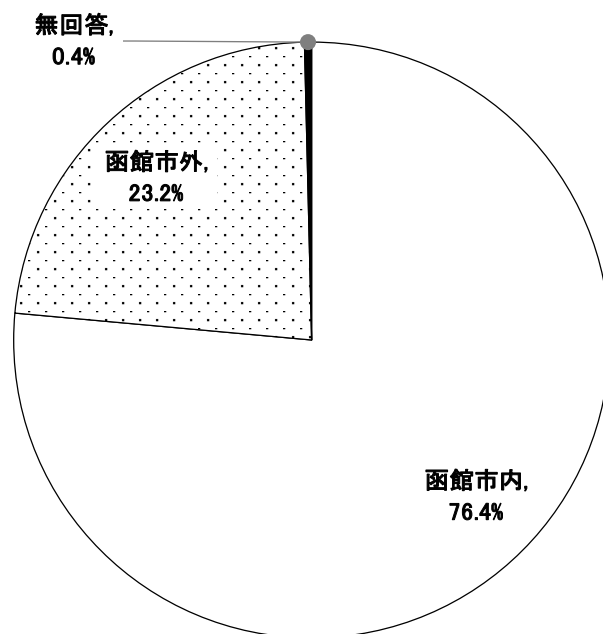
区分	男性	女性	回答しない	無回答	合計
総数	290 人	475 人	10 人	6 人	781 人
	37.1%	60.8%	1.3%	0.8%	100.0%



(n=781)

(2) 居住地

区分	函館市内	函館市外	無回答	合計
総数	597 人	181 人	3 人	781 人
	76.4%	23.2%	0.4%	100.0%



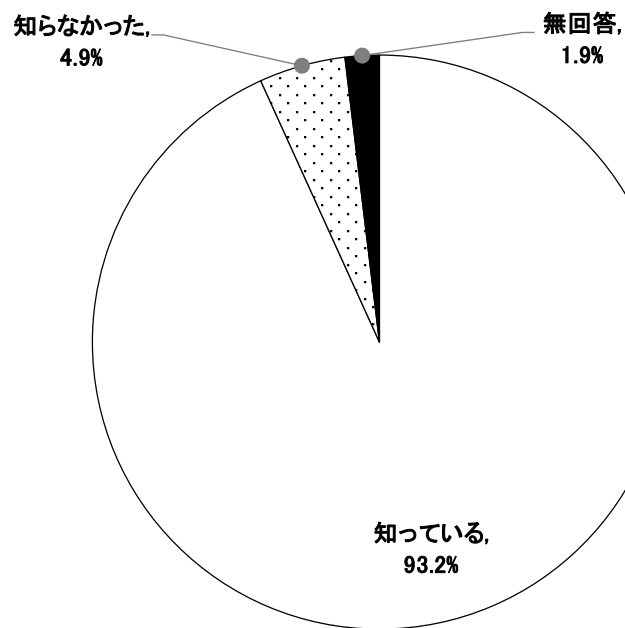
(n=781)

(3) 一人暮らしの生活費

東京など大都市圏では、地方よりも給料が高い一方で、家賃や物価などの生活費も多くかかることは知っていますか。(単数回答)

「知っている」が93.2%、「知らなかった」が4.9%となった。

区分	知っている	知らなかった	無回答	合計
総数	728人	38人	15人	781人
	93.2%	4.9%	1.9%	100.0%



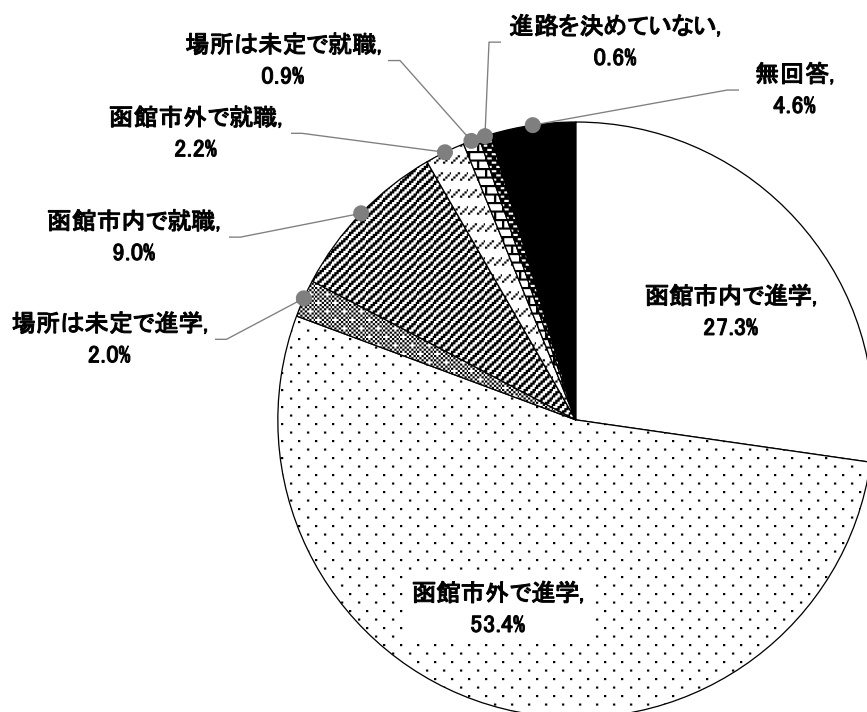
(n=781)

(4) 卒業後の進路希望

卒業後の希望進路を1つ選んでください。(単数回答)

「函館市外で進学したい」が53.4%と最も高く、次いで「函館市内で進学したい」が27.3%、「函館市内で就職したい」が9.0%となった。

区分	函館市内 で進学	函館市外 で進学	場所は未定 で進学	函館市内 で就職	函館市外 で就職	場所は未定 で就職	進路を決め ていない	無回答	合計
総数	213人	417人	16人	70人	17人	7人	5人	36人	781人
	27.3%	53.4%	2.0%	9.0%	2.2%	0.9%	0.6%	4.6%	100.0%



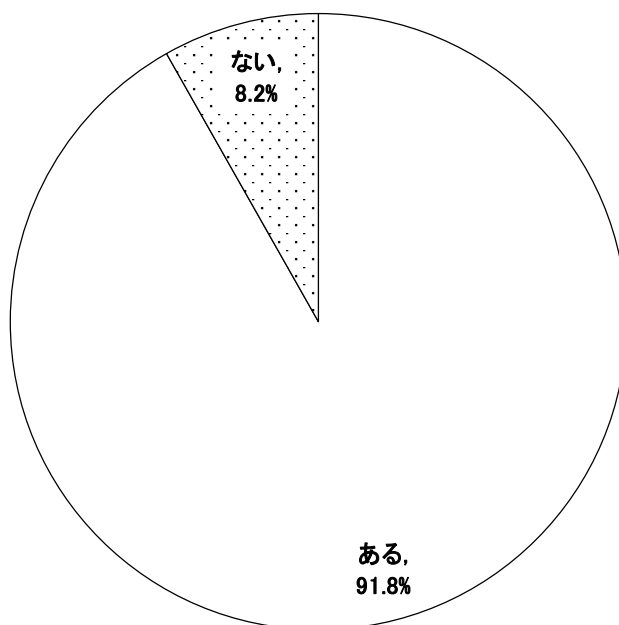
(n=781)

2. 進学予定者

(1) 進学後の学費や生活費について、家族と話したことがありますか。(単数回答) ※卒業後の進路で進学を選択した方のみ

「ある」が91.8%、「ない」が8.2%となった。

区分	ある	ない	合計
総数	593人	53人	646人
	91.8%	8.2%	100.0%

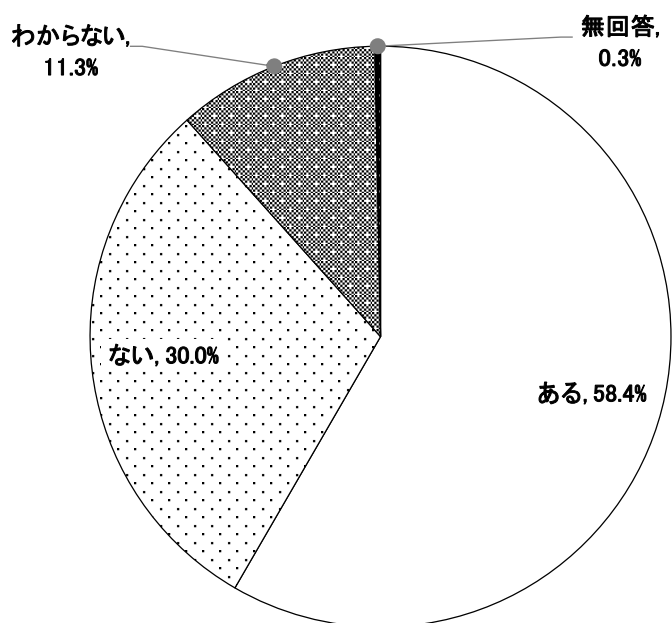


(n=646)

(2) 進学にあたって、経済的な理由によって大学の学費などを貸与する奨学金制度を利用する予定はありますか。(単数回答) ※卒業後の進路で進学を選択した方のみ

「ある」が58.4%、「ない」が30.0%となった。

区分	ある	ない	わからない	無回答	合計
総数	377人	194人	73人	2人	646人
	58.4%	30.0%	11.3%	0.3%	100.0%

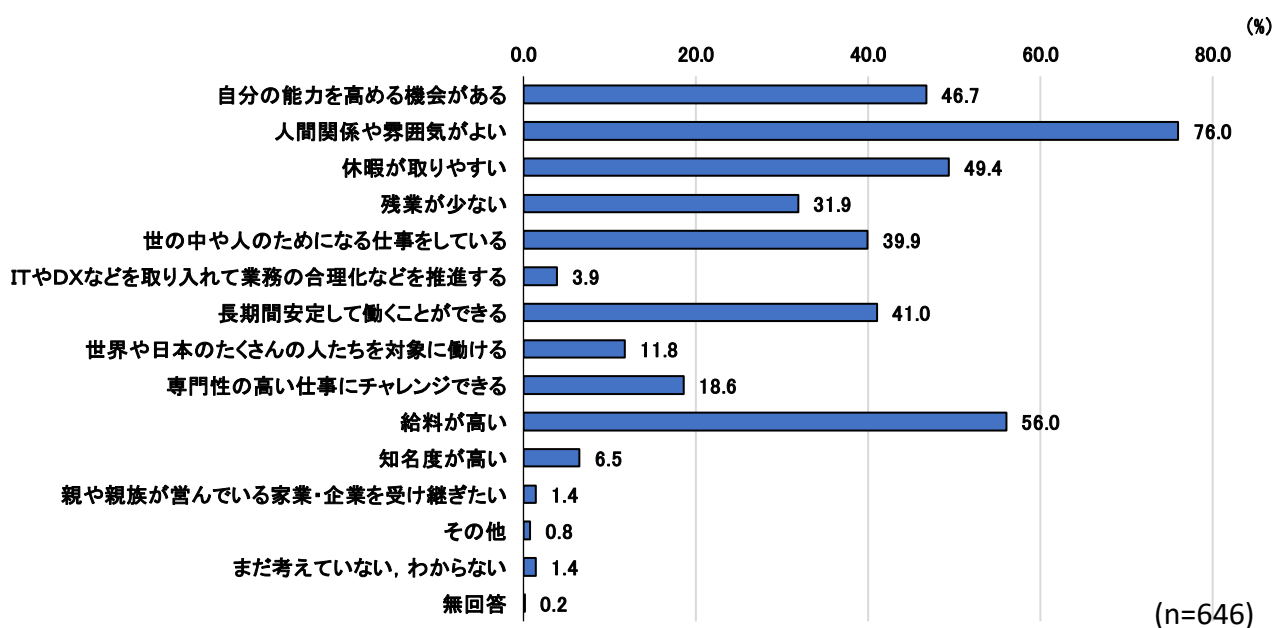


(n=646)

(3) あなたは将来どんな職場で働きたいですか。(複数回答) ※卒業後の進路で進学を選択した方のみ

「人間関係や雰囲気がよい職場」が76.0%と最も高く、次いで「給料が高い職場」が56.0%、「休暇が取りやすい職場」が49.4%となった。

区分	総数	
自分の能力を高める機会がある	302人	46.7%
人間関係や雰囲気がよい	491人	76.0%
休暇が取りやすい	319人	49.4%
残業が少ない	206人	31.9%
世の中や人のためになる仕事をしている	258人	39.9%
ITやDXなどを取り入れて業務の合理化などを推進する	25人	3.9%
長期間安定して働くことができる	265人	41.0%
世界や日本のたくさんの人たちを対象に働ける	76人	11.8%
専門性の高い仕事にチャレンジできる	120人	18.6%
給料が高い	362人	56.0%
知名度が高い	42人	6.5%
親や親族が営んでいる家業・企業を受け継ぎたい	9人	1.4%
その他	5人	0.8%
まだ考えていない, わからない	9人	1.4%
無回答	1人	0.2%
合計	2,490人	



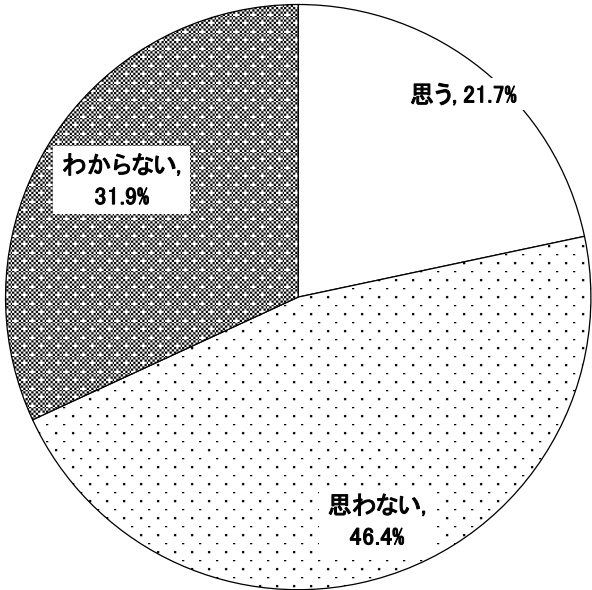
〈その他の主な回答〉

- ・ 教員
- ・ 新しいことに挑戦できる職場

(4) 学校を卒業後は、函館で働きたいと思いますか。(単数回答) ※卒業後の進路で進学を選択した方のみ

「思わない」が46.4%、「わからない」が31.9%、「思う」が21.7%となった。

区分	思う	思わない	わからない	合計
総数	140 人	300 人	206 人	646 人
	21.7%	46.4%	31.9%	100.0%

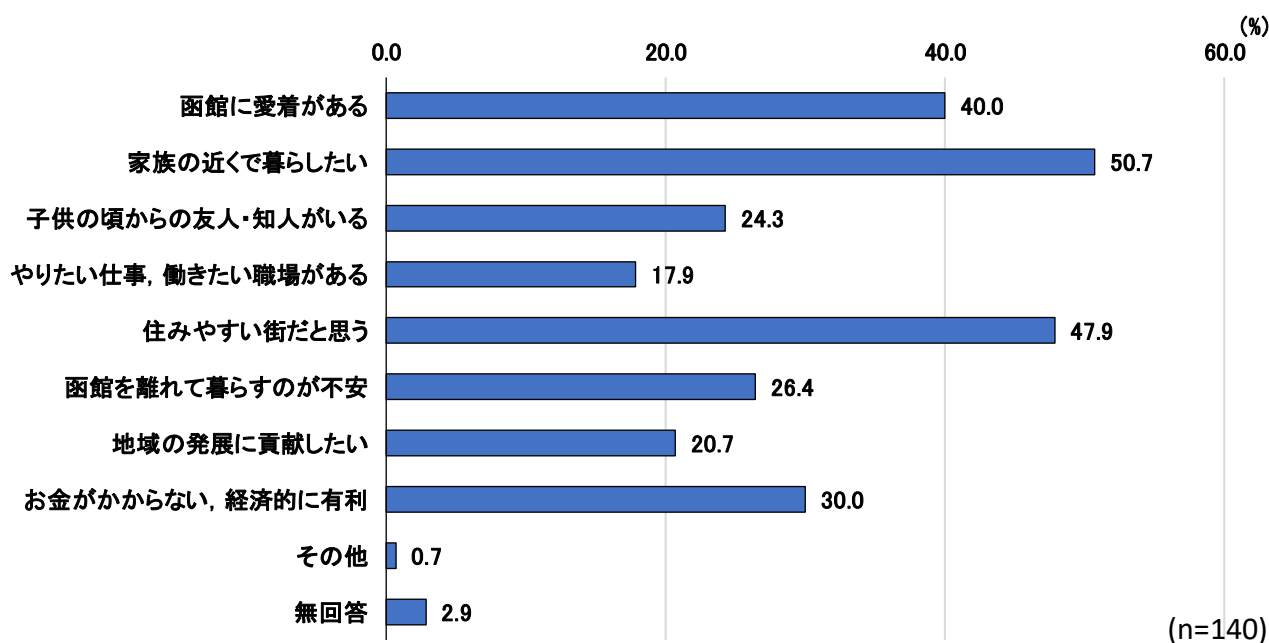


(n=646)

**(5) 函館で働きたいと思う理由はなんですか。(複数回答) ※卒業後の進路で進学を選択した方
のうち、(4)で「思う」を選んだ方のみ**

「家族の近くで暮らしたいから」が 50.7%と最も高く、次いで「住みやすい街だと思うから」が 47.9%、「函館に愛着があるから」が 40.0%となった。

区分	総数	
函館に愛着がある	56 人	40.0%
家族の近くで暮らしたい	71 人	50.7%
子供の頃からの友人・知人がいる	34 人	24.3%
やりたい仕事, 働きたい職場がある	25 人	17.9%
住みやすい街だと思う	67 人	47.9%
函館を離れて暮らすのが不安	37 人	26.4%
地域の発展に貢献したい	29 人	20.7%
お金がかからない, 経済的に有利	42 人	30.0%
その他	1 人	0.7%
無回答	4 人	2.9%
合計	366 人	

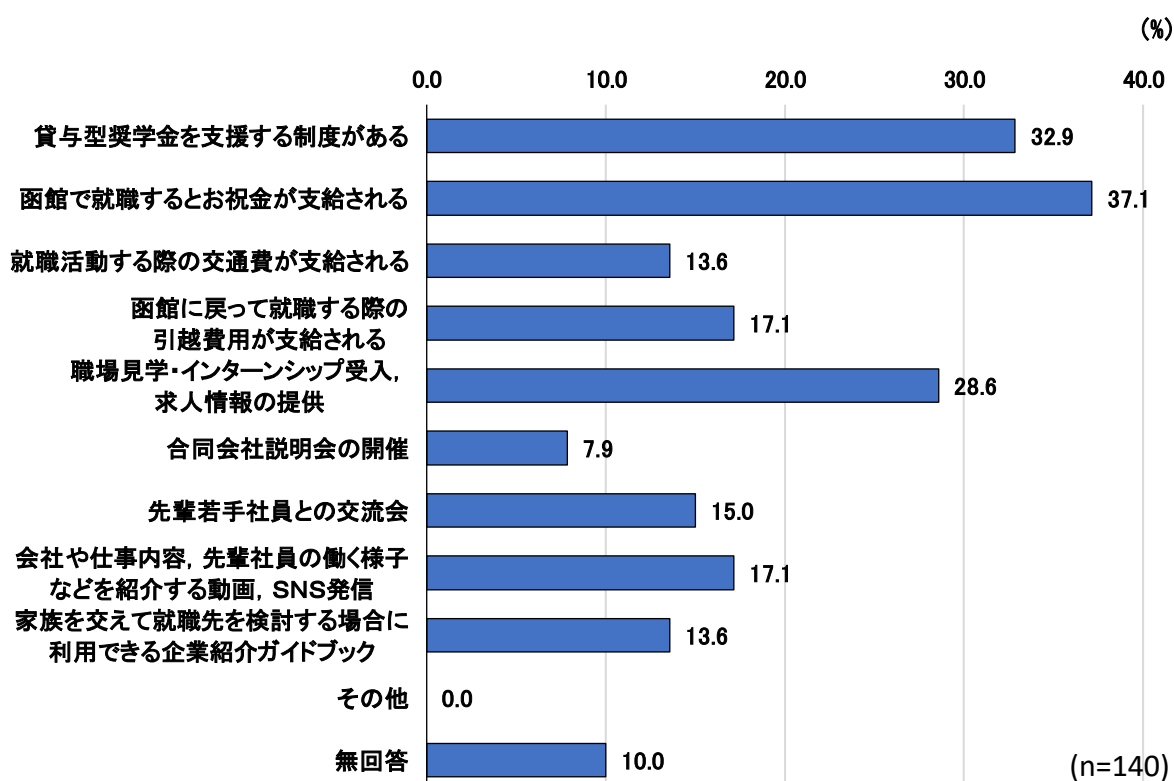


(6) 函館での就職を検討する際に、どのようなことが役立つと思いますか。

(複数回答：3つまで) ※卒業後の進路で進学を選択した方のうち、(4)で「思う」を選んだ方のみ

「函館で就職するとお祝金が支給される」が37.1%と最も高く、次いで「貸与型奨学金を支援する制度がある」が32.9%、「職場見学・インターンシップ受入、求人情報が定期的に提供される」が28.6%となった。

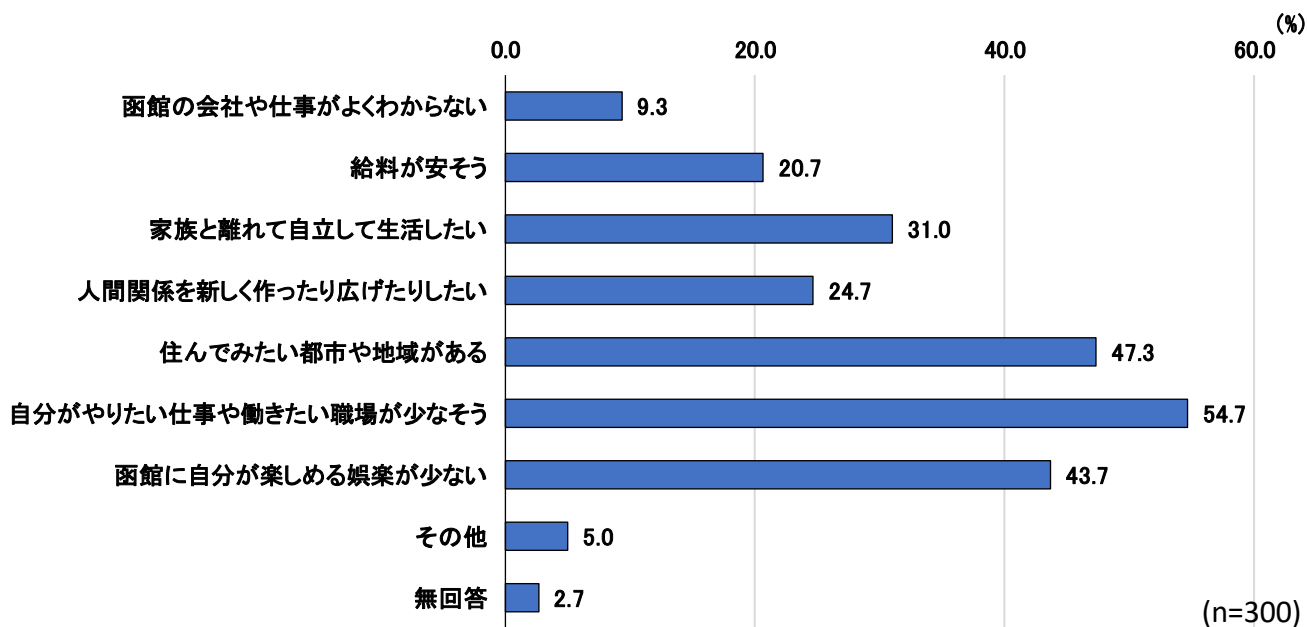
区分	総数	
貸与型奨学金を支援する制度がある	46人	32.9%
函館で就職するとお祝金が支給される	52人	37.1%
就職活動する際の交通費が支給される	19人	13.6%
函館に戻って就職する際の引越費用が支給される	24人	17.1%
職場見学・インターンシップ受入、 求人情報の提供	40人	28.6%
合同会社説明会の開催	11人	7.9%
先輩若手社員との交流会	21人	15.0%
会社や仕事内容、先輩社員の働く様子 などを紹介する動画、SNS発信	24人	17.1%
家族を交えて就職先を検討する場合に 利用できる企業紹介ガイドブック	19人	13.6%
その他	0人	0.0%
無回答	14人	10.0%
合計	270人	



(7) 函館で働きたいと思わない理由はなんですか。(複数回答) ※卒業後の進路で進学を選択した方のうち、(4)で「思わない」を選んだ方のみ

「自分がやりたい仕事や働きたい職場が少なそうだから」が 54.7%と最も高く、次いで「住んでみたい都市や地域があるから」が 47.3%、「函館に自分が楽しめる娯楽が少ないから」が 43.7%となった。

区分	総数	
函館の会社や仕事がよくわからない	28 人	9.3%
給料が安そう	62 人	20.7%
家族と離れて自立して生活したい	93 人	31.0%
人間関係を新しく作ったり広げたりしたい	74 人	24.7%
住んでみたい都市や地域がある	142 人	47.3%
自分がやりたい仕事や働きたい職場が少なそう	164 人	54.7%
函館に自分が楽しめる娯楽が少ない	131 人	43.7%
その他	15 人	5.0%
無回答	8 人	2.7%
合計	717 人	



〈その他の主な回答〉

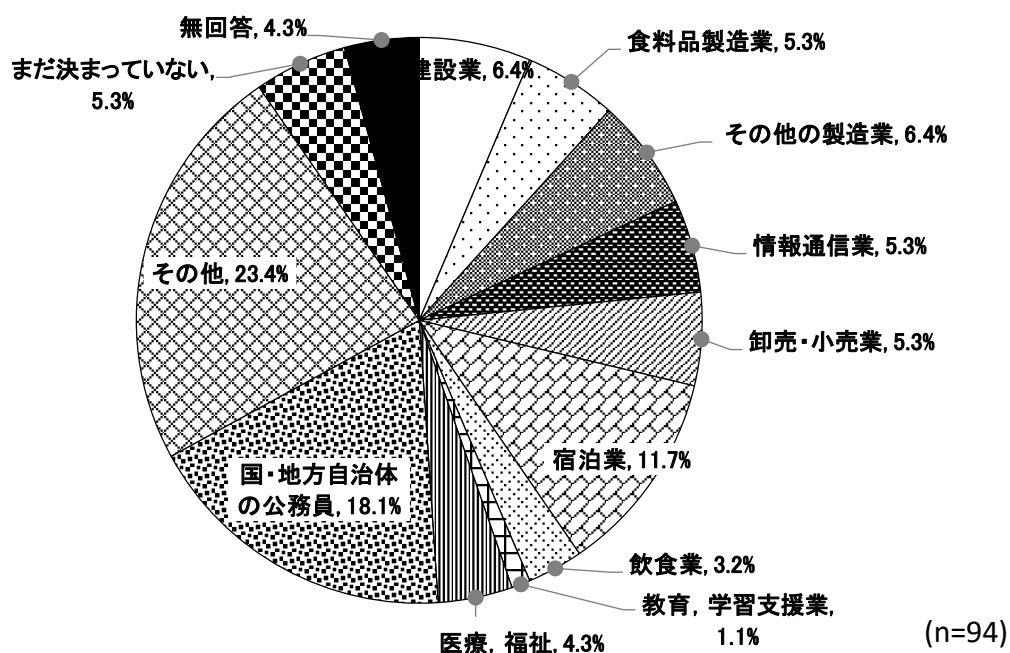
- ・ 地元で働きたい
- ・ 自分のやりたいことが函館ではできないから

3. 就職予定者

(1) 志望度が最も高い業種を1つ選んでください。(単数回答) ※卒業後の進路で就職を選択した方のみ

「その他」が 23.4%, 「公務 (国・地方自治体の公務員 (教師を除く))」が 18.1%, 「宿泊業 (ホテルなど)」が 11.7% となった。

区分	総数	
建設業	6 人	6.4%
食料品製造業	5 人	5.3%
その他の製造業	6 人	6.4%
情報通信業	5 人	5.3%
卸売・小売業	5 人	5.3%
宿泊業	11 人	11.7%
飲食業	3 人	3.2%
教育, 学習支援業	1 人	1.1%
医療, 福祉	4 人	4.3%
公務(国・地方自治体の公務員(教師を除く))	17 人	18.1%
その他	22 人	23.4%
まだ決まっていない	5 人	5.3%
無回答	4 人	4.3%
合計	94 人	100.0%



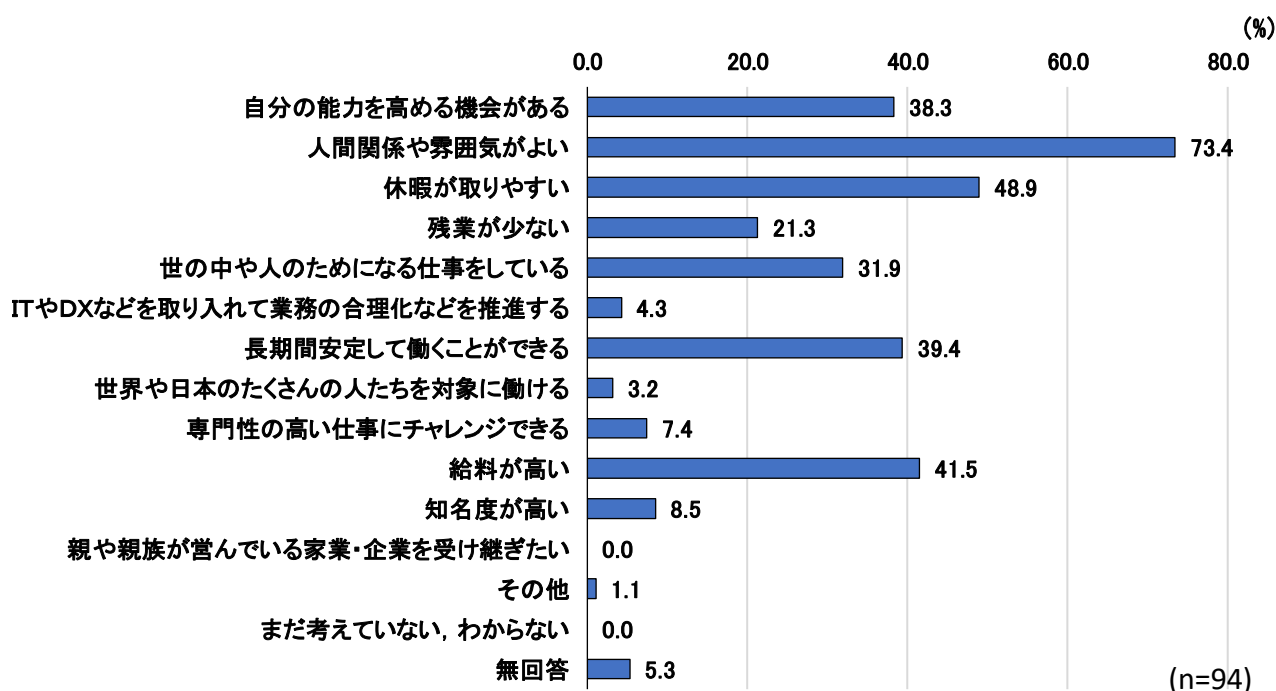
〈その他の主な回答〉

- ・ 金融機関
- ・ 警備会社

(2) あなたは将来どんな職場で働きたいですか。(複数回答) ※卒業後の進路で就職を選択した方のみ

「人間関係や雰囲気がよい職場」が73.4%と最も高く、次いで「休暇が取りやすい職場」が48.9%、「給料が高い職場」が41.5%となった。

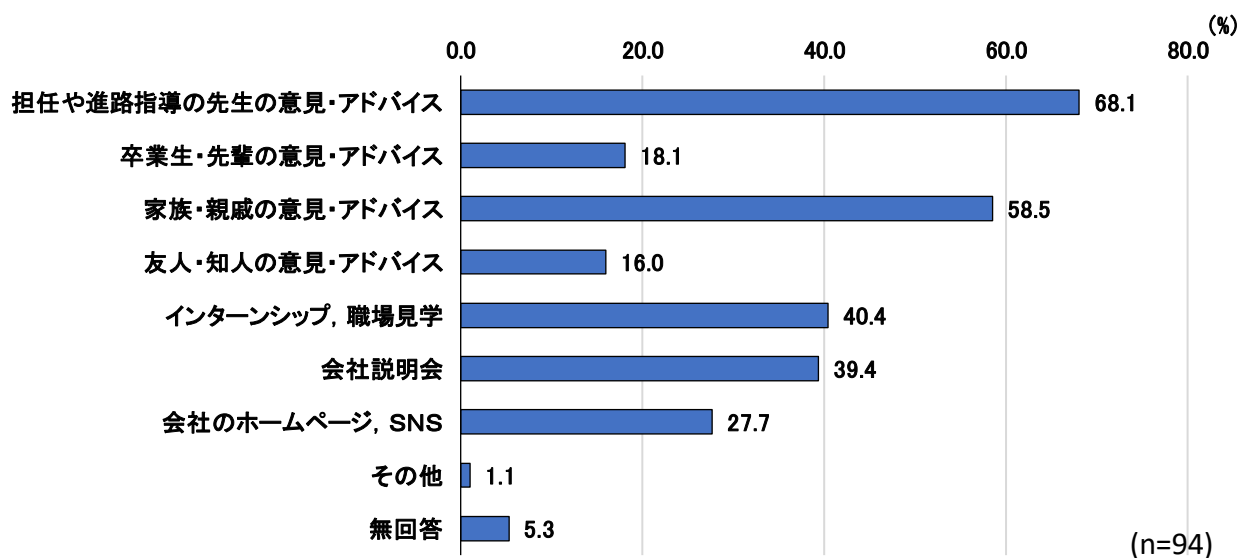
区分	総数	
自分の能力を高める機会がある	36人	38.3%
人間関係や雰囲気がよい	69人	73.4%
休暇が取りやすい	46人	48.9%
残業が少ない	20人	21.3%
世の中や人のためになる仕事をしている	30人	31.9%
ITやDXなどを取り入れて業務の合理化などを推進する	4人	4.3%
長期間安定して働くことができる	37人	39.4%
世界や日本のたくさんの人たちを対象に働ける	3人	3.2%
専門性の高い仕事にチャレンジできる	7人	7.4%
給料が高い	39人	41.5%
知名度が高い	8人	8.5%
親や親族が営んでいる家業・企業を受け継ぎたい	0人	0.0%
その他	1人	1.1%
まだ考えていない, わからない	0人	0.0%
無回答	5人	5.3%
合計	305人	



(3) 就職先や仕事を決めるときに参考にすることはなんですか。(複数回答) ※卒業後の進路で就職を選択した方のみ

「担任や進路指導の先生の見・アドバイス」が68.1%と最も高く、次いで「家族・親戚の見・アドバイス」が58.5%、「インターンシップ、職場見学」が40.4%となった。

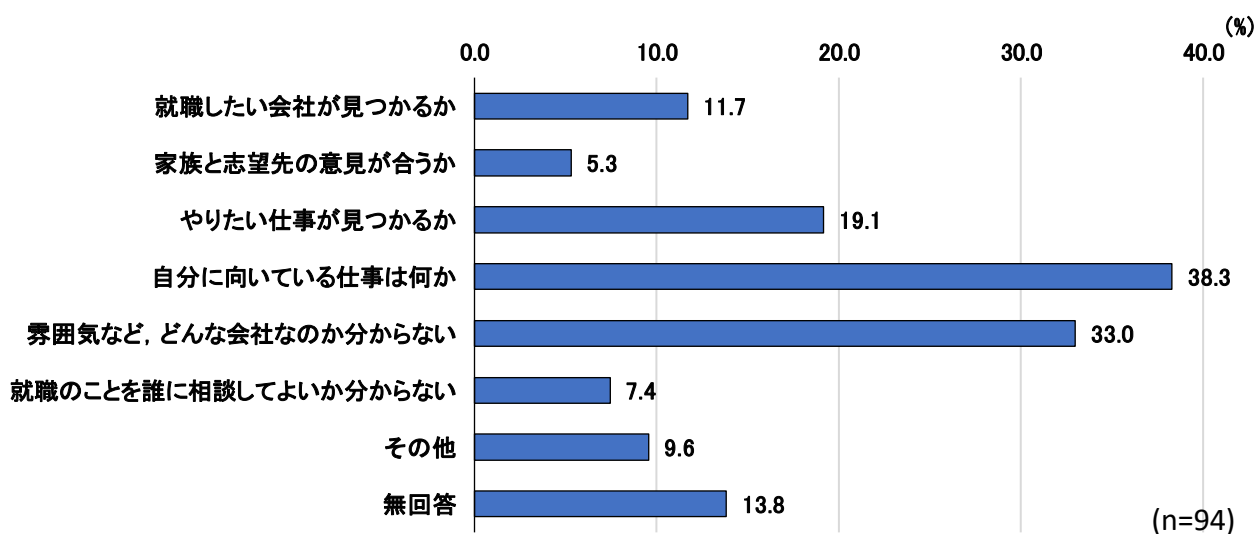
区分	総数	
担任や進路指導の先生の見・アドバイス	64人	68.1%
卒業生・先輩の見・アドバイス	17人	18.1%
家族・親戚の見・アドバイス	55人	58.5%
友人・知人の見・アドバイス	15人	16.0%
インターンシップ, 職場見学	38人	40.4%
会社説明会	37人	39.4%
会社のホームページ, SNS	26人	27.7%
その他	1人	1.1%
無回答	5人	5.3%
合計	258人	



(4) 就職活動をする中で不安に思っていることはなんですか。(複数回答) ※卒業後の進路で就職を選択した方のみ

「自分に向いている仕事は何か」が38.3%と最も高く、次いで「雰囲気など、どんな会社なのか分からない」が33.0%、「やりたい仕事が見つかるか」が19.1%となった。

区分	総数	
就職したい会社が見つかるか	11人	11.7%
家族と志望先の意見が合うか	5人	5.3%
やりたい仕事が見つかるか	18人	19.1%
自分に向いている仕事は何か	36人	38.3%
雰囲気など、どんな会社なのか分からない	31人	33.0%
就職のことを誰に相談してよいか分からない	7人	7.4%
その他	9人	9.6%
無回答	13人	13.8%
合計	130人	



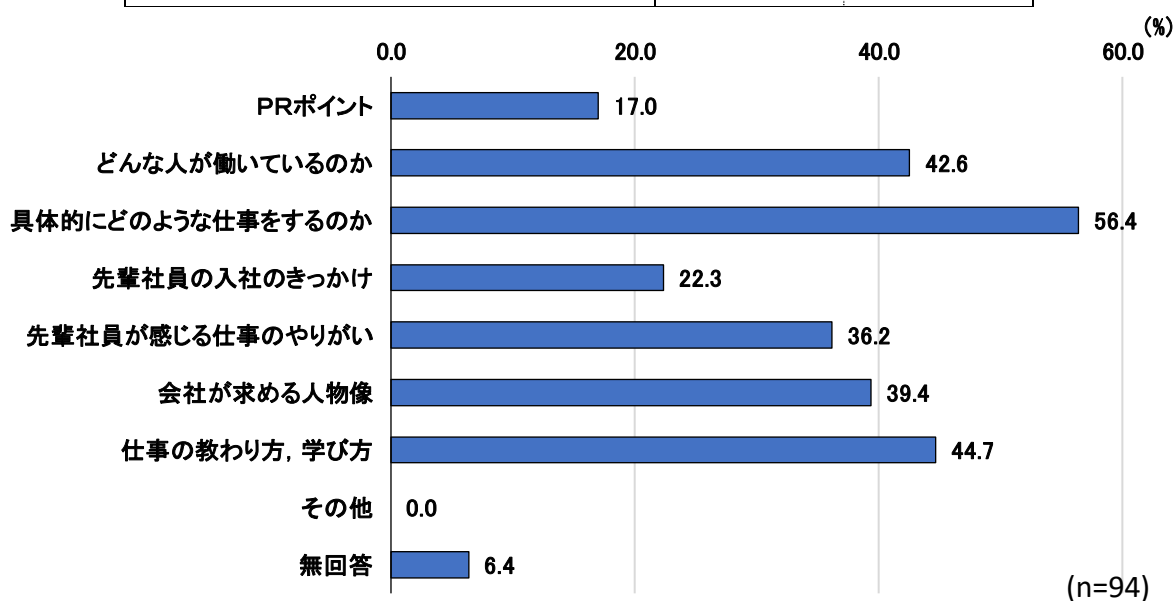
〈その他の主な回答〉

- ・面接
- ・自分が頑張れるかどうか
- ・体力がもつか

(5) 会社のどのようなことを知りたいですか。(複数回答) ※卒業後の進路で就職を選択した方のみ

「具体的にどのような仕事をするのか」が 56.4%と最も高く、次いで「仕事の教わり方, 学び方」が 44.7%, 「どんな人が働いているのか」が 42.6%となった。

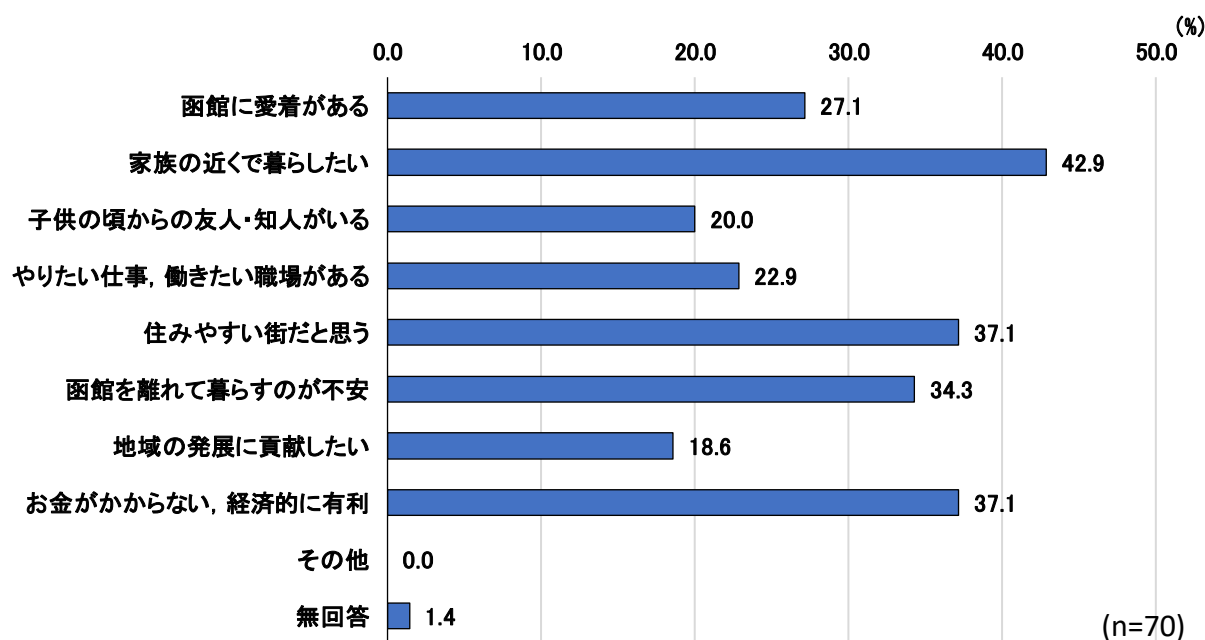
区分	総数	
PRポイント	16 人	17.0%
どんな人が働いているのか	40 人	42.6%
具体的にどのような仕事をするのか	53 人	56.4%
先輩社員の入社きっかけ	21 人	22.3%
先輩社員が感じる仕事のやりがい	34 人	36.2%
会社が求める人物像	37 人	39.4%
仕事の教わり方, 学び方	42 人	44.7%
その他	0 人	0.0%
無回答	6 人	6.4%
合計	249 人	



**(6) 函館で働きたいと思う理由はなんですか。(複数回答) ※卒業後の進路で就職を選択した方
のうち、函館での就職を希望する方のみ**

「家族の近くで暮らしたいから」が 42.9%と最も高く、次いで「住みやすい街だと思うから」と「お金がかからない、経済的に有利だから」がともに 37.1%となった。

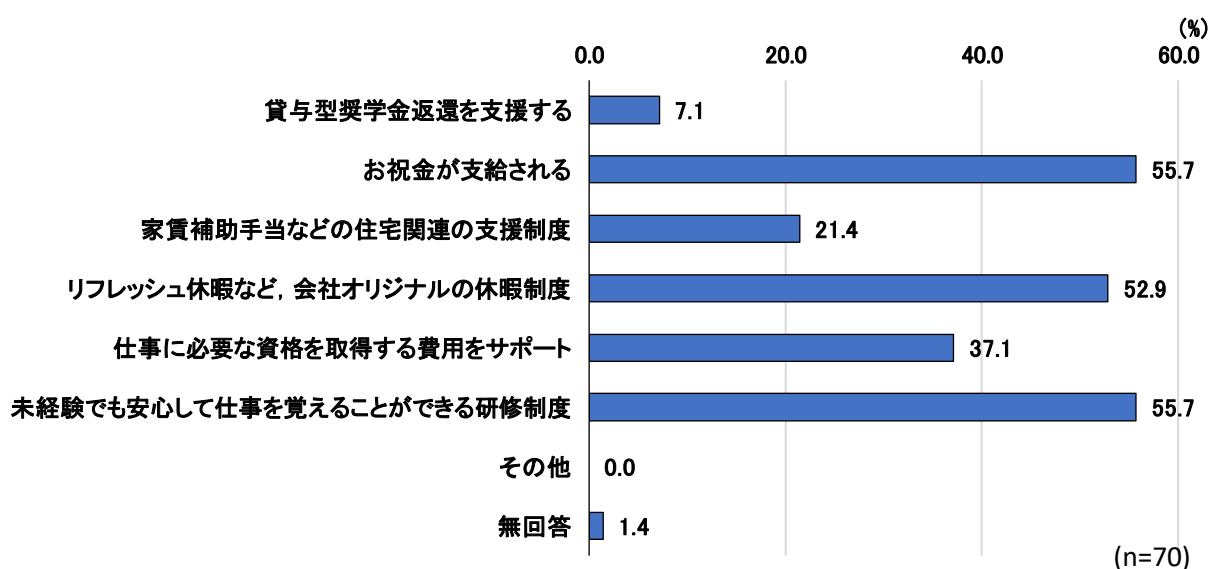
区分	総数	
函館に愛着がある	19 人	27.1%
家族の近くで暮らしたい	30 人	42.9%
子供の頃からの友人・知人がいる	14 人	20.0%
やりたい仕事, 働きたい職場がある	16 人	22.9%
住みやすい街だと思う	26 人	37.1%
函館を離れて暮らすのが不安	24 人	34.3%
地域の発展に貢献したい	13 人	18.6%
お金がかからない, 経済的に有利	26 人	37.1%
その他	0 人	0.0%
無回答	1 人	1.4%
合計	169 人	



(7) 就職先があれば「うれしい」制度（取り組み）はなんですか。（複数回答：3つまで）
※卒業後の進路で就職を選択した方のうち、函館での就職を希望する方のみ

「函館で就職するとお祝金が支給される」と「未経験でも安心して仕事を覚えることができる研修制度がある」がともに55.7%と最も高く、次いで「リフレッシュ休暇など、会社オリジナルの休暇制度がある」が52.9%となった。

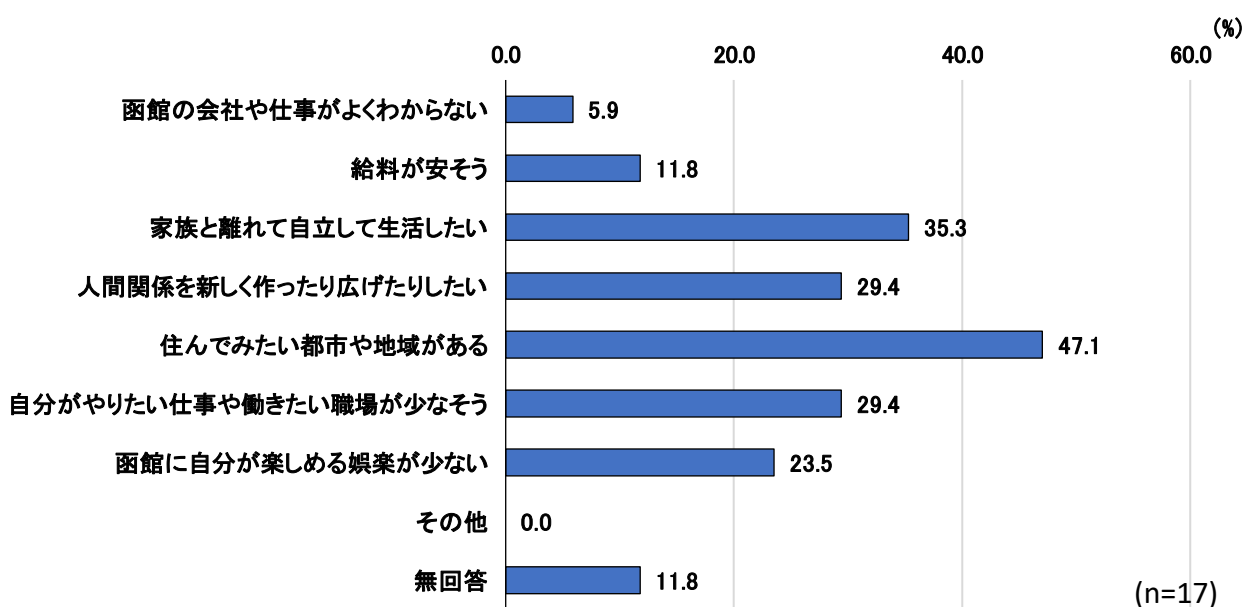
区分	総数	
貸与型奨学金返還を支援する	5人	7.1%
お祝金が支給される	39人	55.7%
家賃補助手当などの住宅関連の支援制度	15人	21.4%
リフレッシュ休暇など、会社オリジナルの休暇制度	37人	52.9%
仕事に必要な資格を取得する費用をサポート	26人	37.1%
未経験でも安心して仕事を覚えることができる研修制度	39人	55.7%
その他	0人	0.0%
無回答	1人	1.4%
合計	162人	



(8) 函館で働きたいと思わない理由はなんですか。(複数回答) ※卒業後の進路で就職を選択した方のうち、函館を離れて就職したい方のみ

「住んでみたい都市や地域があるから」が47.1%と最も高く、次いで「家族と離れて自立して生活したいから」が35.3%となった。

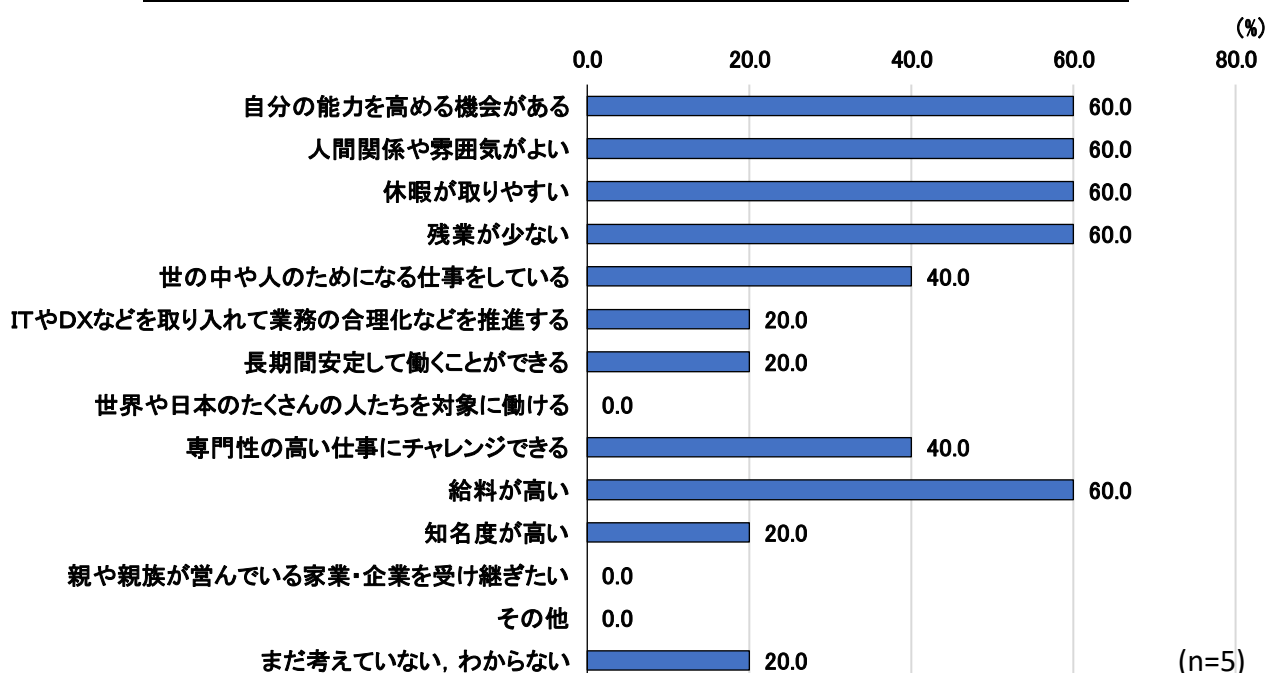
区分	総数	
函館の会社や仕事がよくわからない	1人	5.9%
給料が安そう	2人	11.8%
家族と離れて自立して生活したい	6人	35.3%
人間関係を新しく作ったり広げたりしたい	5人	29.4%
住んでみたい都市や地域がある	8人	47.1%
自分がやりたい仕事や働きたい職場が少なそう	5人	29.4%
函館に自分が楽しめる娯楽が少ない	4人	23.5%
その他	0人	0.0%
無回答	2人	11.8%
合計	33人	



4. 進路未定

(1) あなたは将来どんな職場で働きたいですか。(複数回答) ※卒業後の進路で「まだ進路を決めていない」を選択した方のみ

区分	総数	
自分の能力を高める機会がある	3人	60.0%
人間関係や雰囲気がい	3人	60.0%
休暇が取りやすい	3人	60.0%
残業が少ない	3人	60.0%
世の中や人のためになる仕事をしている	2人	40.0%
ITやDXなどを取り入れて業務の合理化などを推進する	1人	20.0%
長期間安定して働くことができる	1人	20.0%
世界や日本のたくさんの人たちを対象に働ける	0人	0.0%
専門性の高い仕事にチャレンジできる	2人	40.0%
給料が高い	3人	60.0%
知名度が高い	1人	20.0%
親や親族が営んでいる家業・企業を受け継ぎたい	0人	0.0%
その他	0人	0.0%
まだ考えていない, わからない	1人	20.0%
合計	23人	



5. 函館で働きたいと思う人を増やすためのアイデアがあれば自由にお書きください。(自由記述)

自由記述を主な内容で分類すると、「企業誘致，働ける場の増加」に関する内容が 20.0%と最も高く，次いで「娯楽施設等の建設・誘致」が 18.4%となった。

(n=190)

区分	総数	
給料の上昇	19 人	10.0%
大型商業施設の建設・誘致	28 人	14.7%
娯楽施設等の建設・誘致	35 人	18.4%
企業誘致，働ける場の増加	38 人	20.0%
地元企業への支援	12 人	6.3%
交通の利便性の向上・改善	6 人	3.2%
住みよいまちづくり	24 人	12.6%
地域の情報発信	12 人	6.3%
子育て支援	3 人	1.6%
移住・定住の促進	2 人	1.1%
補助金等の支援	7 人	3.7%
大学・専門学校を増やす	11 人	5.8%
その他	34 人	17.9%
合計	231 人	

※複数の分野にわたるアイデアについては重複してカウント

〈その他の主な回答〉

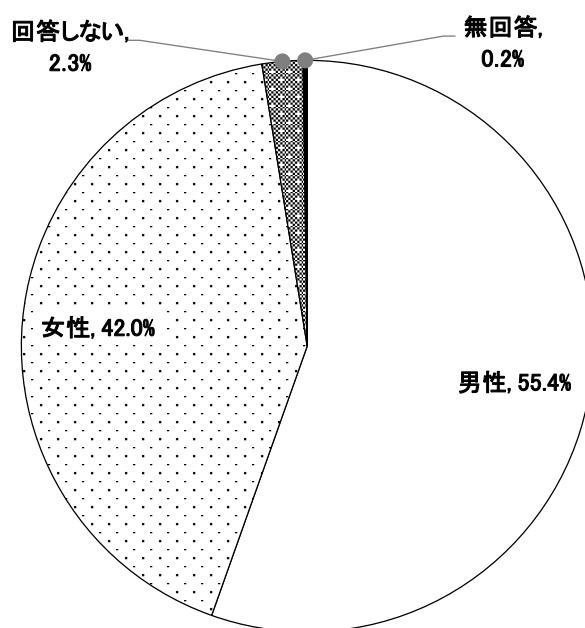
- ・特になし
- ・行事を増やす
- ・国がやろうとしないことを条例でやってほしい

Ⅲ. 調査結果【大学生等】

1. 回答者の属性

(1) 性別

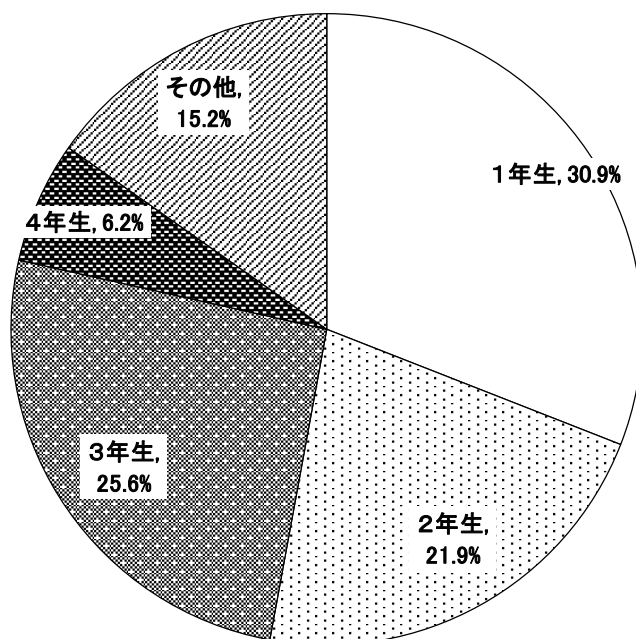
区分	男性	女性	回答しない	無回答	合計
総数	240 人	182 人	10 人	1 人	433 人
	55.4%	42.0%	2.3%	0.2%	100.0%



(n=433)

(2) 学年

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	その他	合計
総数	134人	95人	111人	27人	66人	433人
	30.9%	21.9%	25.6%	6.2%	15.2%	100.0%

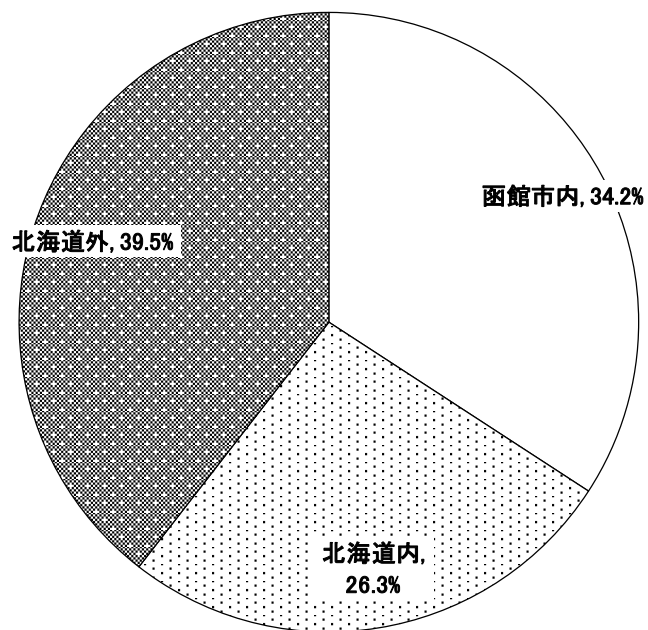


(n=433)

(3) 出身地

区分	函館市内	北海道内※	北海道外	合計
総数	148 人	114 人	171 人	433 人
	34.2%	26.3%	39.5%	100.0%

※函館市を除く

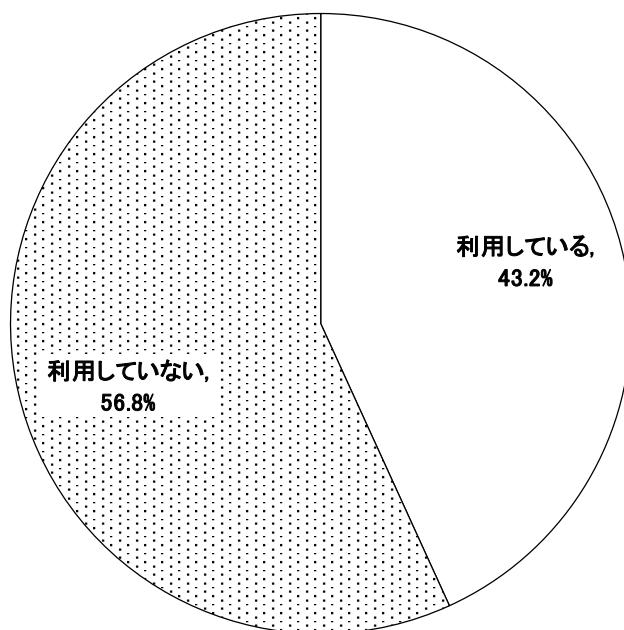


(n=433)

(4) 貸与型奨学金制度の利用

「利用していない」が 56.8%、「利用している」が 43.2%となった。

区分	利用している	利用していない	合計
総数	187 人	246 人	433 人
	43.2%	56.8%	100.0%

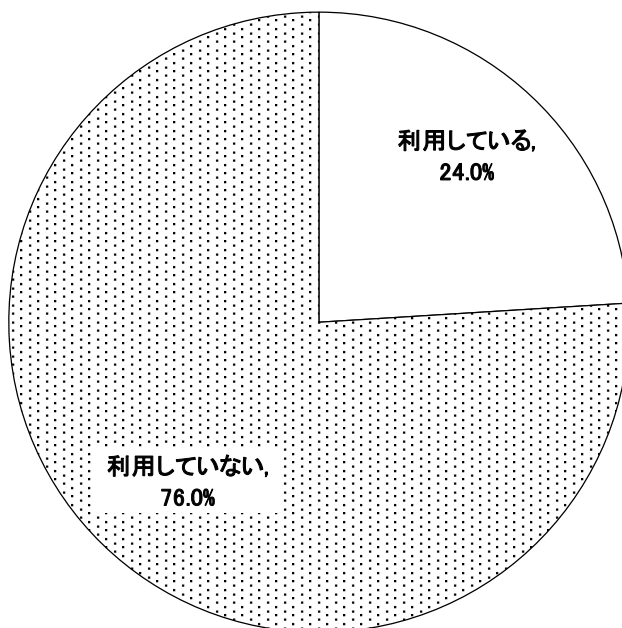


(n=433)

(5) 給付型奨学金制度の利用

「利用していない」が76.0%、「利用している」が24.0%となった。

区分	利用している	利用していない	合計
総数	104人	329人	433人
	24.0%	76.0%	100.0%



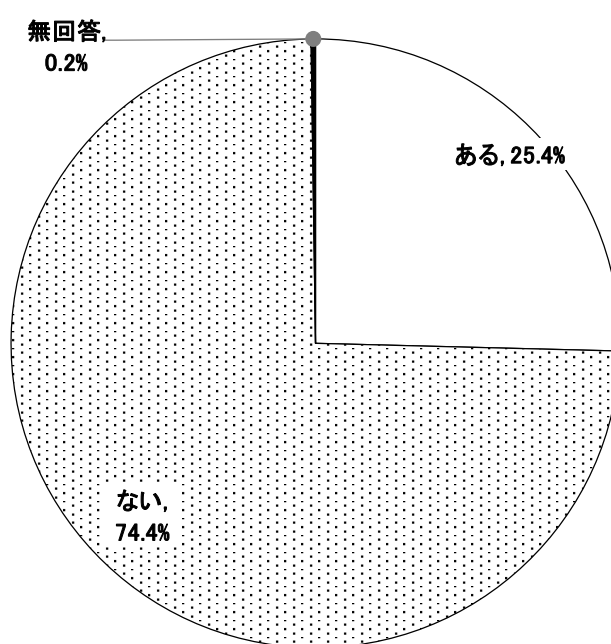
(n=433)

2. インターンシップについて

(1) インターンシップ（就業体験）の経験はありますか。（単数回答）

「ない」が 74.4%, 「ある」が 25.4%となった。

区分	ある	ない	無回答	合計
総数	110 人	322 人	1 人	433 人
	25.4%	74.4%	0.2%	100.0%

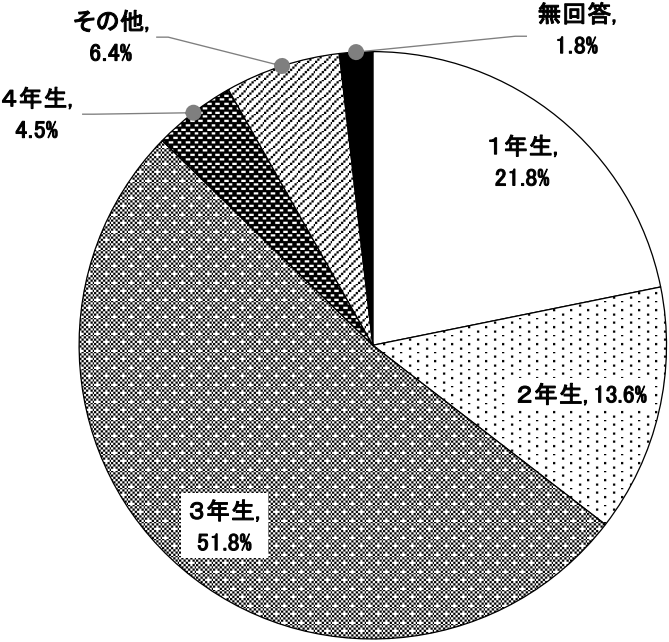


(n=433)

(2) 直近で参加した学年について教えてください。※経験がある方のみ

「3年生」が51.8%と最も高く、次いで「1年生」が21.8%、「2年生」が13.6%となった。

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	その他	無回答	合計
総数	24人	15人	57人	5人	7人	2人	110人
	21.8%	13.6%	51.8%	4.5%	6.4%	1.8%	100.0%

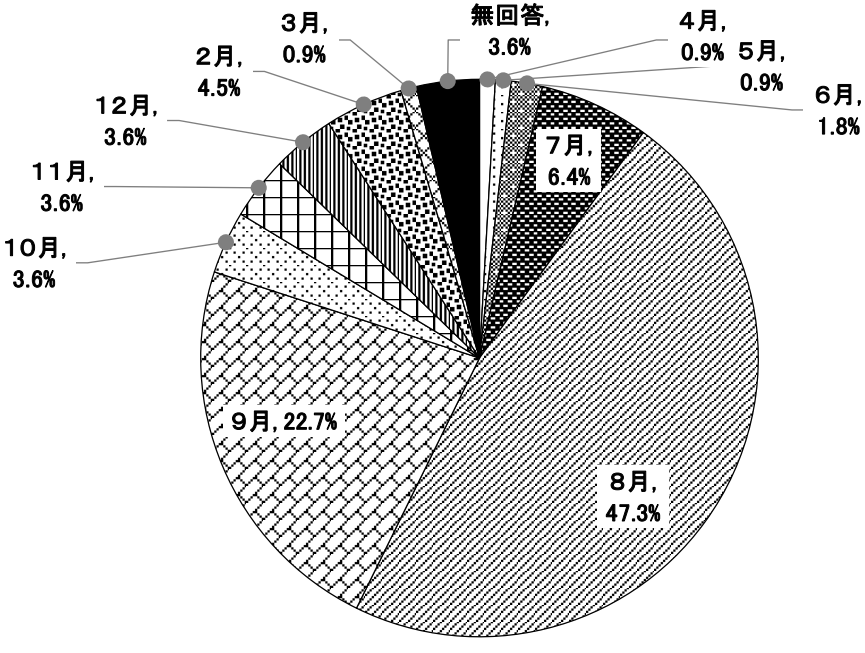


(n=110)

(3) 直近で参加した時期について教えてください。※経験がある方のみ

「8月」が47.3%と最も高く、次いで「9月」が22.7%、「7月」が6.4%となった。

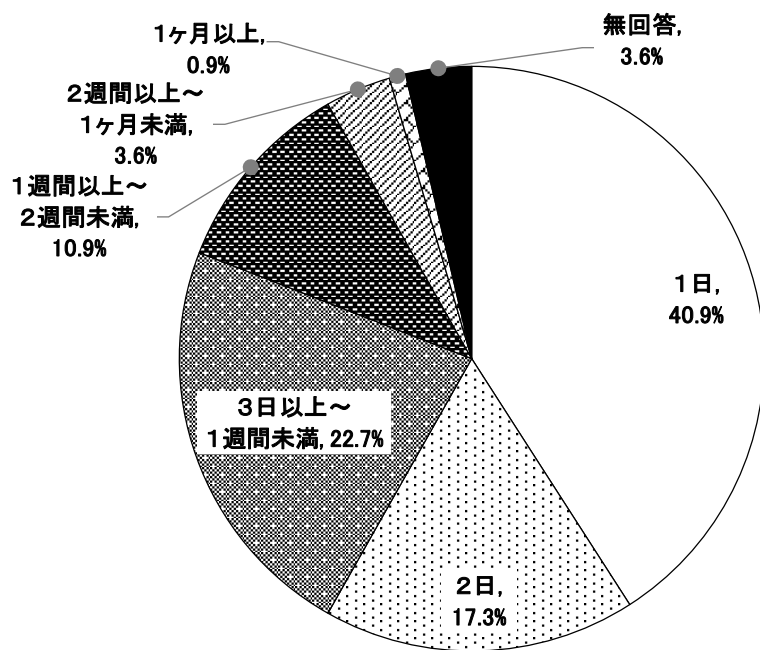
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	無回答	合計
総数	1人	1人	2人	7人	52人	25人	4人	4人	4人	0人	5人	1人	4人	110人
	0.9%	0.9%	1.8%	6.4%	47.3%	22.7%	3.6%	3.6%	3.6%	0.0%	4.5%	0.9%	3.6%	100.0%



(4) 直近で参加した日数について教えてください。※経験がある方のみ

「1日」が40.9%と最も高く、次いで「3日以上～1週間未満」が22.7%、「2日」が17.3%となった。

区分	1日	2日	3日以上 ～ 1週間未満	1週間以上 ～ 2週間未満	2週間以上 ～ 1ヶ月未満	1ヶ月以上	無回答	合計
総数	45人	19人	25人	12人	4人	1人	4人	110人
	40.9%	17.3%	22.7%	10.9%	3.6%	0.9%	3.6%	100.0%

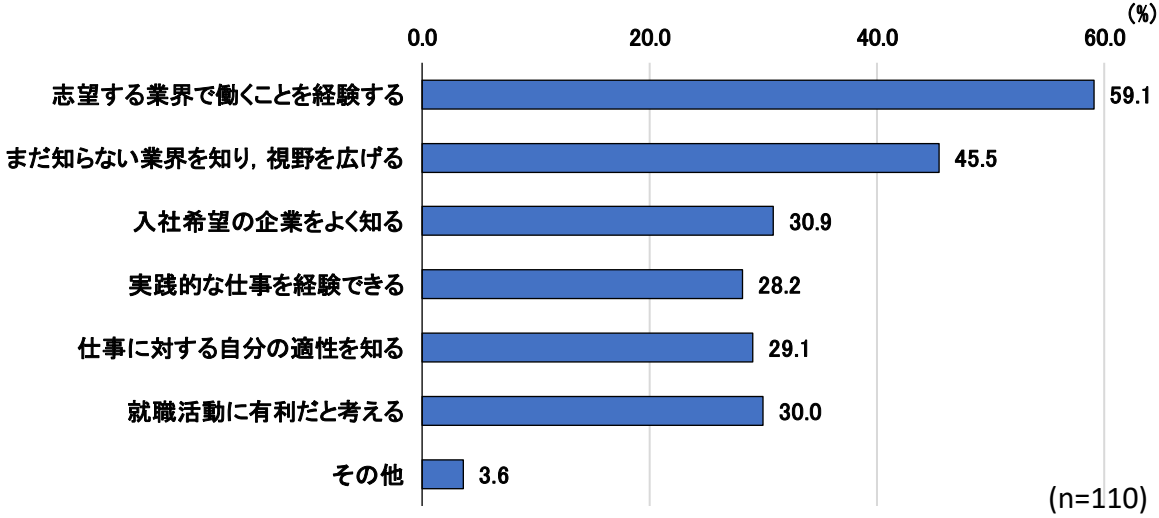


(n=110)

(5) インターンシップに参加した目的はなんですか。(複数回答) ※経験がある方のみ

「志望する業界で働くことを経験するため」が 59.1%と最も高く、次いで「まだ知らない業界を知り、視野を広げるため」が 45.5%、「入社希望の企業をよく知るため」が 30.9%となった。

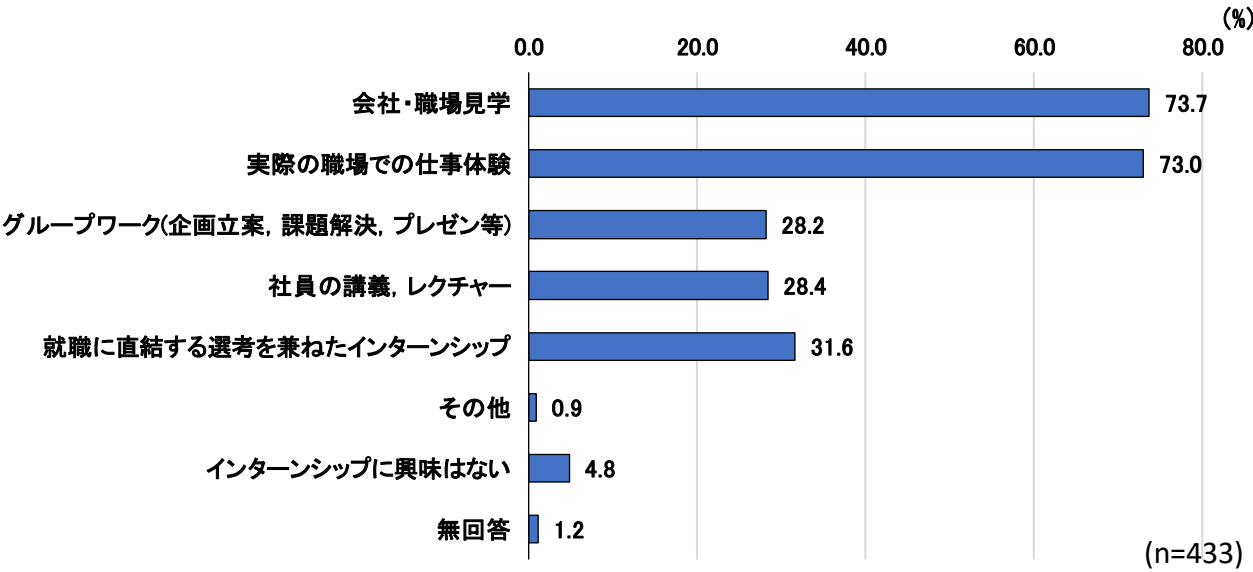
区分	総数	
志望する業界で働くことを経験する	65 人	59.1%
まだ知らない業界を知り、視野を広げる	50 人	45.5%
入社希望の企業をよく知る	34 人	30.9%
実践的な仕事を経験できる	31 人	28.2%
仕事に対する自分の適性を知る	32 人	29.1%
就職活動に有利だと考える	33 人	30.0%
その他	4 人	3.6%
合計	249 人	



(6) どのような内容のインターンシップに興味がありますか。(複数回答)

「会社・職場見学」が73.7%と最も高く、次いで「実際の職場での仕事体験」が73.0%、「就職に直結する選考を兼ねたインターンシップ」が31.6%となった。

区分	総数	
会社・職場見学	319人	73.7%
実際の職場での仕事体験	316人	73.0%
グループワーク(企画立案, 課題解決, プレゼン等)	122人	28.2%
社員の講義, レクチャー	123人	28.4%
就職に直結する選考を兼ねたインターンシップ	137人	31.6%
その他	4人	0.9%
インターンシップに興味はない	21人	4.8%
無回答	5人	1.2%
合計	1,047人	



〈その他の主な回答〉

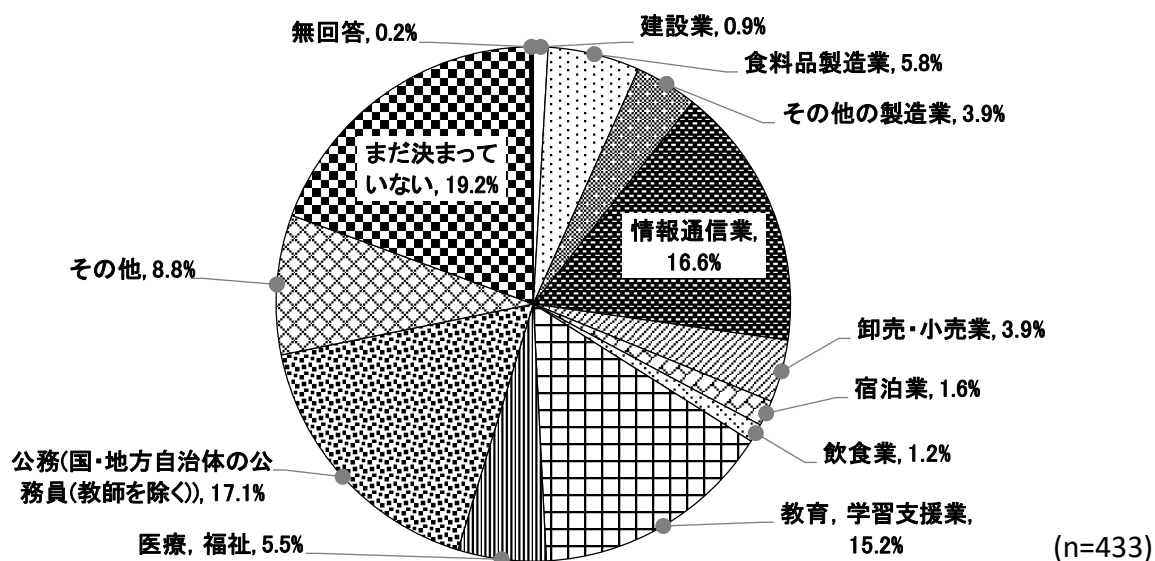
- ・先輩社員との座談会
- ・業界の紹介
- ・ジョブ型研究インターンシップ

3. 就職について

(1) 志望度が最も高い業種を選んでください。(単数回答)

「まだ決まっていない」が19.2%と最も高く、次いで「公務(国・地方自治体の公務員(教師を除く))」が17.1%、「情報通信業(電話などの通信, ソフトウェア開発, インターネットサービスなど)」が16.6%となった。

区分	総数	
建設業	4人	0.9%
食料品製造業	25人	5.8%
その他の製造業	17人	3.9%
情報通信業	72人	16.6%
卸売・小売業	17人	3.9%
宿泊業	7人	1.6%
飲食業	5人	1.2%
教育, 学習支援業	66人	15.2%
医療, 福祉	24人	5.5%
公務(国・地方自治体の公務員(教師を除く))	74人	17.1%
その他	38人	8.8%
まだ決まっていない	83人	19.2%
無回答	1人	0.2%
合計	433人	100.0%



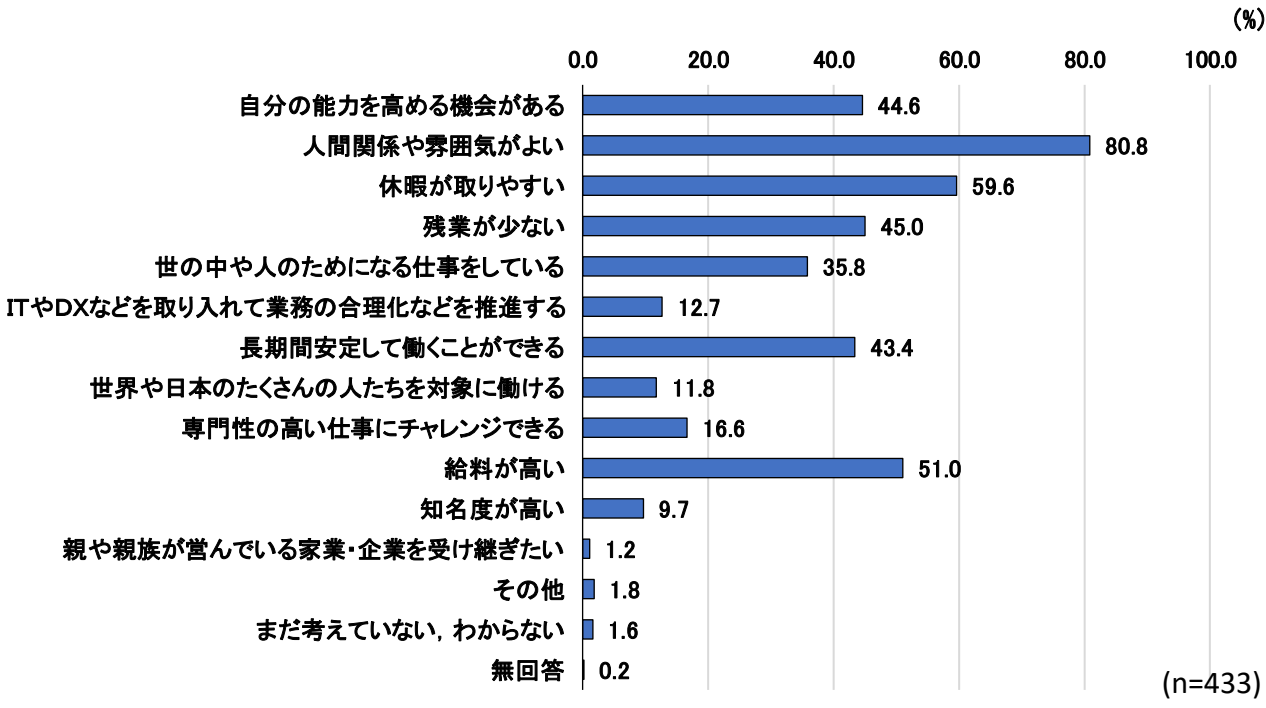
〈その他の主な回答〉

- ・ 研究職
- ・ コンサルタント
- ・ スポーツ関係

(2) あなたは将来どんな職場で働きたいですか。(複数回答)

「人間関係や雰囲気がよい職場」が80.8%と最も高く、次いで「休暇が取りやすい職場」が59.6%、「給料が高い職場」が51.0%となった。

区分	総数	
自分の能力を高める機会がある	193 人	44.6%
人間関係や雰囲気がよい	350 人	80.8%
休暇が取りやすい	258 人	59.6%
残業が少ない	195 人	45.0%
世の中や人のためになる仕事をしている	155 人	35.8%
ITやDXなどを取り入れて業務の合理化などを推進する	55 人	12.7%
長期間安定して働くことができる	188 人	43.4%
世界や日本のたくさんの人たちを対象に働ける	51 人	11.8%
専門性の高い仕事にチャレンジできる	72 人	16.6%
給料が高い	221 人	51.0%
知名度が高い	42 人	9.7%
親や親族が営んでいる家業・企業を受け継ぎたい	5 人	1.2%
その他	8 人	1.8%
まだ考えていない、わからない	7 人	1.6%
無回答	1 人	0.2%
合計	1,801 人	



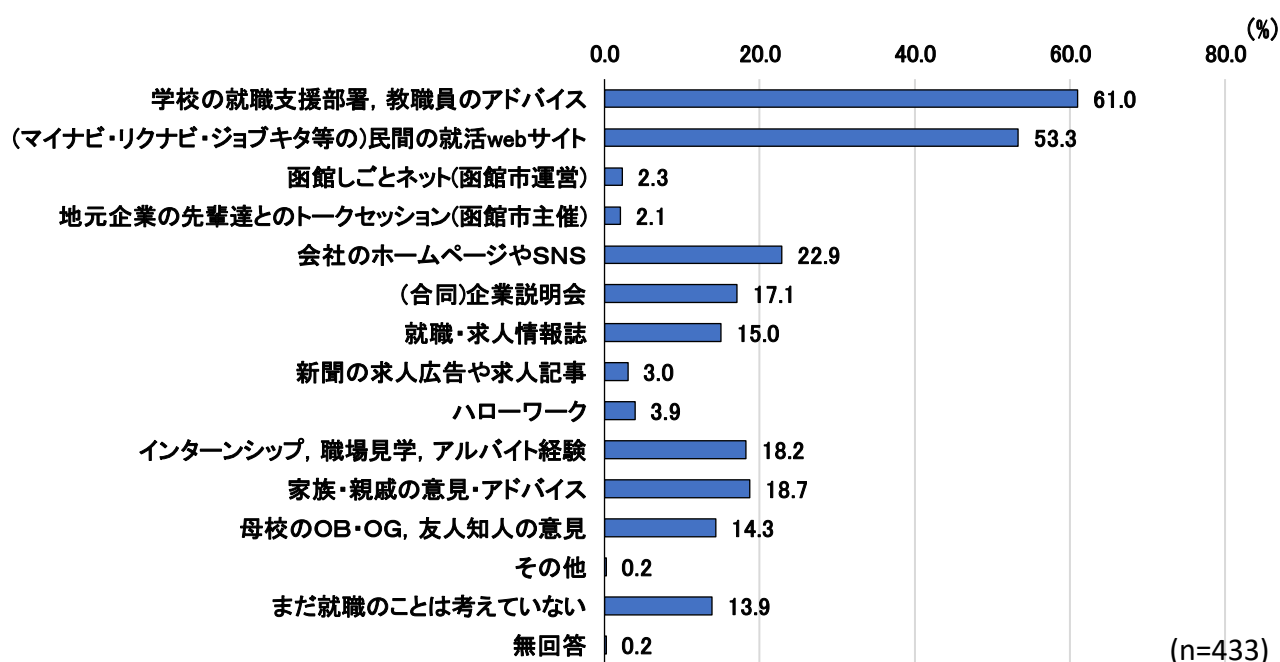
〈その他の主な回答〉

- ・ 転勤がない
- ・ 副業がしやすい職場

(3) 就職先を検討する際に普段活用している情報源はなんですか。(複数回答)

「大学・短大・高専・専門学校の就職支援部署, 教職員のアドバイス」が 61.0%と最も高く, 次いで「(マイナビ・リクナビ・ジョブキタ等の) 民間の就活 web サイト」が 53.3%, 「会社のホームページや SNS」が 22.9%となった。

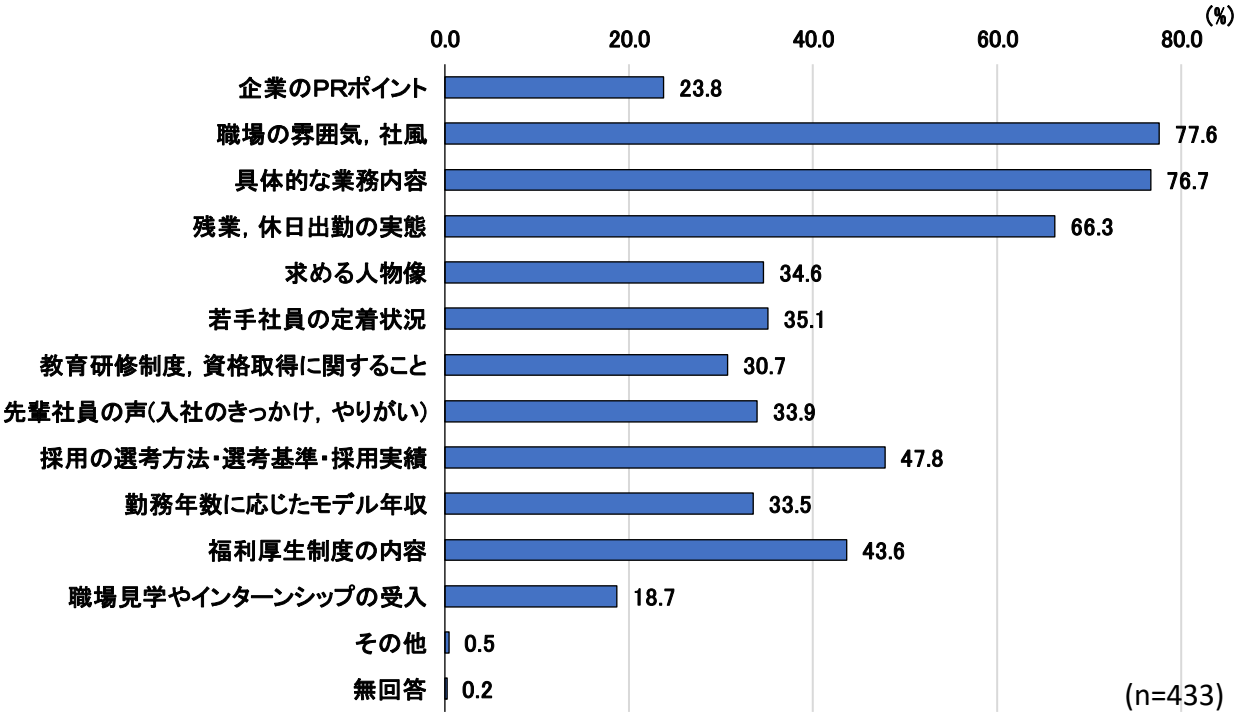
区分	総数	
学校の就職支援部署, 教職員のアドバイス	264 人	61.0%
(マイナビ・リクナビ・ジョブキタ等の)民間の就活 web サイト	231 人	53.3%
函館しごとネット(函館市運営)	10 人	2.3%
地元企業の先輩達とのトークセッション(函館市主催)	9 人	2.1%
会社のホームページやSNS	99 人	22.9%
(合同)企業説明会	74 人	17.1%
就職・求人情報誌	65 人	15.0%
新聞の求人広告や求人記事	13 人	3.0%
ハローワーク	17 人	3.9%
インターンシップ, 職場見学, アルバイト経験	79 人	18.2%
家族・親戚の意見・アドバイス	81 人	18.7%
母校のOB・OG, 友人知人の意見	62 人	14.3%
その他	1 人	0.2%
まだ就職のことは考えていない	60 人	13.9%
無回答	1 人	0.2%
合計	1,066 人	



(4) 企業のどのようなことを知りたいですか。(複数回答)

「職場の雰囲気、社風」が 77.6%と最も高く、次いで「具体的な業務内容」が 76.7%、「残業、休日出勤の実態」が 66.3%となった。

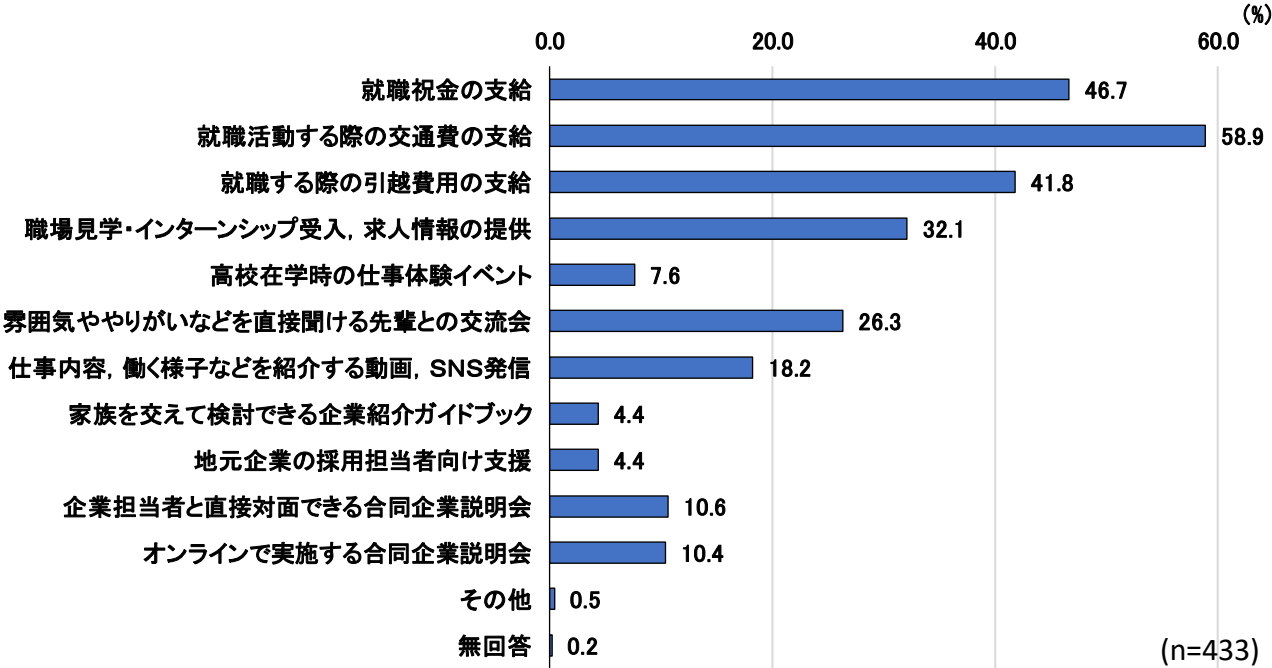
区分	総数	
企業のPRポイント	103 人	23.8%
職場の雰囲気、社風	336 人	77.6%
具体的な業務内容	332 人	76.7%
残業、休日出勤の実態	287 人	66.3%
求める人物像	150 人	34.6%
若手社員の定着状況	152 人	35.1%
教育研修制度、資格取得に関すること	133 人	30.7%
先輩社員の声(入社のかっかけ、やりがい)	147 人	33.9%
採用の選考方法・選考基準・採用実績	207 人	47.8%
勤務年数に応じたモデル年収	145 人	33.5%
福利厚生制度の内容	189 人	43.6%
職場見学やインターンシップの受入	81 人	18.7%
その他	2 人	0.5%
無回答	1 人	0.2%
合計	2,265 人	



(5) あれば「うれしい就職支援の取り組み」はなんですか。(複数回答:3つまで)

「就職活動する際の交通費の支給」が 58.9%と最も高く、次いで「就職祝金の支給」が 46.7%、「就職する際の引越費用の支給」が 41.8%となった。

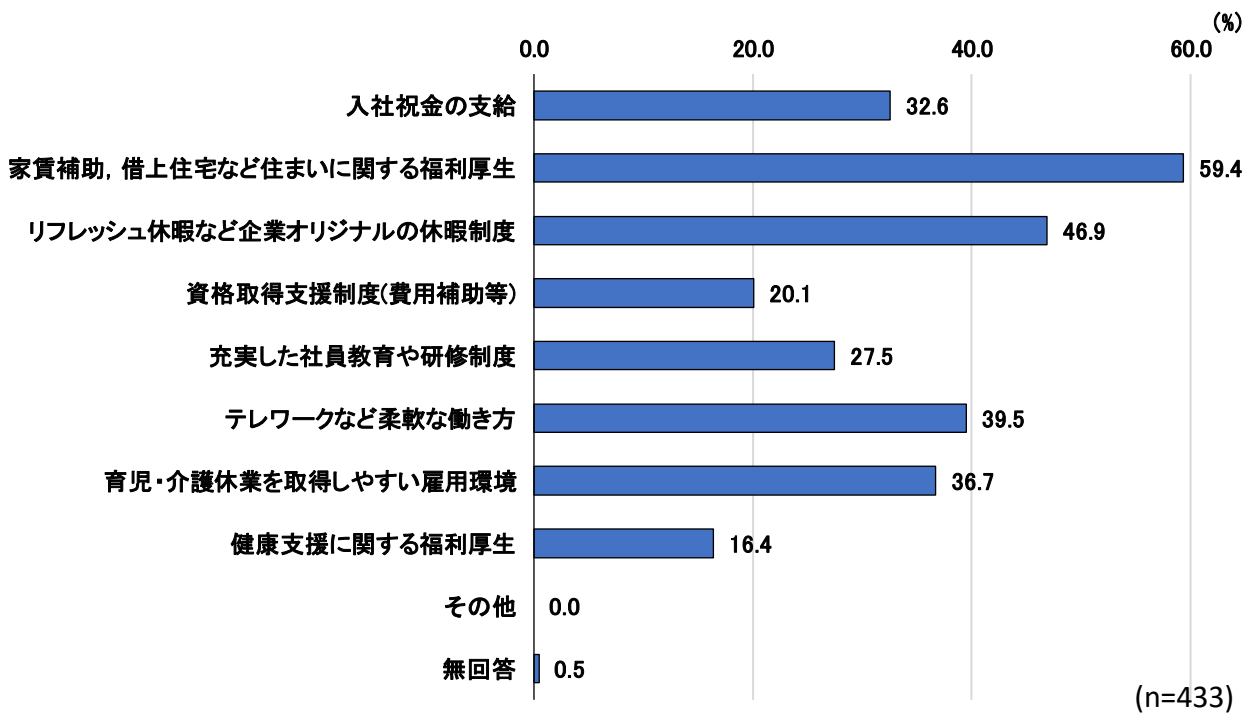
区分	総数	
就職祝金の支給	202 人	46.7%
就職活動する際の交通費の支給	255 人	58.9%
就職する際の引越費用の支給	181 人	41.8%
職場見学・インターンシップ受入, 求人情報の提供	139 人	32.1%
高校在学時の仕事体験イベント	33 人	7.6%
雰囲気ややりがいなどを直接聞ける先輩との交流会	114 人	26.3%
仕事内容, 働く様子などを紹介する動画, SNS発信	79 人	18.2%
家族を交えて検討できる企業紹介ガイドブック	19 人	4.4%
地元企業の採用担当者向け支援	19 人	4.4%
企業担当者と直接対面できる合同企業説明会	46 人	10.6%
オンラインで実施する合同企業説明会	45 人	10.4%
その他	2 人	0.5%
無回答	1 人	0.2%
合計	1,135 人	



(6) 就職先があれば「うれしい制度(取り組み)」はなんですか。(複数回答:3つまで)

「家賃補助, 借上住宅など住まいに関する福利厚生」が 59.4%と最も高く, 次いで「リフレッシュ休暇など企業オリジナルの休暇制度」が 46.9%, 「テレワークなど柔軟な働き方」が 39.5%となった。

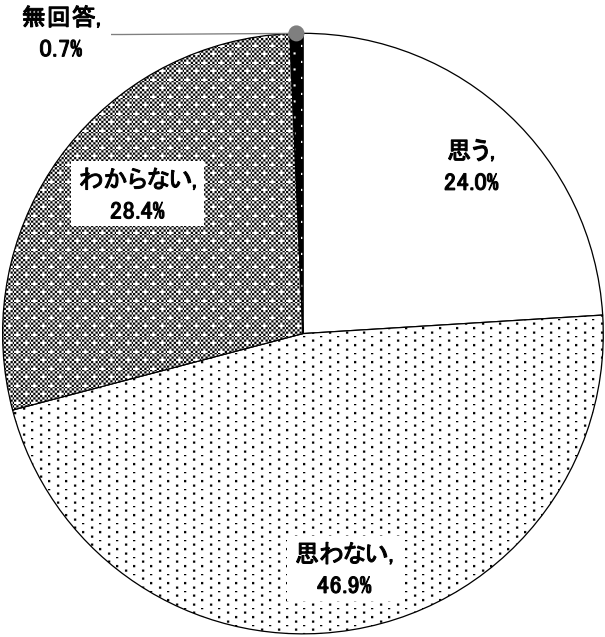
区分	総数	
入社祝金の支給	141 人	32.6%
家賃補助, 借上住宅など住まいに関する福利厚生	257 人	59.4%
リフレッシュ休暇など企業オリジナルの休暇制度	203 人	46.9%
資格取得支援制度(費用補助等)	87 人	20.1%
充実した社員教育や研修制度	119 人	27.5%
テレワークなど柔軟な働き方	171 人	39.5%
育児・介護休業を取得しやすい雇用環境	159 人	36.7%
健康支援に関する福利厚生	71 人	16.4%
その他	0 人	0.0%
無回答	2 人	0.5%
合計	1,210 人	



(7) 学校を卒業後、函館で働きたいと思いますか。(単数回答)

「思わない」が46.9%、「わからない」が28.4%、「思う」が24.0%となった。

区分	思う	思わない	わからない	無回答	合計
総数	104 人	203 人	123 人	3 人	433 人
	24.0%	46.9%	28.4%	0.7%	100.0%

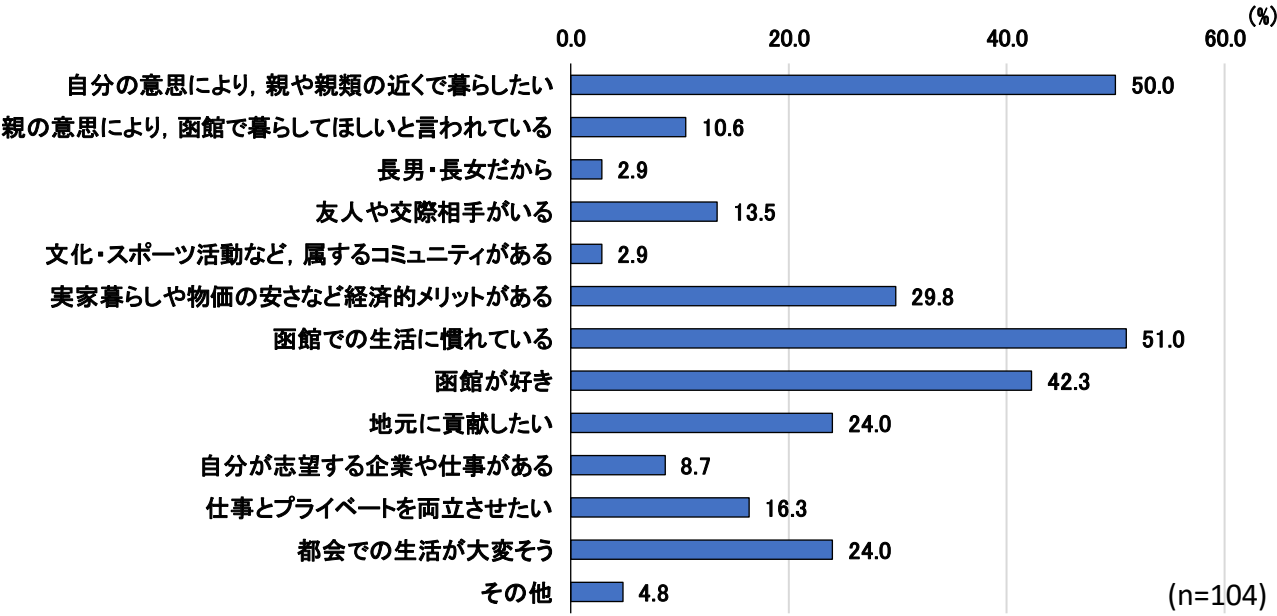


(n=433)

(8) 函館で働きたいと思う理由はなんですか。(複数回答) ※(7)で「思う」を選んだ方のみ

「函館での生活に慣れているから」が 51.0%と最も高く、次いで「自分の意思により、親や親類の近くで暮らしたいから」が 50.0%、「函館が好きだから」が 42.3%となった。

区分	総数	
自分の意思により、親や親類の近くで暮らしたい	52 人	50.0%
親の意思により、函館で暮らしてほしいと言われている	11 人	10.6%
長男・長女だから	3 人	2.9%
友人や交際相手がいる	14 人	13.5%
文化・スポーツ活動など、属するコミュニティがある	3 人	2.9%
実家暮らしや物価の安さなど経済的メリットがある	31 人	29.8%
函館での生活に慣れている	53 人	51.0%
函館が好き	44 人	42.3%
地元へ貢献したい	25 人	24.0%
自分が志望する企業や仕事がある	9 人	8.7%
仕事とプライベートを両立させたい	17 人	16.3%
都会での生活が大変そう	25 人	24.0%
その他	5 人	4.8%
合計	292 人	



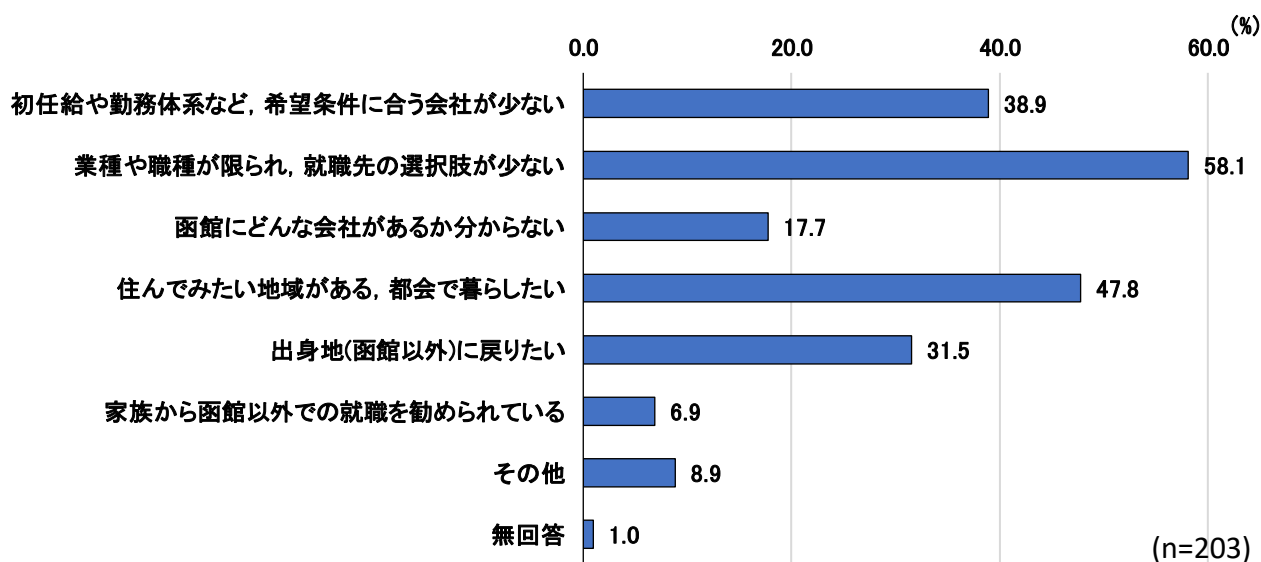
〈その他の主な回答〉

- ・ 家庭がある
- ・ 市内で生活したい場所がある
- ・ 市外へは旅行で行く程度で十分

(9) 函館で働きたいと思わない理由はなんですか。(複数回答) ※(7)で「思わない」を選んだ方のみ

「業種や職種が限られ、就職先の選択肢が少ないから」が 58.1%と最も高く、次いで「住んでみたい地域があるから、都会で暮らしたいから」が 47.8%、「初任給や勤務体系など、希望条件に合う待遇の会社や仕事が少ないから」が 38.9%となった。

区分	総数	
初任給や勤務体系など、希望条件に合う会社が少ない	79 人	38.9%
業種や職種が限られ、就職先の選択肢が少ない	118 人	58.1%
函館にどんな会社があるか分からない	36 人	17.7%
住んでみたい地域がある、都会で暮らしたい	97 人	47.8%
出身地(函館以外)に戻りたい	64 人	31.5%
家族から函館以外での就職を勧められている	14 人	6.9%
その他	18 人	8.9%
無回答	2 人	1.0%
合計	428 人	



〈その他の主な回答〉

- ・交通が不便
- ・職種がない
- ・休日の過ごし方に限りがある

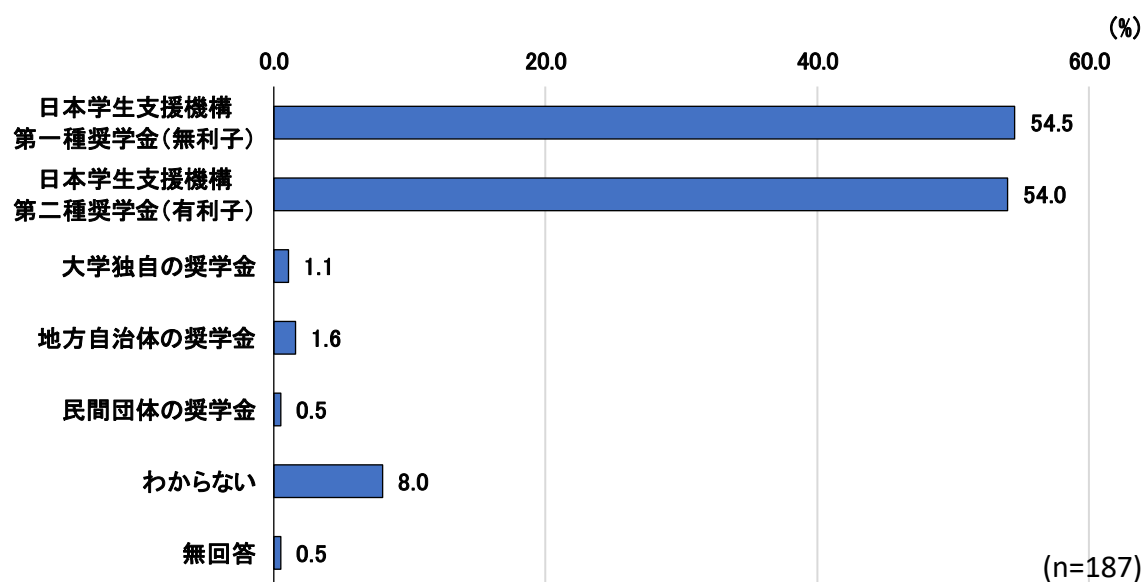
4. 貸与型奨学金制度の利用者

差し支えない範囲でけっこうですので、利用している貸与型奨学金について教えてください。

(1) 貸与型奨学金の種類（複数回答）※利用しているを選んだ方のみ

「日本学生支援機構：第一種奨学金（無利子）」が 54.5%、「日本学生支援機構：第二種奨学金（有利子）」が 54.0%となった。

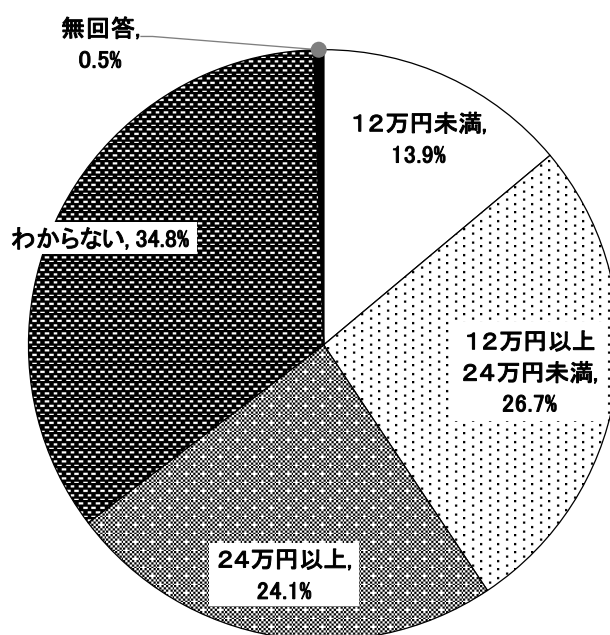
区分	日本学生支援機構 第一種奨学金 (無利子)	日本学生支援機構 第二種奨学金 (有利子)	大学独自の 奨学金	地方自治体 の奨学金	民間団体の 奨学金	わからない	無回答	合計
総数	102 人	101 人	2 人	3 人	1 人	15 人	1 人	225 人
	54.5%	54.0%	1.1%	1.6%	0.5%	8.0%	0.5%	



(2) 年間の返還予定額 (単数回答) なお, 併用している方は, 合算した額でお答えください。 ※利用しているを選んだ方のみ

「わからない」が 34.8%, 「12万円以上24万円未満 (毎月の支払いが1万円以上2万円未満)」が 26.7%, 「24万円以上 (毎月の支払いが2万円以上)」が 24.1%となった。

区分	12万円未満	12万円以上 24万円未満	24万円以上	わからない	無回答	合計
総数	26人	50人	45人	65人	1人	187人
	13.9%	26.7%	24.1%	34.8%	0.5%	100.0%

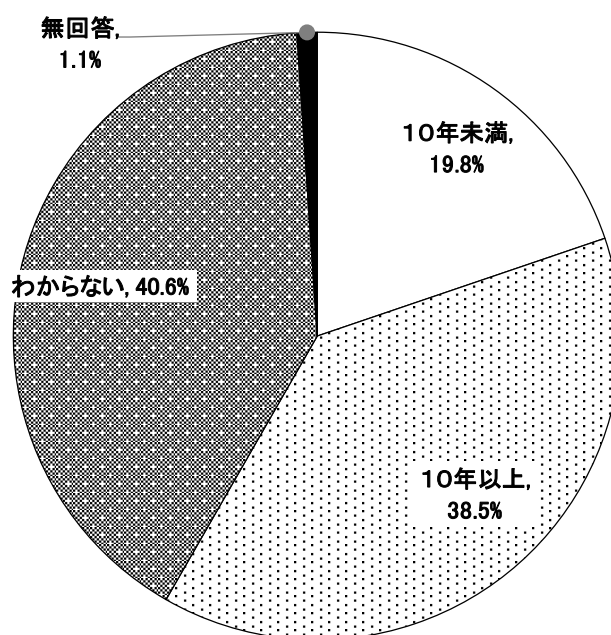


(n=187)

(3) 返還(償還)予定期間(単数回答)なお、併用している方は、最も長い期間でお答えください。※利用しているを選んだ方のみ

「わからない」が40.6%、「10年以上」が38.5%、「10年未満」が19.8%となった。

区分	10年未満	10年以上	わからない	無回答	合計
総数	37人	72人	76人	2人	187人
	19.8%	38.5%	40.6%	1.1%	100.0%

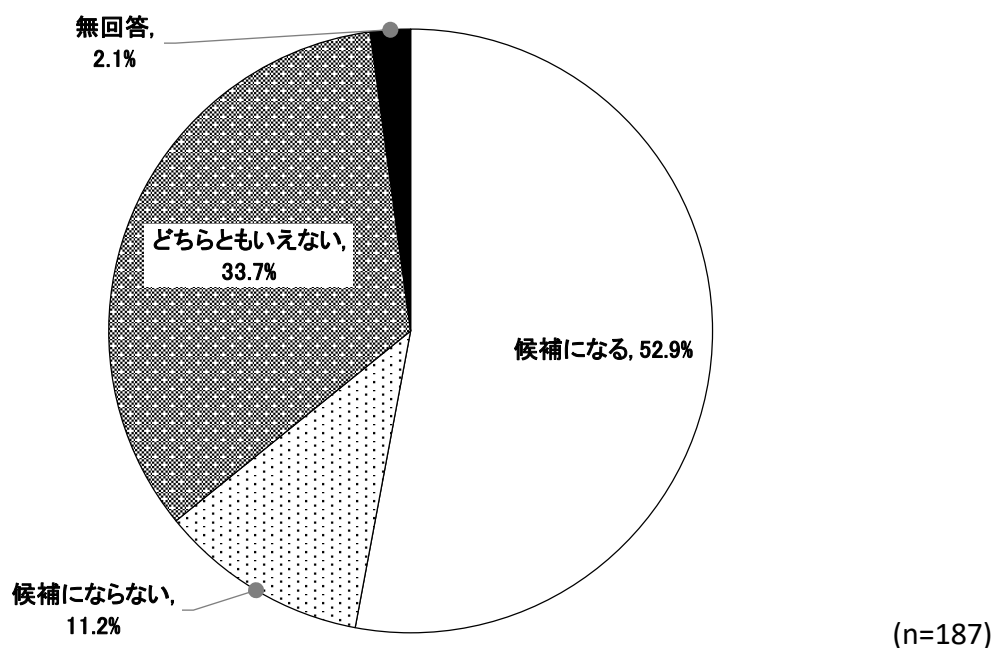


(n=187)

(4) 就職活動の際、『第一志望の奨学金返還補助制度のない函館以外の企業』と『同じ業種で奨学金返還補助制度のある函館の企業』があったとき、函館の企業はエントリー候補になり得ますか。(単数回答) ※利用しているを選んだ方のみ

「候補になる」が 52.9%、「どちらともいえない」が 33.7%、「候補にならない」が 11.2%となった。

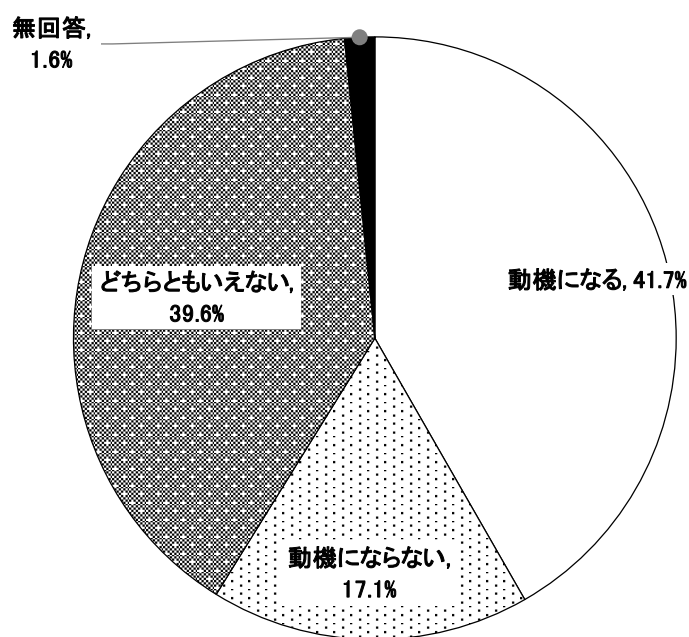
区分	候補になる	候補にならない	どちらともいえない	無回答	合計
総数	99人	21人	63人	4人	187人
	52.9%	11.2%	33.7%	2.1%	100.0%



(5) 就職活動の際、もし『奨学金返還補助制度のない函館以外の企業』から先に内定を得て承諾書・誓約書を提出した後に、『奨学金返還補助制度のある函館の企業』から内定を得たとき、函館の企業に入社する動機になり得ますか。(単数回答) ※利用しているを選んだ方のみ

「動機になる」が41.7%、「どちらともいえない」が39.6%、「動機にならない」が17.1%となった。

区分	動機になる	動機にならない	どちらともいえない	無回答	合計
総数	78人	32人	74人	3人	187人
	41.7%	17.1%	39.6%	1.6%	100.0%



(n=187)

5. 函館で働きたいと思う人を増やすためのアイデアがあれば自由にお書きください。(自由記述)

自由記述を主な内容で分類すると、「企業誘致, 働ける場の増加」に関する内容が 26.8%と最も高くなった。

(n=153)

区分	総数	
給料の上昇	13 人	8.5%
大型商業施設の建設・誘致	14 人	9.2%
娯楽施設等の建設・誘致	9 人	5.9%
企業誘致, 働ける場の増加	41 人	26.8%
地元企業への支援	21 人	13.7%
交通の利便性の向上・改善	14 人	9.2%
住みよいまちづくり	11 人	7.2%
地域の情報発信	14 人	9.2%
子育て支援	5 人	3.3%
移住・定住の促進	2 人	1.3%
就労支援	1 人	0.7%
補助金等の支援	15 人	9.8%
大学・専門学校を増やす	2 人	1.3%
その他	33 人	21.6%
合計	195 人	

※複数の分野にわたるアイデアについては重複してカウント

〈その他の主な回答〉

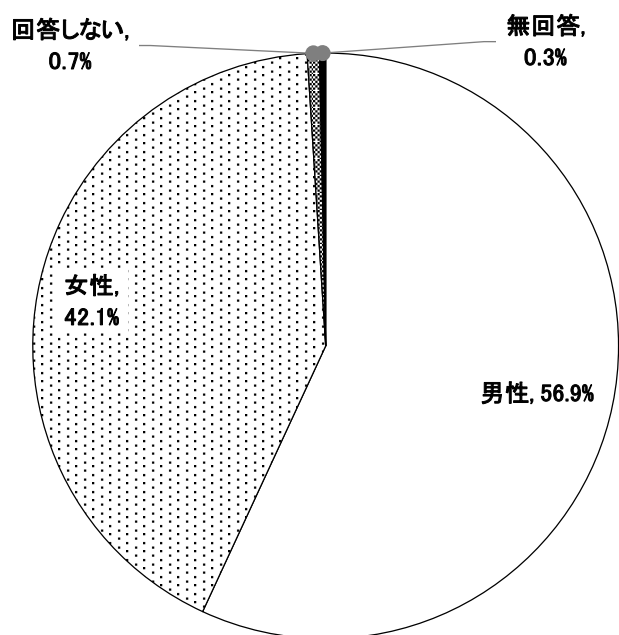
- ・ 医療を充実させる
- ・ 人の関わりを増やす
- ・ 教育レベルを上げる

IV. 調査結果【若手社員】

1. 回答者の属性

(1) 性別

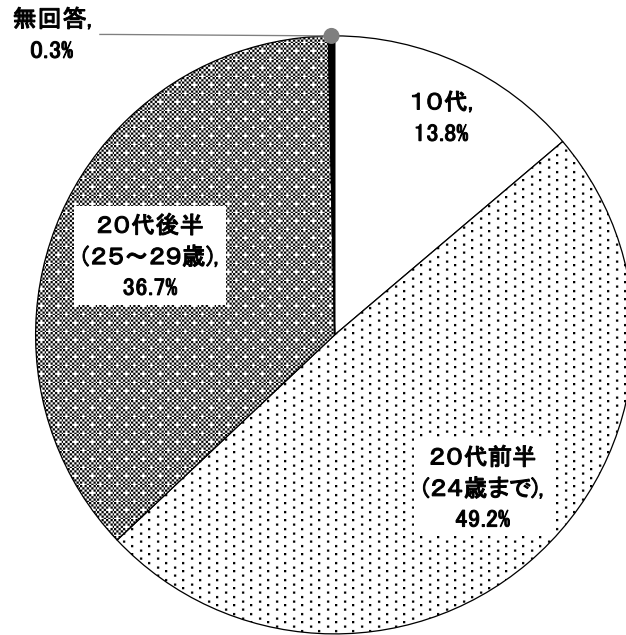
区分	男性	女性	回答しない	無回答	合計
総数	169 人	125 人	2 人	1 人	297 人
	56.9%	42.1%	0.7%	0.3%	100.0%



(n=297)

(2) 年齢 (R4.4.1 時点の年齢)

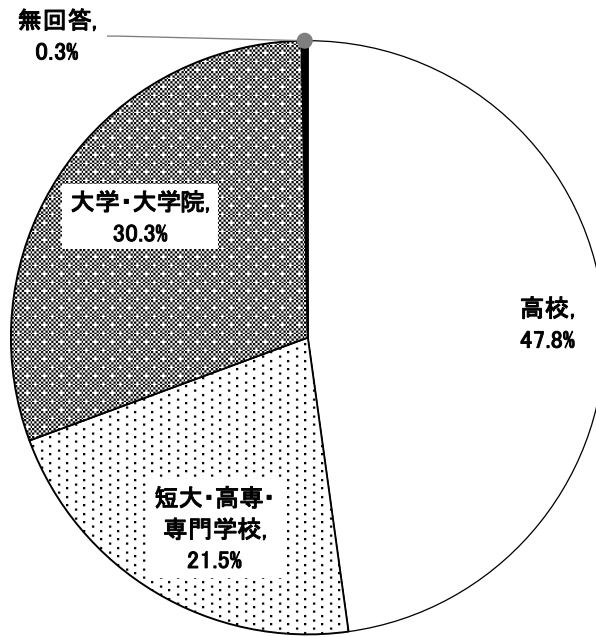
区分	10代	20代前半 (24歳まで)	20代後半 (25～29歳)	無回答	合計
総数	41 人	146 人	109 人	1 人	297 人
	13.8%	49.2%	36.7%	0.3%	100.0%



(n=297)

(3) 最終学歴 (卒業歴)

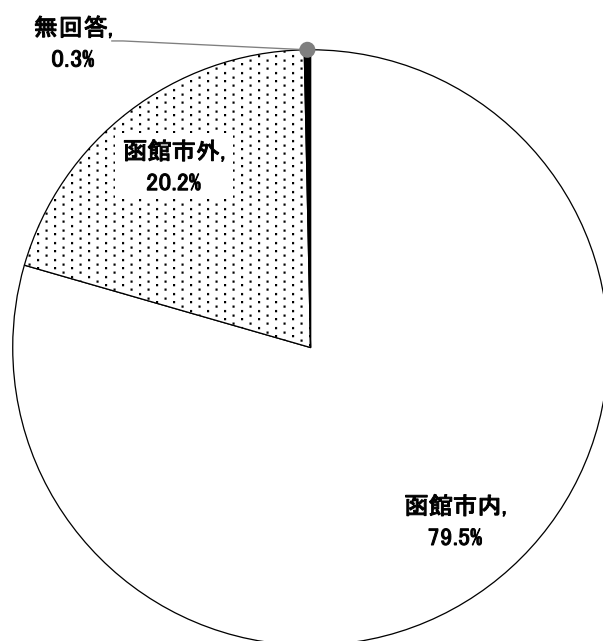
区分	高校	短大・高専・ 専門学校	大学・大学院	その他	無回答	合計
総数	142 人	64 人	90 人	0 人	1 人	297 人
	47.8%	21.5%	30.3%	0.0%	0.3%	100.0%



(n=297)

(4) 現在の居住地

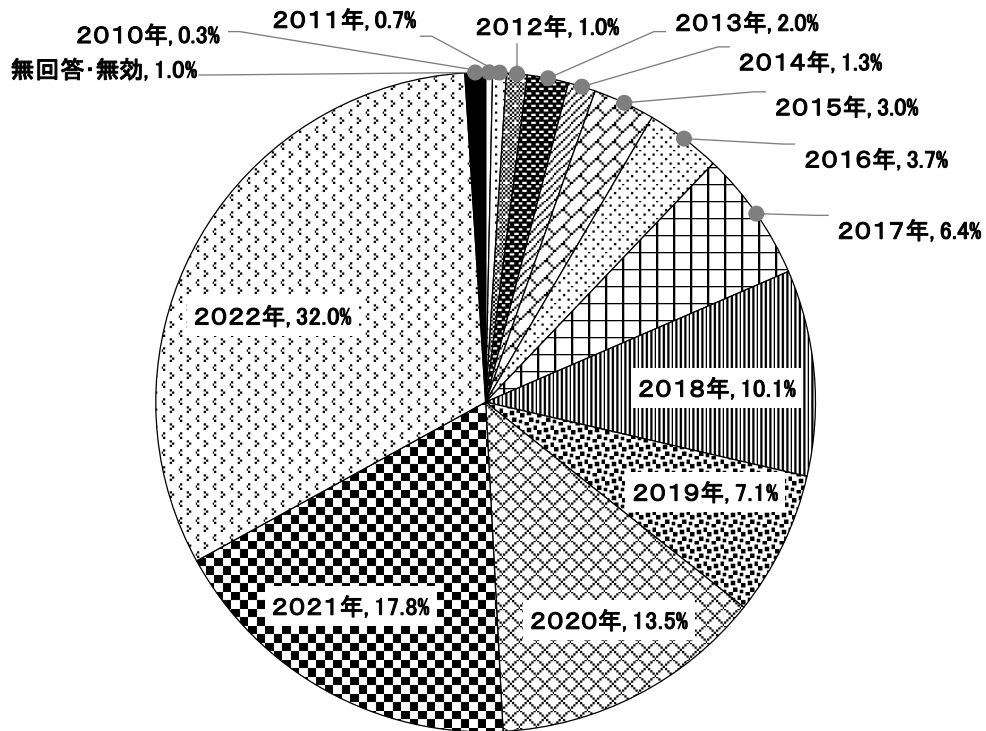
区分	函館市内	函館市外	無回答	合計
総数	236 人	60 人	1 人	297 人
	79.5%	20.2%	0.3%	100.0%



(n=297)

(5) 入社年

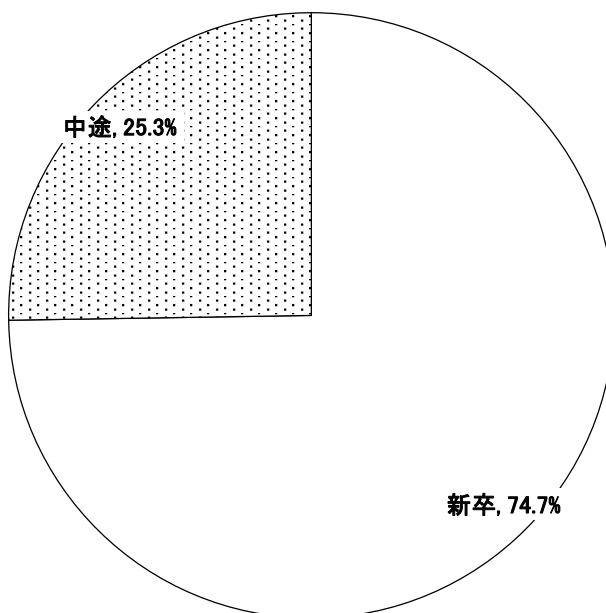
区分	総数	
2010年	1人	0.3%
2011年	2人	0.7%
2012年	3人	1.0%
2013年	6人	2.0%
2014年	4人	1.3%
2015年	9人	3.0%
2016年	11人	3.7%
2017年	19人	6.4%
2018年	30人	10.1%
2019年	21人	7.1%
2020年	40人	13.5%
2021年	53人	17.8%
2022年	95人	32.0%
無回答・無効	3人	1.0%
合計	297人	100.0%



(n=297)

(6) 入社形態

区分	新卒	中途	合計
総数	222 人	75 人	297 人
	74.7%	25.3%	100.0%

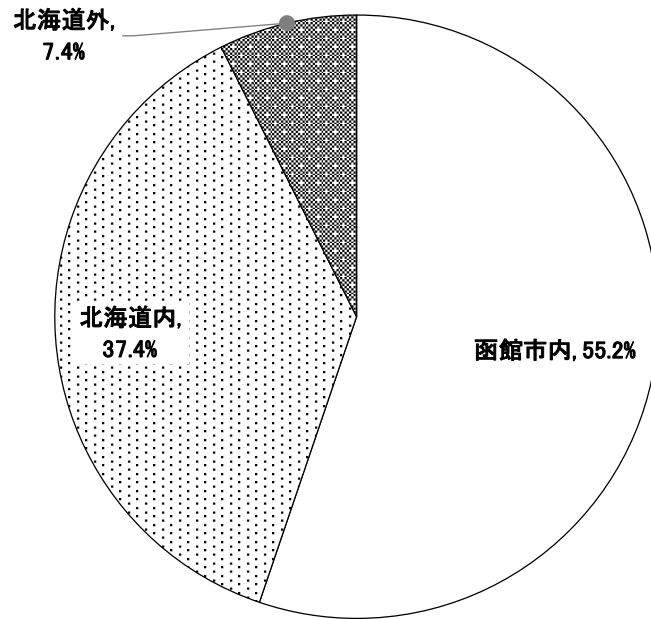


(n=297)

(7) 高校卒業時の居住地

区分	函館市内	北海道内※	北海道外	合計
総数	164 人	111 人	22 人	297 人
	55.2%	37.4%	7.4%	100.0%

※函館市を除く

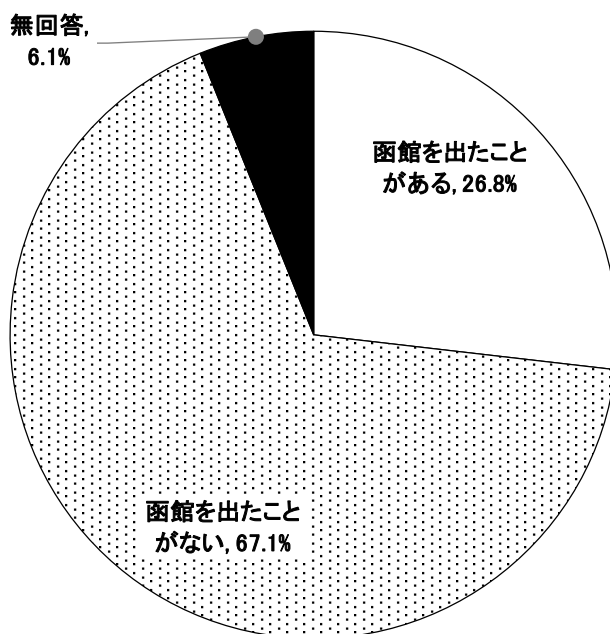


(n=297)

(8) 高校卒業後の居住

(高校卒業時は函館市内に居住していた方へ) 高校卒業後, 進学や就職などで一度でも函館を出たことがありますか。

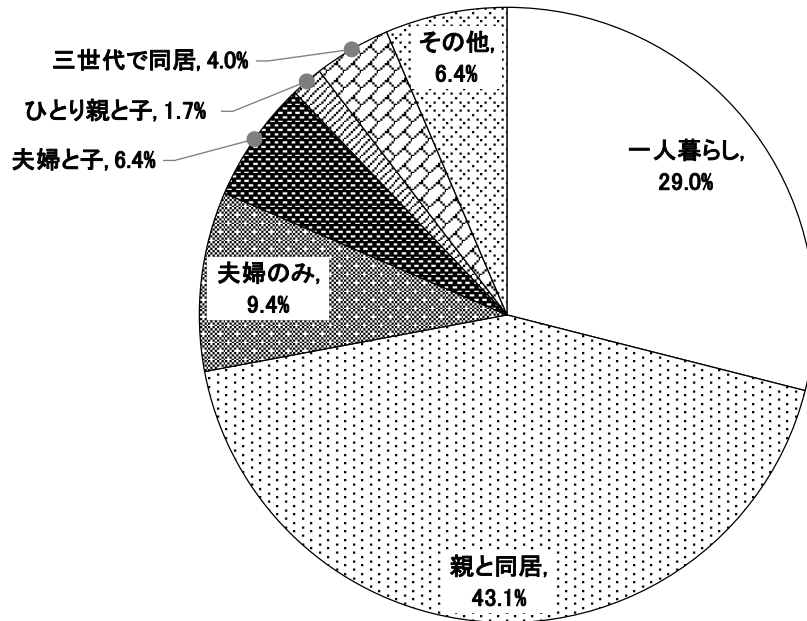
区分	函館を出たことがある	函館を出たことがない	無回答	合計
総数	44 人	110 人	10 人	164 人
	26.8%	67.1%	6.1%	100.0%



(n=164)

(9) 世帯の状況

区分	一人暮らし	親と同居	夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親と子	三世代で同居	その他	合計
総数	86人	128人	28人	19人	5人	12人	19人	297人
	29.0%	43.1%	9.4%	6.4%	1.7%	4.0%	6.4%	100.0%



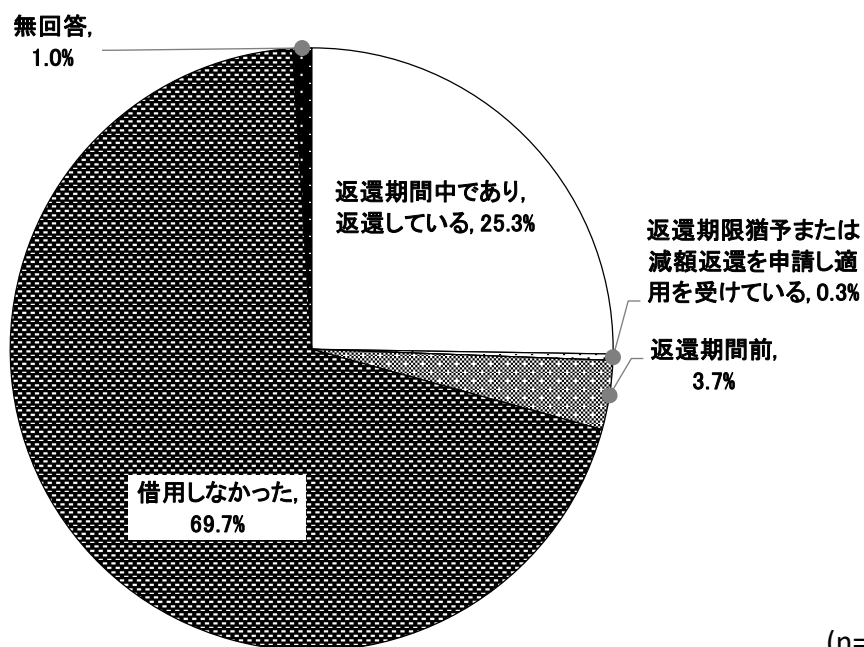
(n=297)

(10) 貸与型奨学金制度の利用

学生時代、貸与型奨学金を借用し、現在、その返還をしていますか（単数回答）

「貸与型奨学金は借用しなかった」が 69.7%、「現在、返還期間中であり、返還している」が 25.3%、「現在、返還期間前」が 3.7%となった。

区分	返還期間中であり、返還している	返還期限猶予または減額返還を申請し適用を受けている	返還できず、遅延している状態	返還期間前	借用しなかった	無回答	合計
総数	75人	1人	0人	11人	207人	3人	297人
	25.3%	0.3%	0.0%	3.7%	69.7%	1.0%	100.0%

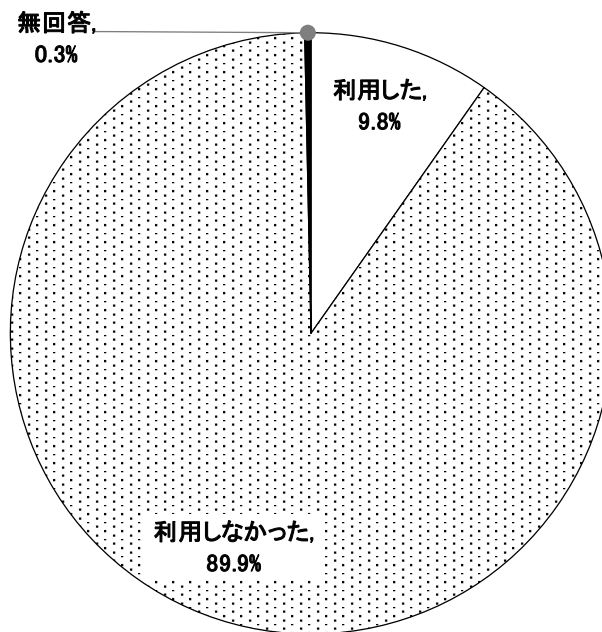


(11) 給付型奨学金制度の利用

学生時代、給付型奨学金は利用しましたか（単数回答）

「利用しなかった」が 89.9%、「利用した」が 9.8%となった。

区分	利用した	利用しなかった	無回答	合計
総数	29 人	267 人	1 人	297 人
	9.8%	89.9%	0.3%	100.0%



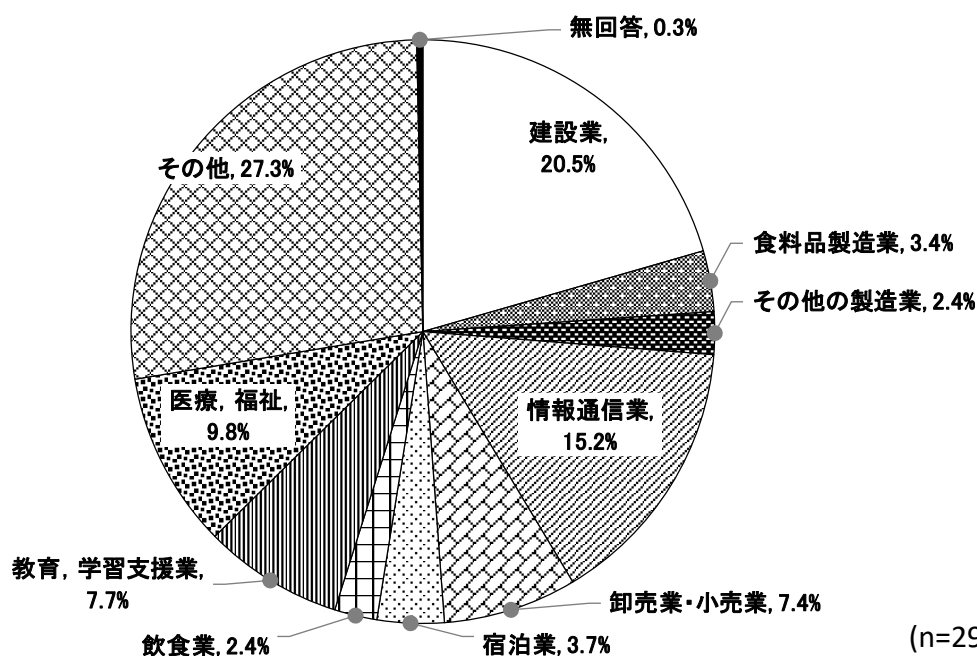
(n=297)

2. 現在の勤務先について

(1) 今の勤務先の業種（単数回答）

「その他」が 27.3%、「建設業」が 20.5%、「情報通信業（電話などの通信，ソフトウェア開発，インターネットサービスなど）」が 15.2%となった。

区分	総数	
建設業	61 人	20.5%
食料品製造業	10 人	3.4%
その他の製造業	7 人	2.4%
情報通信業	45 人	15.2%
卸売業・小売業	22 人	7.4%
宿泊業	11 人	3.7%
飲食業	7 人	2.4%
教育, 学習支援業	23 人	7.7%
医療, 福祉	29 人	9.8%
その他	81 人	27.3%
無回答	1 人	0.3%
合計	297 人	100.0%



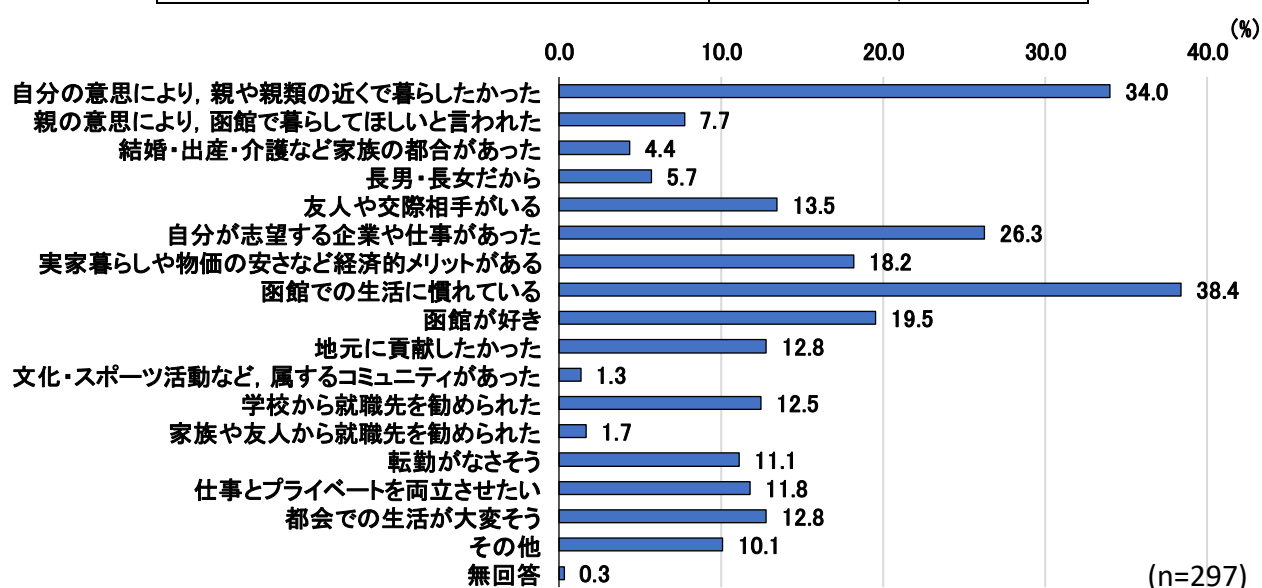
〈その他の主な回答〉

- ・金融業

(2) 函館で就職した理由はなんですか。(複数回答)

「函館での生活に慣れているから」が38.4%と最も高く、次いで「自分の意思により、親や親類の近くで暮らしたかったから」が34.0%、「自分が志望する企業や仕事があったから」が26.3%となった。

区分	総数	
自分の意思により、親や親類の近くで暮らしたかった	101人	34.0%
親の意思により、函館で暮らしてほしいと言われた	23人	7.7%
結婚・出産・介護など家族の都合があった	13人	4.4%
長男・長女だから	17人	5.7%
友人や交際相手がいる	40人	13.5%
自分が志望する企業や仕事があった	78人	26.3%
実家暮らしや物価の安さなど経済的メリットがある	54人	18.2%
函館での生活に慣れている	114人	38.4%
函館が好き	58人	19.5%
地元に貢献したかった	38人	12.8%
文化・スポーツ活動など、属するコミュニティがあった	4人	1.3%
学校から就職先を勧められた	37人	12.5%
家族や友人から就職先を勧められた	5人	1.7%
転勤がなさそう	33人	11.1%
仕事とプライベートを両立させたい	35人	11.8%
都会での生活が大変そう	38人	12.8%
その他	30人	10.1%
無回答	1人	0.3%
合計	719人	



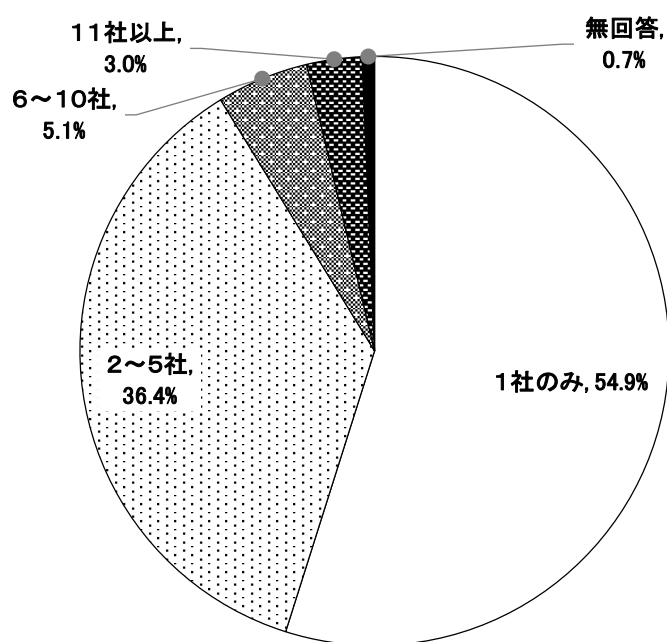
〈その他の主な回答〉

- ・ 転勤のため

(3) 今の勤務先に就職する際の就職活動で、何社応募しましたか（面接の有無は問いません）（単数回答）

「1社のみ（今の勤務先のみ）」が54.9%と最も高く、次いで「2～5社」が36.4%、「6～10社」が5.1%となった。

区分	1社のみ	2～5社	6～10社	11社以上	無回答	合計
総数	163人	108人	15人	9人	2人	297人
	54.9%	36.4%	5.1%	3.0%	0.7%	100.0%

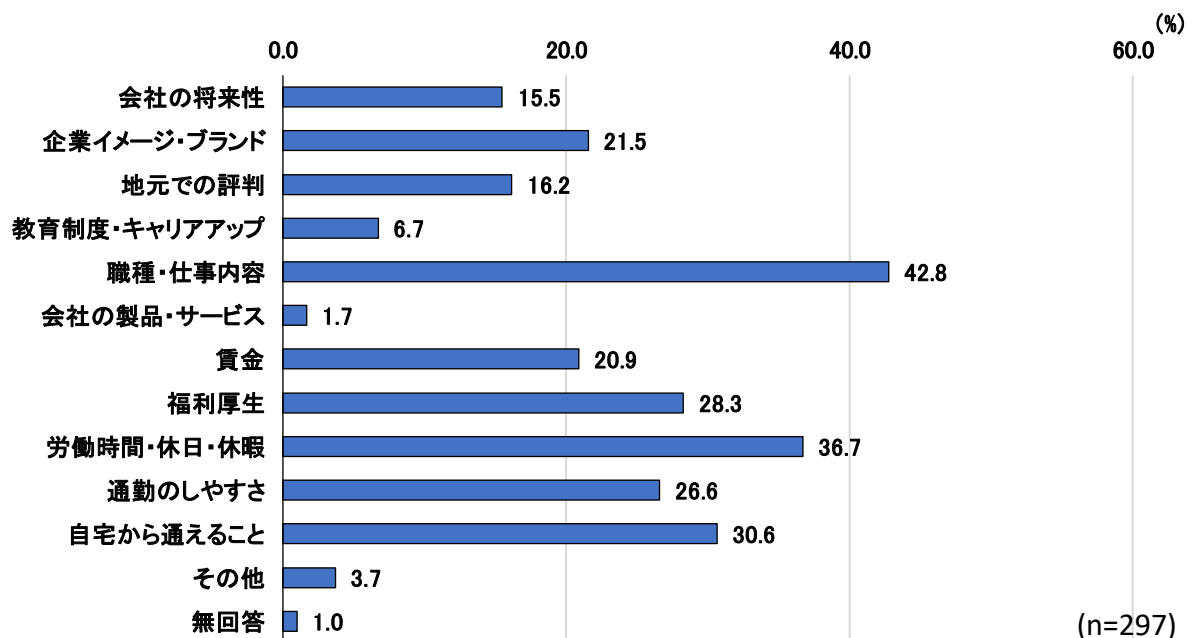


(n=297)

(4) 今の勤務先に就職するとき、重視した(魅力に感じた)点はなんですか。(複数回答)

「職種・仕事内容」が42.8%と最も高く、次いで「労働時間・休日・休暇」が36.7%、「自宅から通えること」が30.6%となった。

区分	総数	
会社の将来性	46 人	15.5%
企業イメージ・ブランド	64 人	21.5%
地元での評判	48 人	16.2%
教育制度・キャリアアップ	20 人	6.7%
職種・仕事内容	127 人	42.8%
会社の製品・サービス	5 人	1.7%
賃金	62 人	20.9%
福利厚生	84 人	28.3%
労働時間・休日・休暇	109 人	36.7%
通勤のしやすさ	79 人	26.6%
自宅から通えること	91 人	30.6%
その他	11 人	3.7%
無回答	3 人	1.0%
合計	749 人	



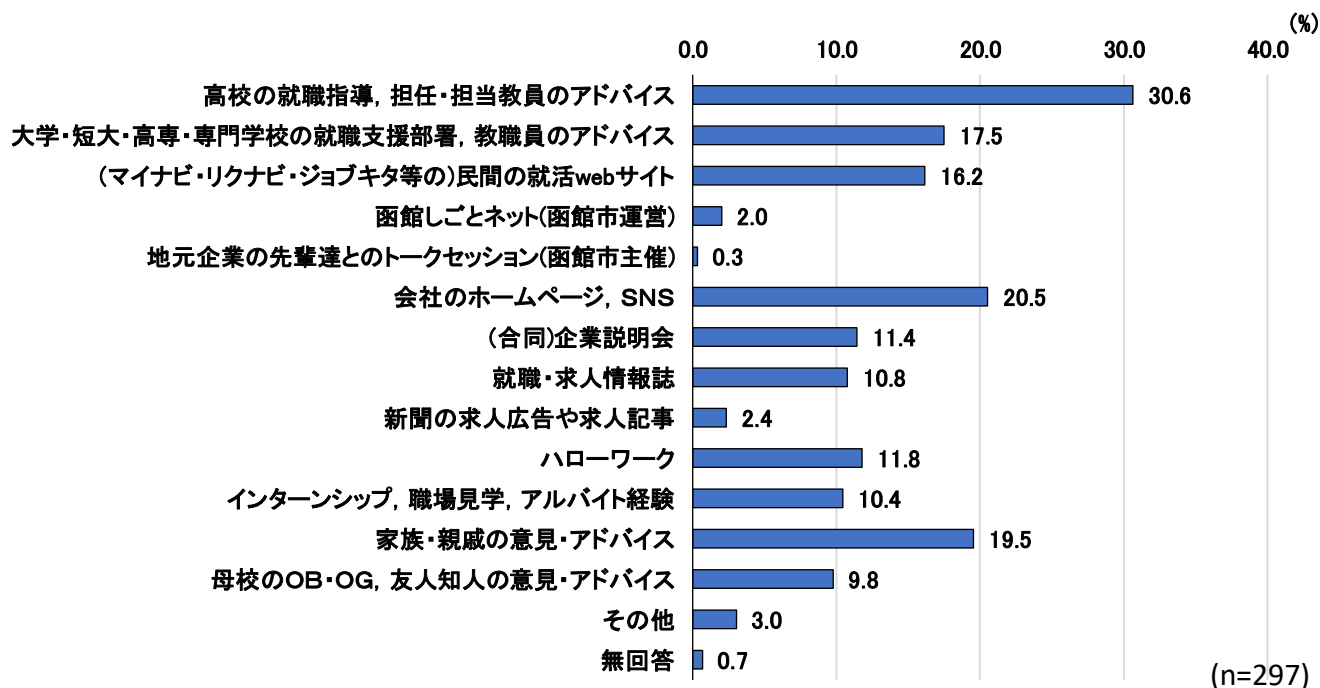
〈その他の主な回答〉

- ・人間関係が良さそう
- ・異動がない

(5) 今の勤務先を選ぶ際に参考にしたことはなんでしたか。(複数回答)

「高校の就職指導, 担任・担当教員のアドバイス」が30.6%と最も高く, 次いで「会社のホームページ, SNS」が20.5%, 「家族・親戚の意見・アドバイス」が19.5%となった。

区分	総数	
高校の就職指導, 担任・担当教員のアドバイス	91人	30.6%
大学・短大・高専・専門学校の就職支援部署, 教職員のアドバイス	52人	17.5%
(マイナビ・リクナビ・ジョブキタ等の)民間の就活webサイト	48人	16.2%
函館しごとネット(函館市運営)	6人	2.0%
地元企業の先輩達とのトークセッション(函館市主催)	1人	0.3%
会社のホームページ, SNS	61人	20.5%
(合同)企業説明会	34人	11.4%
就職・求人情報誌	32人	10.8%
新聞の求人広告や求人記事	7人	2.4%
ハローワーク	35人	11.8%
インターンシップ, 職場見学, アルバイト経験	31人	10.4%
家族・親戚の意見・アドバイス	58人	19.5%
母校のOB・OG, 友人知人の意見・アドバイス	29人	9.8%
その他	9人	3.0%
無回答	2人	0.7%
合計	496人	



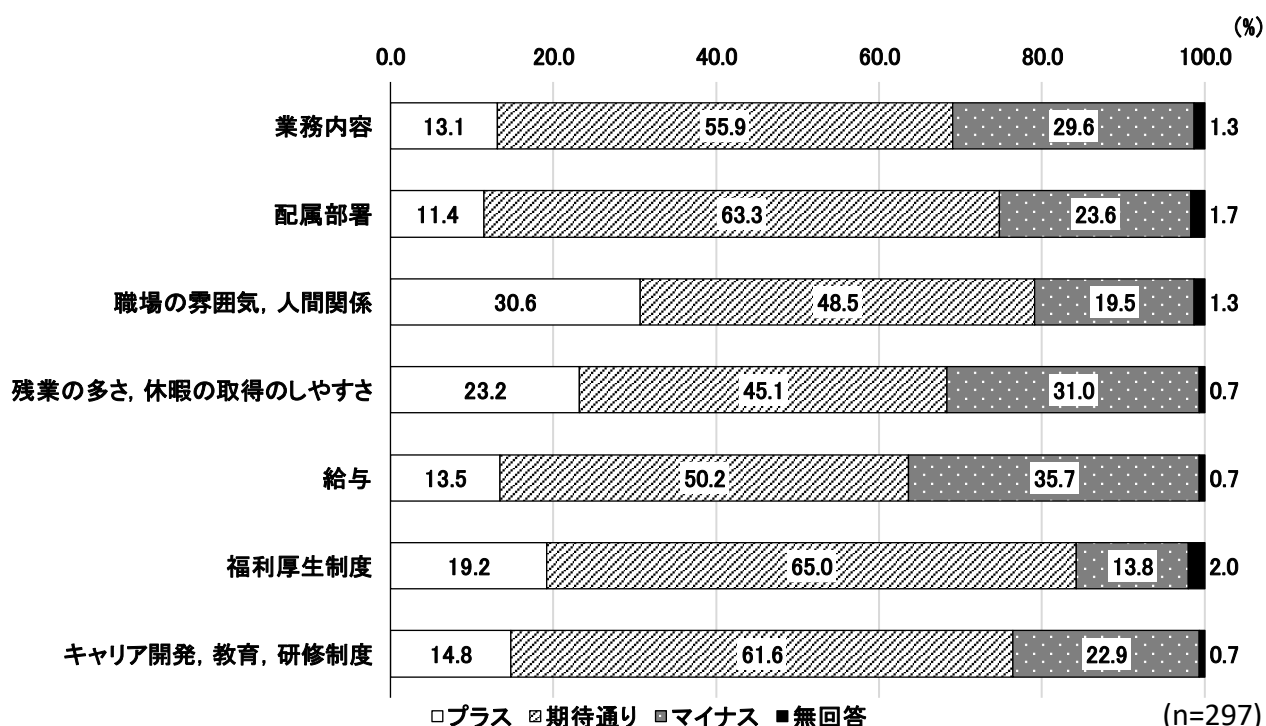
〈その他の主な回答〉

- ・アルバイトからの採用
- ・学校の企業説明会, 案内

(6) 今の勤務先に入社後、ギャップを感じたことがありますか。各項目ごとに期待を上回った場合はプラス、ギャップがなかった場合は期待通り、下回った場合はマイナスを選んでください。(単数回答)

入社後のギャップについて「期待通り」を選択した割合は、全項目で4割以上となった。「プラス」の割合が最も高くなったのは「職場の雰囲気、人間関係」の30.6%で、「マイナス」の割合が最も高くなったのは「給与」の35.7%、次いで「残業の多さ、休暇の取得のしやすさ」の31.0%となった。

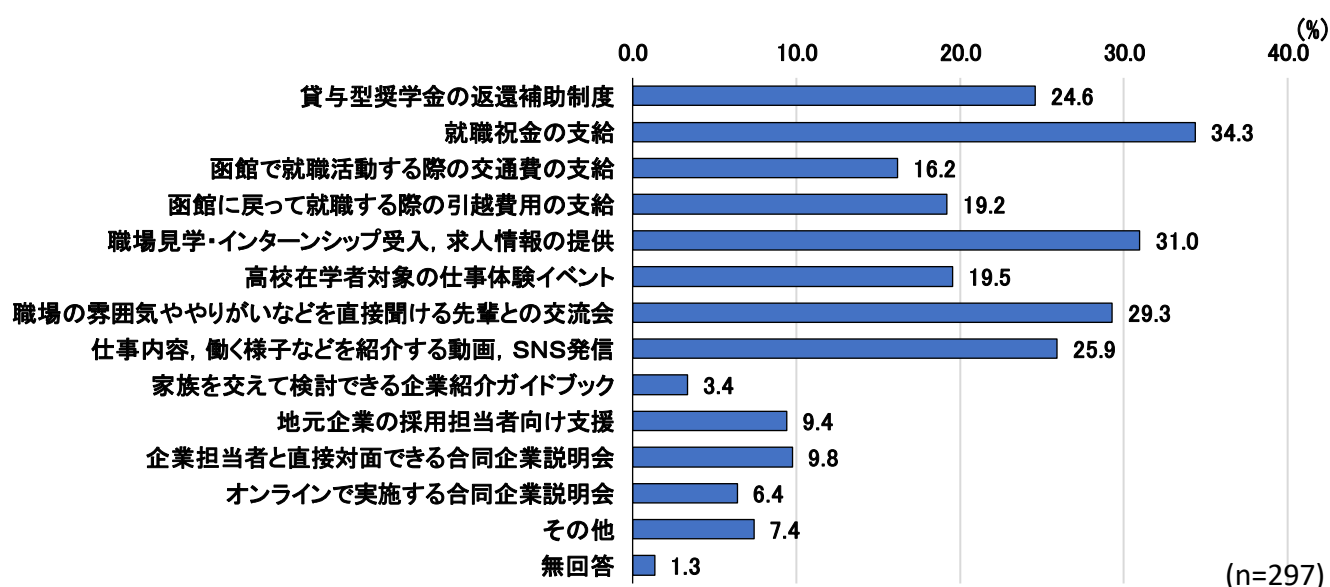
区分	プラス	期待通り	マイナス	無回答	合計
業務内容	39人	166人	88人	4人	297人
	13.1%	55.9%	29.6%	1.3%	100.0%
配属部署	34人	188人	70人	5人	297人
	11.4%	63.3%	23.6%	1.7%	100.0%
職場の雰囲気、人間関係	91人	144人	58人	4人	297人
	30.6%	48.5%	19.5%	1.3%	100.0%
残業の多さ、休暇の取得のしやすさ	69人	134人	92人	2人	297人
	23.2%	45.1%	31.0%	0.7%	100.0%
給与	40人	149人	106人	2人	297人
	13.5%	50.2%	35.7%	0.7%	100.0%
福利厚生制度	57人	193人	41人	6人	297人
	19.2%	65.0%	13.8%	2.0%	100.0%
キャリア開発、教育、研修制度	44人	183人	68人	2人	297人
	14.8%	61.6%	22.9%	0.7%	100.0%



(7) ご自身の経験を踏まえて、若者の函館への就職を促進させるためには、どのような就職支援の取り組みを充実させるべきだと思いますか。(複数回答:3つまで)

「就職祝金の支給」が34.3%と最も高く、次いで「地元企業の新卒向け職場見学・インターンシップ受入、求人情報の定期的な提供」が31.0%、「職場の雰囲気や仕事のやりがいなどを直接聞ける先輩若手社員との交流会」が29.3%となった。

区分	総数	
貸与型奨学金の返還補助制度	73人	24.6%
就職祝金の支給	102人	34.3%
函館で就職活動する際の交通費の支給	48人	16.2%
函館に戻って就職する際の引越費用の支給	57人	19.2%
職場見学・インターンシップ受入、求人情報の提供	92人	31.0%
高校在学者対象の仕事体験イベント	58人	19.5%
職場の雰囲気ややりがいなどを直接聞ける先輩との交流会	87人	29.3%
仕事内容、働く様子などを紹介する動画、SNS発信	77人	25.9%
家族を交えて検討できる企業紹介ガイドブック	10人	3.4%
地元企業の採用担当者向け支援	28人	9.4%
企業担当者と直接対面できる合同企業説明会	29人	9.8%
オンラインで実施する合同企業説明会	19人	6.4%
その他	22人	7.4%
無回答	4人	1.3%
合計	706人	



〈その他の主な回答〉

- ・給与水準の向上
- ・企業誘致
- ・経済的補助

3. 若者の地元就職・定着を実現させるためにお考えのことや感じたことがありましたら、ご意見をお聞かせください。(自由記述)

自由記述を主な内容で分類すると、「職場環境の改善」に関する内容が 27.0%と最も高く、次いで「給料の上昇」が 25.7%、「娯楽施設等の建設・誘致」が 20.3%とがなった。

(n=74)

区分	総数	
給料の上昇	19 人	25.7%
大型商業施設の建設・誘致	10 人	13.5%
娯楽施設等の建設・誘致	15 人	20.3%
企業誘致, 働ける場の増加	10 人	13.5%
地元企業への支援	3 人	4.1%
職場環境の改善	20 人	27.0%
交通の利便性の向上・改善	7 人	9.5%
住みよいまちづくり	4 人	5.4%
地域の情報発信	8 人	10.8%
子育て支援	4 人	5.4%
移住・定住の促進	4 人	5.4%
補助金等の支援	6 人	8.1%
その他	11 人	14.9%
合計	121 人	

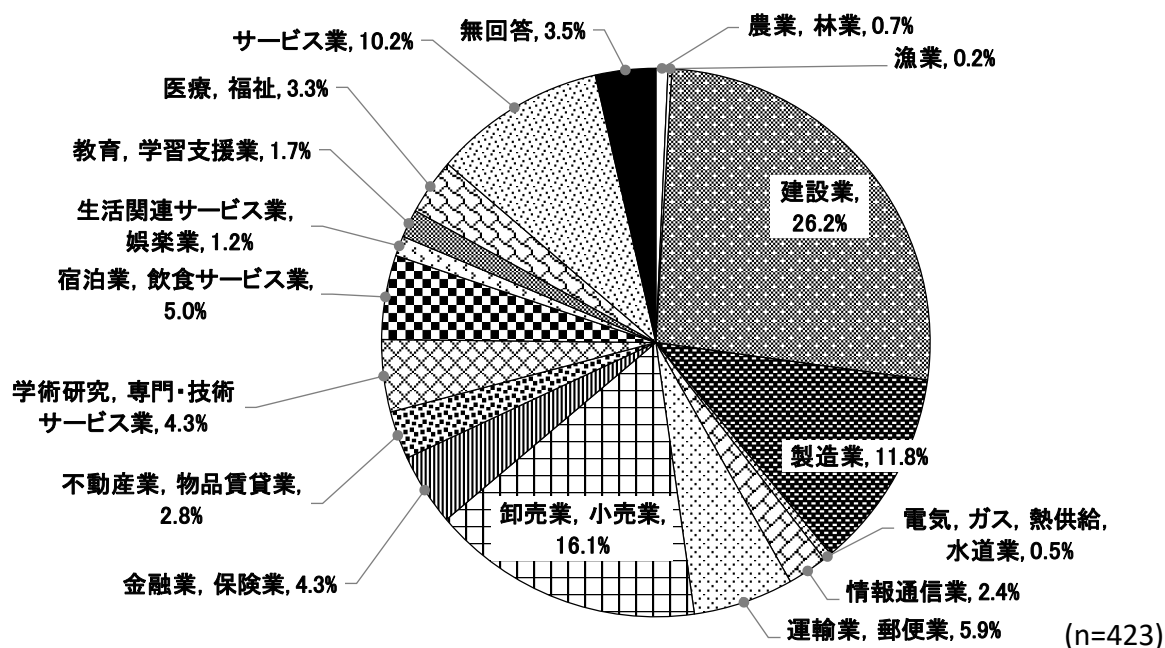
※複数の分野にわたる意見については重複してカウント

V. 調査結果【企業】

1. 回答者の属性

(1) 業種

区分	総数	
農業, 林業	3 社	0.7%
漁業	1 社	0.2%
鉱業, 採石業, 砂利採取業	0 社	0.0%
建設業	111 社	26.2%
製造業	50 社	11.8%
電気, ガス, 熱供給, 水道業	2 社	0.5%
情報通信業	10 社	2.4%
運輸業, 郵便業	25 社	5.9%
卸売業, 小売業	68 社	16.1%
金融業, 保険業	18 社	4.3%
不動産業, 物品賃貸業	12 社	2.8%
学術研究, 専門・技術サービス業	18 社	4.3%
宿泊業, 飲食サービス業	21 社	5.0%
生活関連サービス業, 娯楽業	5 社	1.2%
教育, 学習支援業	7 社	1.7%
医療, 福祉	14 社	3.3%
複合サービス事業	0 社	0.0%
サービス業	43 社	10.2%
無回答	15 社	3.5%
合計	423 社	100.0%



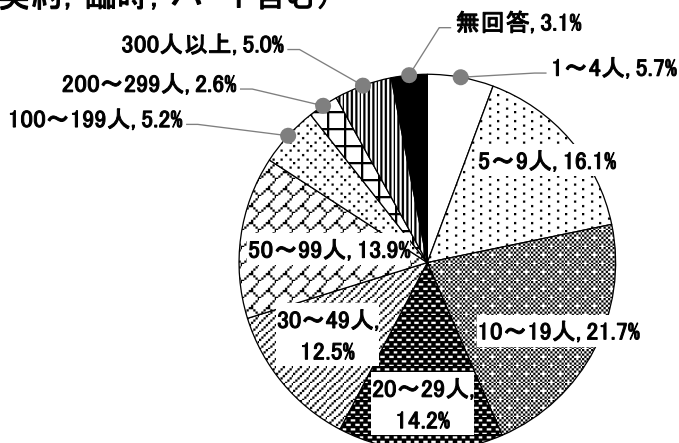
(2) 従業員数別企業数

区分	全従業員 (契約, 臨時, パート含む)		うち正規従業員		うち 29 歳以下※の正規従業員	
	社数	割合	社数	割合	社数	割合
0 人	-	-	1 社	0.2%	116 社	27.4%
1~4 人	24 社	5.7%	49 社	11.6%	146 社	34.5%
5~9 人	68 社	16.1%	82 社	19.4%	38 社	9.0%
10~19 人	92 社	21.7%	79 社	18.7%	37 社	8.7%
20~29 人	60 社	14.2%	54 社	12.8%	12 社	2.8%
30~49 人	53 社	12.5%	47 社	11.1%	9 社	2.1%
50~99 人	59 社	13.9%	45 社	10.6%	3 社	0.7%
100~199 人	22 社	5.2%	13 社	3.1%	3 社	0.7%
200~299 人	11 社	2.6%	5 社	1.2%	6 社	1.4%
300 人以上	21 社	5.0%	14 社	3.3%	2 社	0.5%
無回答	13 社	3.1%	34 社	8.0%	51 社	12.1%
合計	423 社	100.0%	423 社	100.0%	423 社	100.0%

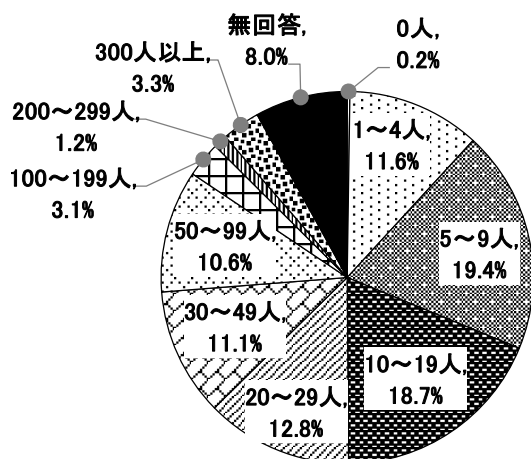
※令和 4 年 4 月 1 日時点

全従業員数別企業割合
(契約, 臨時, パート含む)

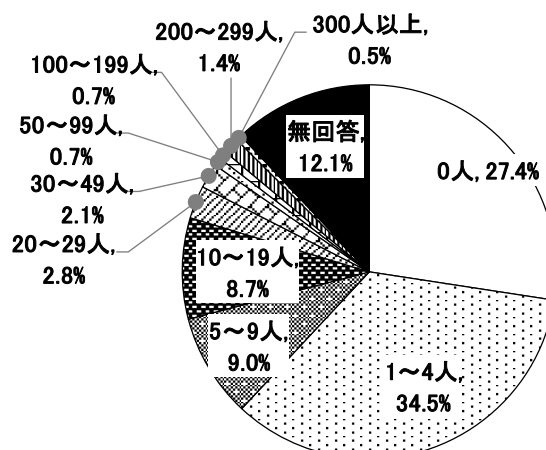
(n=423)



正規従業員数別企業割合



29歳以下の正規従業員数別企業割合



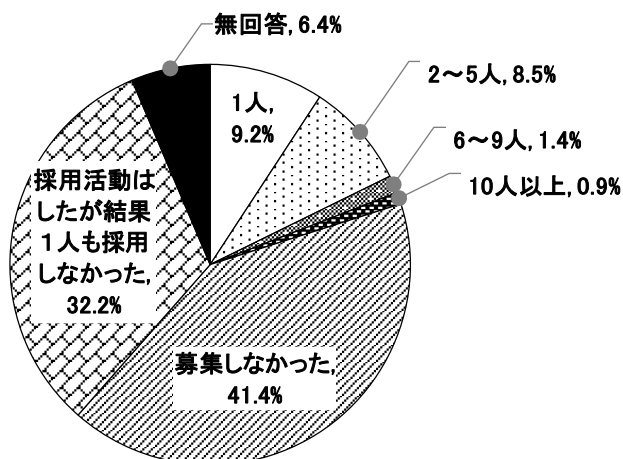
(3) 採用実績

学校区分別令和4年4月採用数実績

区分	高卒		短大・高専・専門学校卒		大学・大学院卒	
1人	39社	9.2%	23社	5.4%	19社	4.5%
2～5人	36社	8.5%	20社	4.7%	14社	3.3%
6～9人	6社	1.4%	0社	0.0%	5社	1.2%
10人以上	4社	0.9%	1社	0.2%	6社	1.4%
募集しなかった	175社	41.4%	180社	42.6%	184社	43.5%
採用活動はしたが結果1人も採用しなかった	136社	32.2%	164社	38.8%	161社	38.1%
無回答	27社	6.4%	35社	8.3%	34社	8.0%
合計	423社	100.0%	423社	100.0%	423社	100.0%

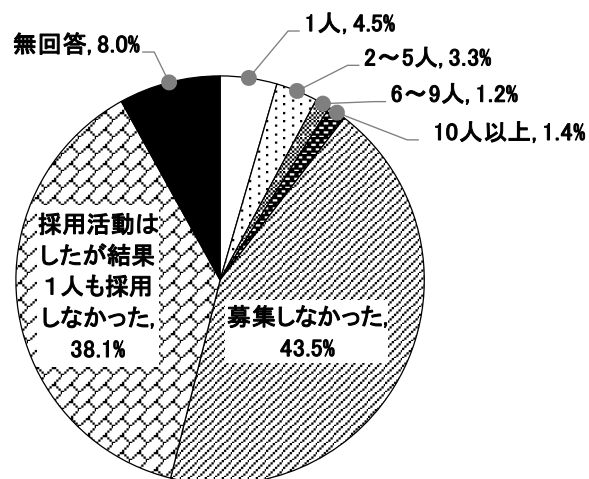
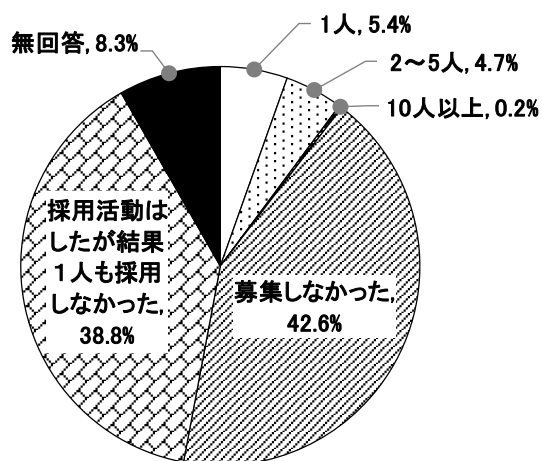
高卒

(n=423)



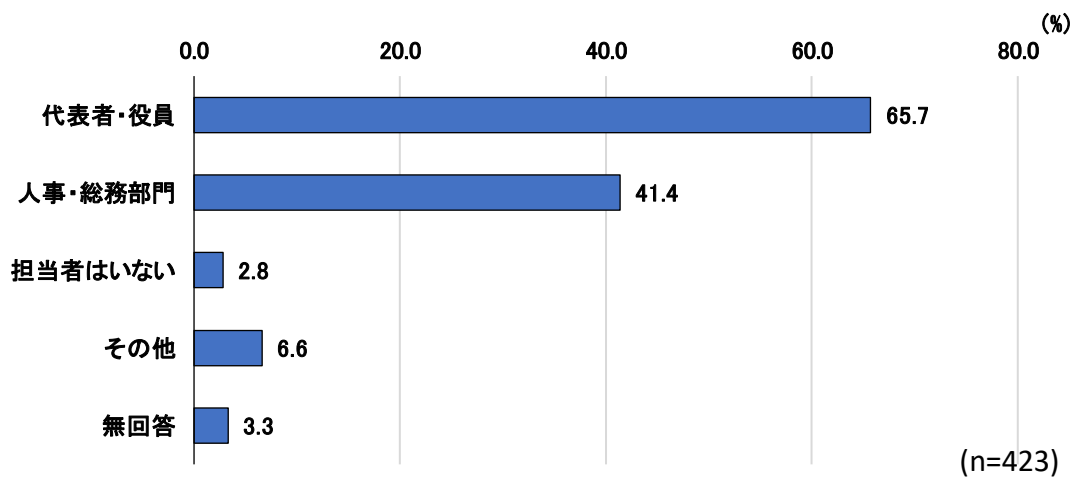
短大・高専・専門学校卒

大学・大学院卒



(4) 人事・採用業務の担当者（複数回答）

区分	代表者・役員	人事・総務部門	担当者がいない	その他	無回答	合計
総数	278 社	175 社	12 社	28 社	14 社	507 社
	65.7%	41.4%	2.8%	6.6%	3.3%	

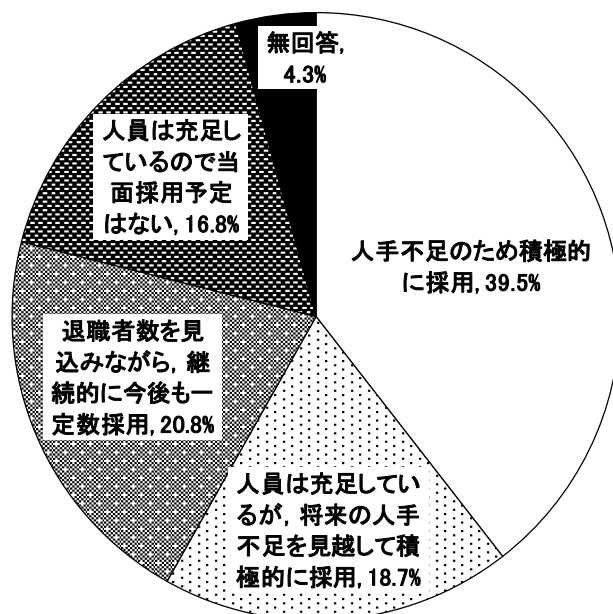


2. 29歳以下の若手正規従業員の採用について

(1) 今後、3年間に若手正規従業員を採用する予定はありますか。(単数回答)

「人手不足のため積極的に採用する予定」が39.5%と最も高く、次いで「退職者数を見込みながら、継続的に今後も一定数採用する予定」が20.8%、「人員は充足しているが、将来の人手不足を見越して積極的に採用する予定」が18.7%となった。

区分	人手不足のため積極的に採用	人員は充足しているが、将来の人手不足を見越して積極的に採用	退職者数を見込みながら、継続的に今後も一定数採用	人員は充足しているので当面採用予定はない	無回答	合計
総数	167社	79社	88社	71社	18社	423社
	39.5%	18.7%	20.8%	16.8%	4.3%	100.0%



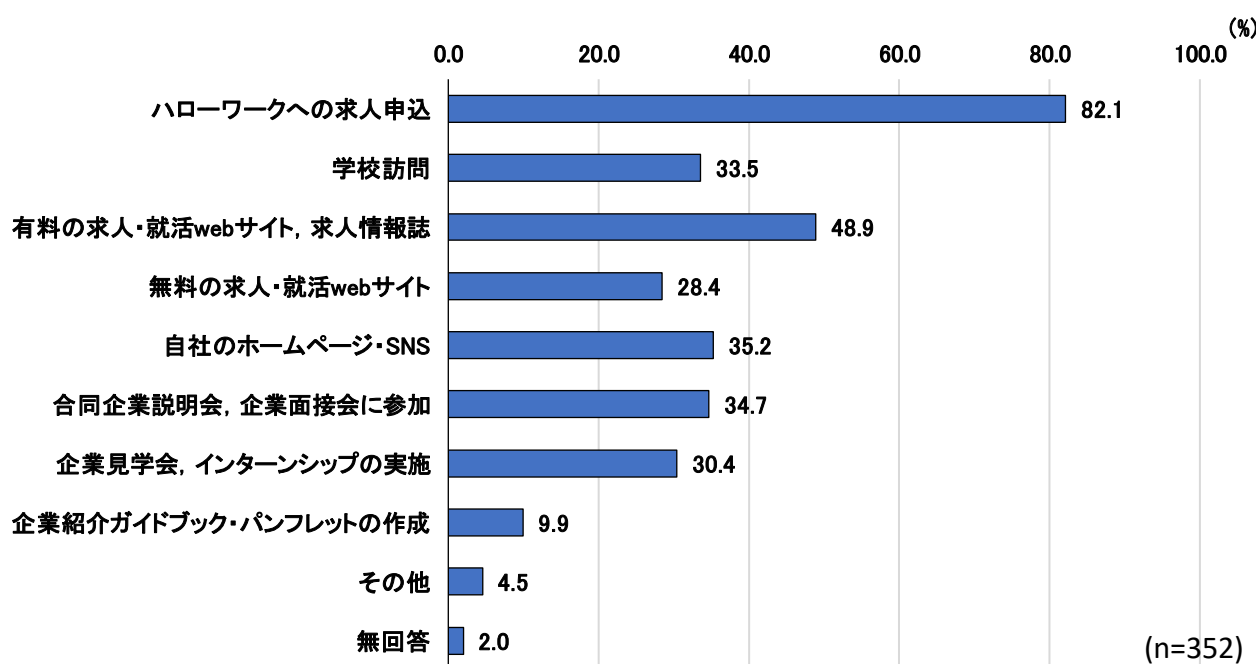
(n=423)

貴社の若手正規従業員の採用方法と、その課題について教えてください。(現在、採用活動を行っていない場合は、過去の実施状況でお答えください。)

(2) 採用活動において実施した募集方法(複数回答) ※今後3年間での若手社員の採用予定について、予定ありを選択または無回答の企業

「ハローワークへの求人申込」が82.1%と最も高く、次いで「有料の求人・就活webサイト、求人情報誌」が48.9%、「自社のホームページ・SNSを活用」が35.2%となった。

区分	総数	
ハローワークへの求人申込	289社	82.1%
学校訪問	118社	33.5%
有料の求人・就活webサイト、求人情報誌	172社	48.9%
無料の求人・就活webサイト	100社	28.4%
自社のホームページ・SNS	124社	35.2%
合同企業説明会、企業面接会に参加	122社	34.7%
企業見学会、インターンシップの実施	107社	30.4%
企業紹介ガイドブック・パンフレットの作成	35社	9.9%
その他	16社	4.5%
無回答	7社	2.0%
合計	1,090社	



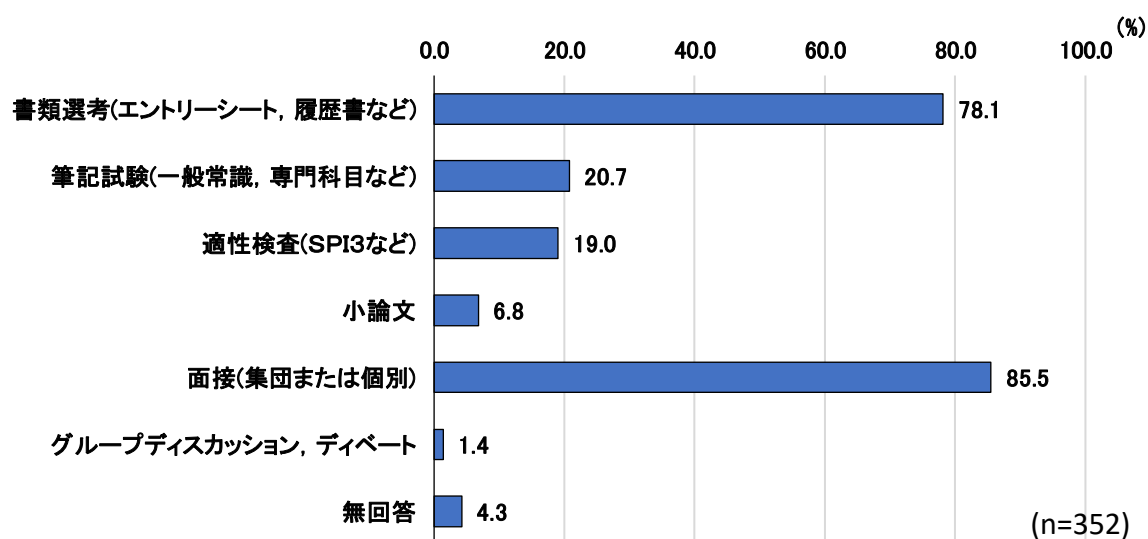
〈その他の主な回答〉

- ・知人の紹介

(3) 採用活動において実施した選考方法（複数回答）※今後3年間での若手社員の採用予定について、予定ありを選択または無回答の企業

「面接（集団または個別）」が85.5%と最も高く、次いで「書類選考（エントリーシート、履歴書など）」が78.1%、「筆記試験（一般常識、専門科目など）」が20.7%となった。

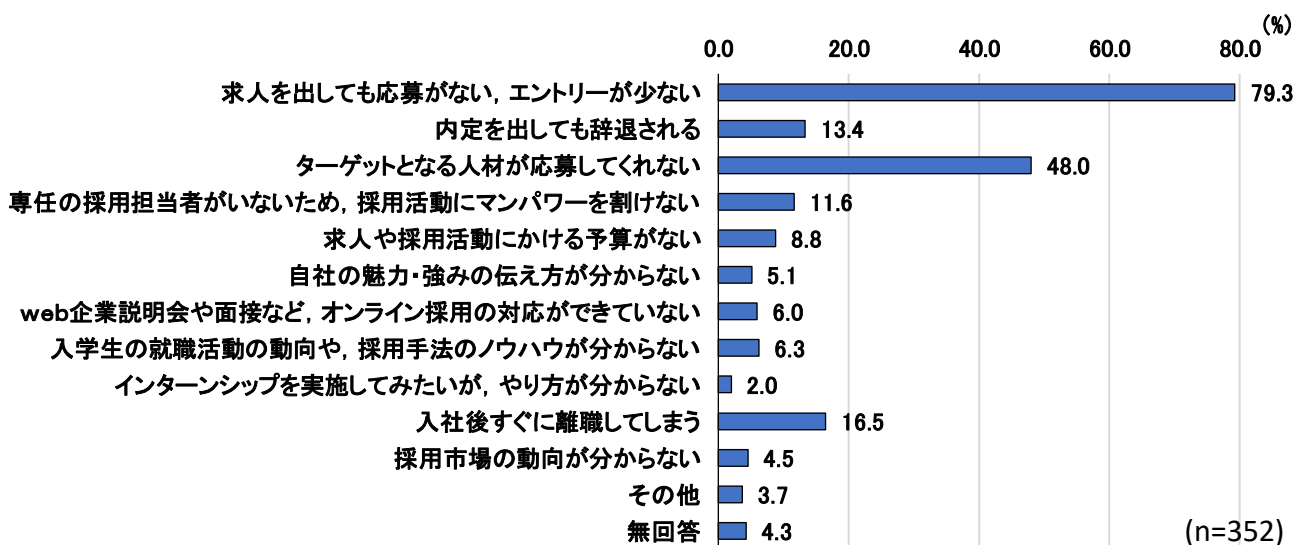
区分	総数	
書類選考(エントリーシート, 履歴書など)	275 社	78.1%
筆記試験(一般常識, 専門科目など)	73 社	20.7%
適性検査(SPI3など)	67 社	19.0%
小論文	24 社	6.8%
面接(集団または個別)	301 社	85.5%
グループディスカッション, ディベート	5 社	1.4%
無回答	15 社	4.3%
合計	760 社	



(4) 採用活動における課題（複数回答）※今後3年間で若手社員の採用予定について、予定ありを選択または無回答の企業

「求人を出しても応募がない、エントリーが少ない」が79.3%と最も高く、次いで「ターゲットとなる人材が応募してくれない」が48.0%、「入社後すぐに離職してしまう」が16.5%となった。

区分	総数	
求人を出しても応募がない、エントリーが少ない	279社	79.3%
内定を出しても辞退される	47社	13.4%
ターゲットとなる人材が応募してくれない	169社	48.0%
専任の採用担当者がいないため、採用活動にマンパワーを割けない	41社	11.6%
求人や採用活動にかかる予算がない	31社	8.8%
自社の魅力・強みの伝え方が分からない	18社	5.1%
web企業説明会や面接など、オンライン採用の対応ができていない	21社	6.0%
入学生の就職活動の動向や、採用手法のノウハウが分からない	22社	6.3%
インターンシップを実施してみたいが、やり方が分からない	7社	2.0%
入社後すぐに離職してしまう	58社	16.5%
採用市場の動向が分からない	16社	4.5%
その他	13社	3.7%
無回答	15社	4.3%
合計	737社	



〈その他の主な回答〉

- ・教育システムが確立していない

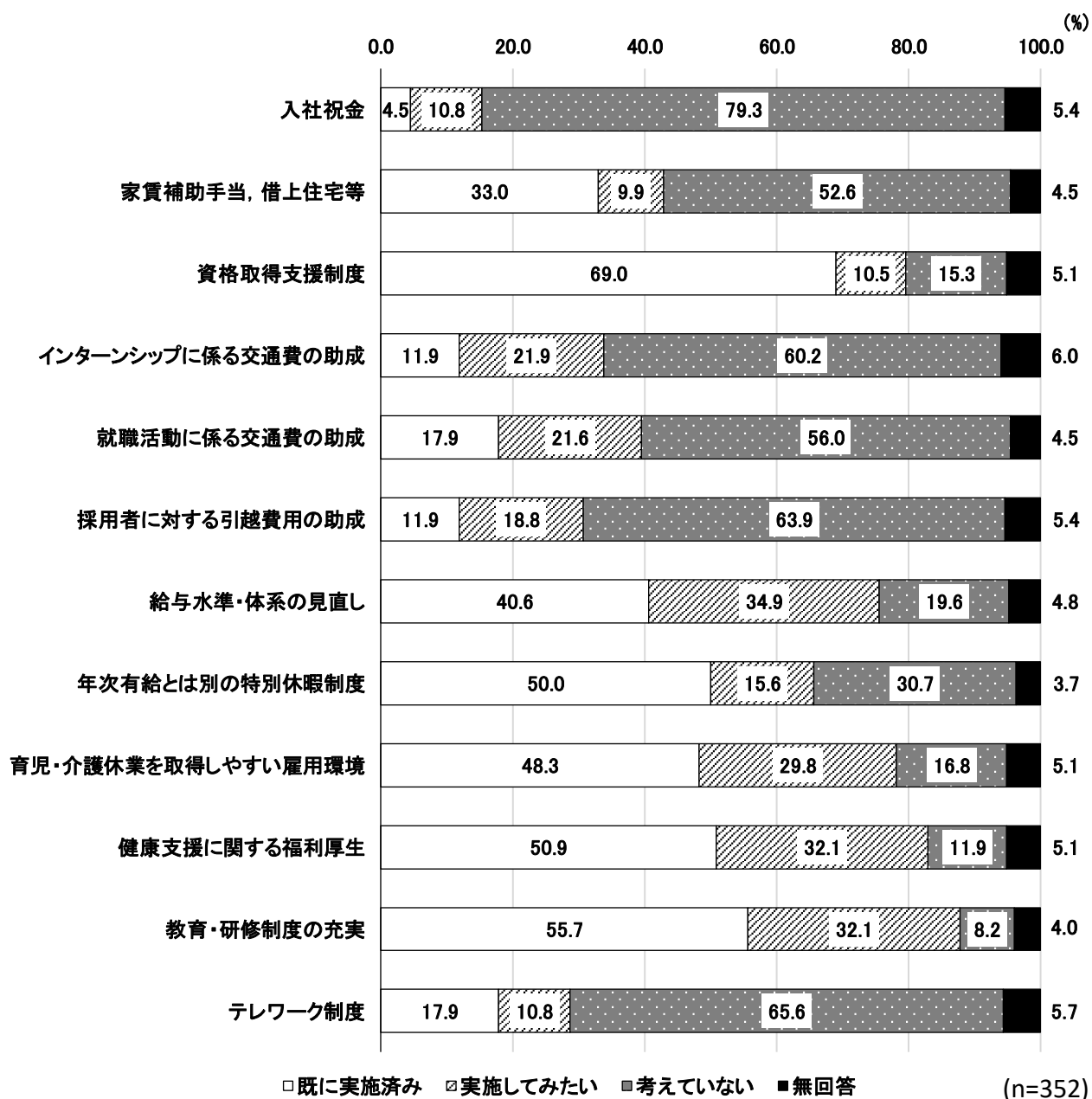
(5) 若手正規従業員の採用を促進するために、貴社で実施していることはありますか。また、実施していない場合、今後、実施してみたいと思いますか。項目ごとに、該当する番号を選んでください。(単数回答) ※今後3年間での若手社員の採用予定について、予定ありを選択または無回答の企業

「既の実施済み」では、「資格取得支援制度」が 69.0%と最も高く、次いで「教育・研修制度の充実」が 55.7%、「健康支援に関する福利厚生」が 50.9%となった。

「実施してみたい」では、「給与水準・体系の見直し」が 34.9%と最も高く、次いで「健康支援に関する福利厚生」と「教育・研修制度の充実」がともに 32.1%となった。

「考えていない」では、「入社祝金」が 79.3%と最も高くなり、次いで「テレワーク制度」が 65.6%、「採用者に対する引越費用の助成」が 63.9%となった。

区分	既の実施済み	実施してみたい	考えていない	無回答	合計
入社祝金	16 社	38 社	279 社	19 社	352 社
	4.5%	10.8%	79.3%	5.4%	100.0%
家賃補助手当, 借上住宅等	116 社	35 社	185 社	16 社	352 社
	33.0%	9.9%	52.6%	4.5%	100.0%
資格取得支援制度	243 社	37 社	54 社	18 社	352 社
	69.0%	10.5%	15.3%	5.1%	100.0%
インターンシップに係る交通費の助成	42 社	77 社	212 社	21 社	352 社
	11.9%	21.9%	60.2%	6.0%	100.0%
就職活動に係る交通費の助成	63 社	76 社	197 社	16 社	352 社
	17.9%	21.6%	56.0%	4.5%	100.0%
採用者に対する引越費用の助成	42 社	66 社	225 社	19 社	352 社
	11.9%	18.8%	63.9%	5.4%	100.0%
給与水準・体系の見直し	143 社	123 社	69 社	17 社	352 社
	40.6%	34.9%	19.6%	4.8%	100.0%
年次有給とは別の特別休暇制度	176 社	55 社	108 社	13 社	352 社
	50.0%	15.6%	30.7%	3.7%	100.0%
育児・介護休業を取得しやすい雇用環境	170 社	105 社	59 社	18 社	352 社
	48.3%	29.8%	16.8%	5.1%	100.0%
健康支援に関する福利厚生	179 社	113 社	42 社	18 社	352 社
	50.9%	32.1%	11.9%	5.1%	100.0%
教育・研修制度の充実	196 社	113 社	29 社	14 社	352 社
	55.7%	32.1%	8.2%	4.0%	100.0%
テレワーク制度	63 社	38 社	231 社	20 社	352 社
	17.9%	10.8%	65.6%	5.7%	100.0%



〈その他実施している取組〉

- ・カーリース制度
- ・残業管理, フレックスタイム制, 時差出勤制
- ・オフィス向け置き惣菜サービスの利用

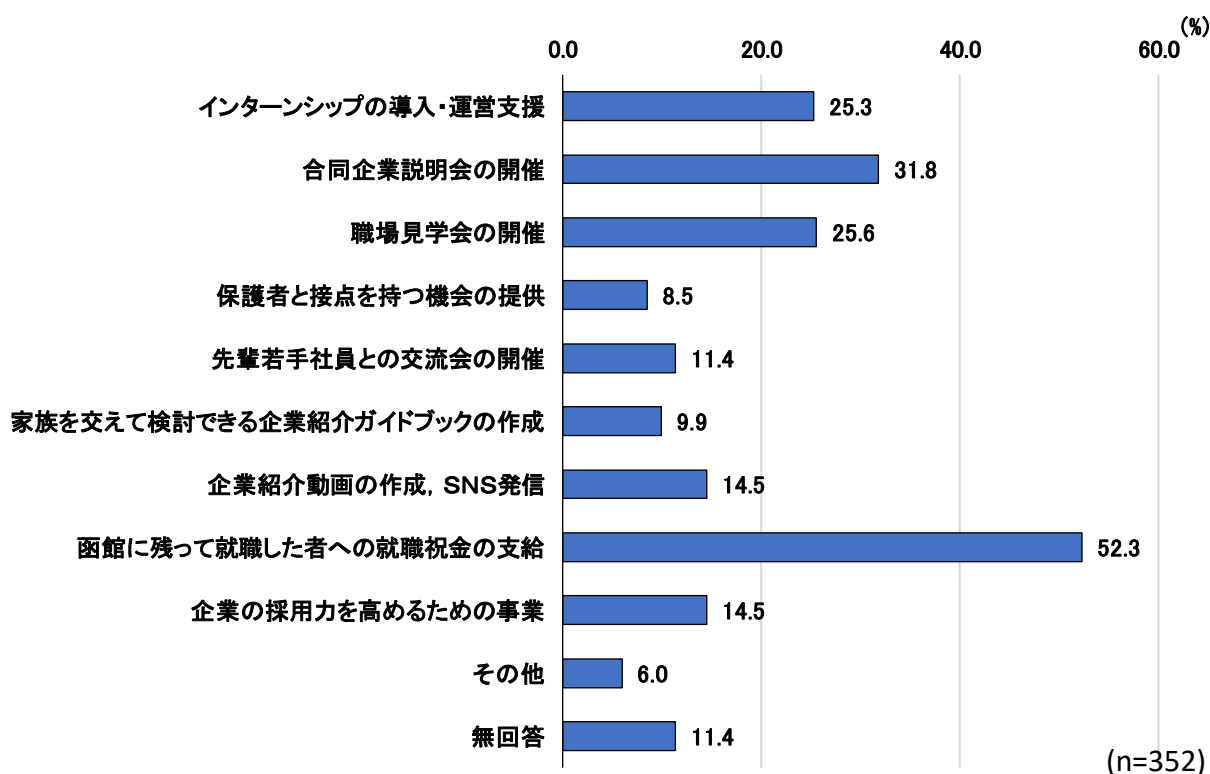
〈その他実施してみたい取組〉

- ・旅行型研修制度
- ・講習会, 勉強会への参加
- ・ホームページの開設

(6) 若手正規従業員の採用確保のために、市に求める支援策はなんですか。(複数回答)
※今後3年間の若手社員の採用予定について、予定ありを選択または無回答の企業

「函館に残って就職した者への就職祝金の支給」が52.3%と最も高く、次いで「合同企業説明会の開催」が31.8%、「職場見学会の開催」が25.6%となった。

区分	総数	
インターンシップの導入・運営支援	89社	25.3%
合同企業説明会の開催	112社	31.8%
職場見学会の開催	90社	25.6%
保護者と接点を持つ機会の提供	30社	8.5%
先輩若手社員との交流会の開催	40社	11.4%
家族を交えて検討できる企業紹介ガイドブックの作成	35社	9.9%
企業紹介動画の作成, SNS発信	51社	14.5%
函館に残って就職した者への就職祝金の支給	184社	52.3%
企業の採用力を高めるための事業	51社	14.5%
その他	21社	6.0%
無回答	40社	11.4%
合計	743社	



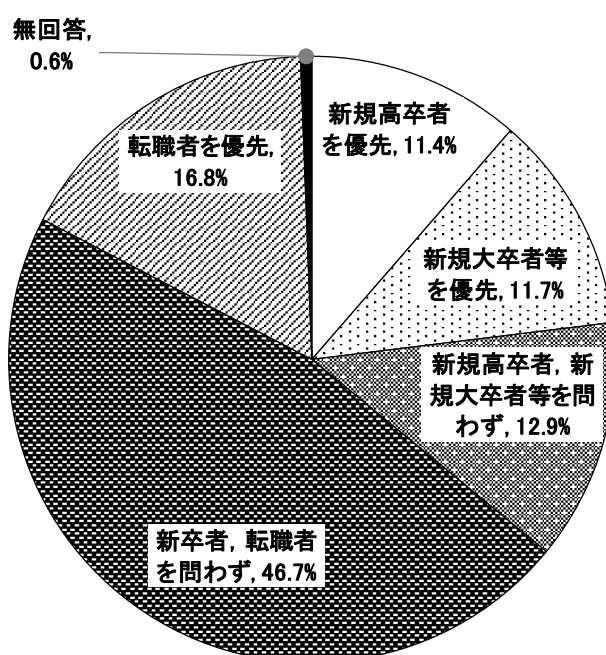
〈その他の主な回答〉

- ・ 魅力を感じるまちづくり
- ・ 市外から市内企業に就職した者への就職祝金の支給

**(7) 若手正規従業員として、どのような方を採用したいですか。(単数回答) ※今後3年間で
の若手社員の採用予定について、予定ありを選択した企業**

「新卒者、転職者を問わず採用したい」が46.7%と最も高く、次いで「転職者を優先して採用したい」が16.8%、「新規高卒者、新規大卒者等を問わず採用したい」が12.9%となった。

区分	新規高卒者を優先	新規大卒者等を優先	新規高卒者、 新規大卒者 等を問わず	新卒者、転職 者を問わず	転職者を優先	無回答	合計
総数	38社	39社	43社	156社	56社	2社	334社
	11.4%	11.7%	12.9%	46.7%	16.8%	0.6%	100.0%



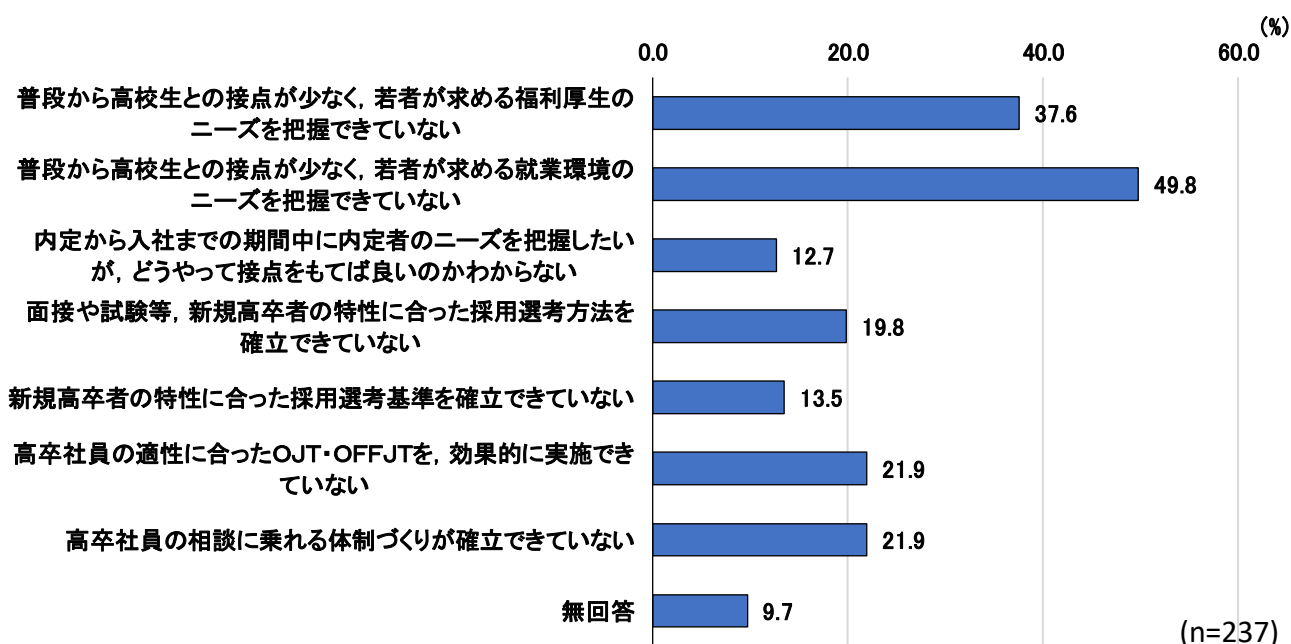
(n=334)

3. 新規高卒者の採用について

(1) 新規高卒者が自社に定着するためにどんな課題があると感じますか。(複数回答) ※若手正規従業員として、どのような方を採用したいかについて、「新規高卒者を優先して採用したい」、「新規高卒者、新規大卒者等を問わず採用したい」、「新卒者、転職者を問わず採用したい」を選択した企業

「普段から高校生との接点が少なく、若者が求める就業環境のニーズを把握できていない」が49.8%と最も高く、次いで「普段から高校生との接点が少なく、若者が求める福利厚生を把握できていない」が37.6%となった。

区分	総数	
普段から高校生との接点が少なく、若者が求める福利厚生のニーズを把握できていない	89社	37.6%
普段から高校生との接点が少なく、若者が求める就業環境のニーズを把握できていない	118社	49.8%
内定から入社までの期間中に内定者のニーズを把握したいが、どうやって接点をもてば良いのかわからない	30社	12.7%
面接や試験等、新規高卒者の特性に合った採用選考方法を確立できていない	47社	19.8%
新規高卒者の特性に合った採用選考基準を確立できていない	32社	13.5%
高卒社員の適性に合ったOJT・OFFJTを、効果的に実施できていない	52社	21.9%
高卒社員の相談に乗れる体制づくりが確立できていない	52社	21.9%
無回答	23社	9.7%
合計	443社	



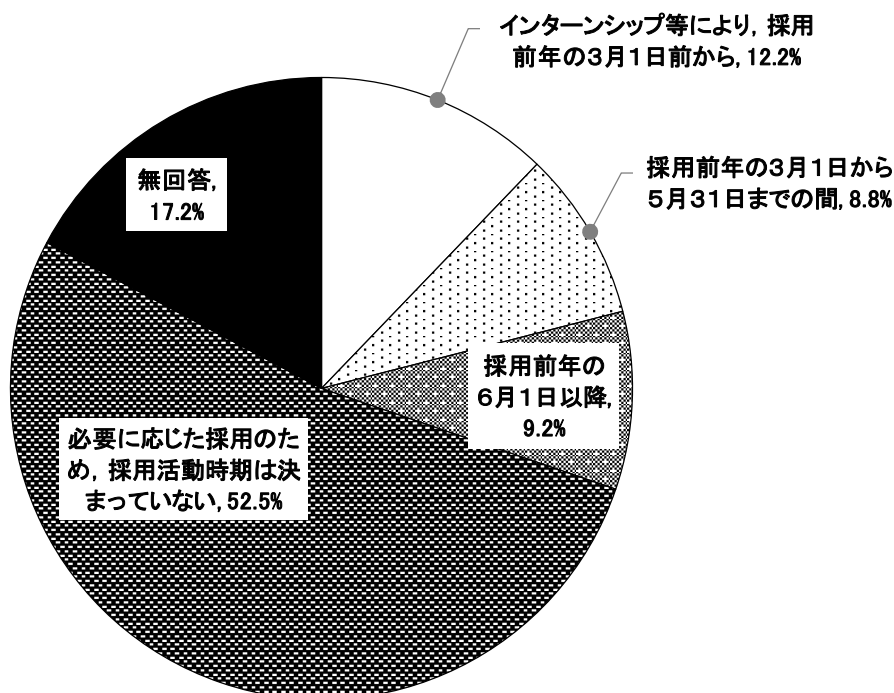
4. 新規大卒者等の採用について

(新規大卒者等の採用実績がある、または採用予定がある方は回答願います) 内閣府の要請により、大卒予定者等への採用広報活動は採用前年の3月1日から、採用選考活動は6月1日からとされている一方で、大学4年生の9割が4月までに会社説明会参加のピークを迎えている状況です。

(1) 貴社の採用活動の開始時期はいつ頃ですか。(単数回答) ※若手正規従業員として、どのような方を採用したいかについて、「新規大卒者等を優先して採用したい」、「新規高卒者、新規大卒者等を問わず採用したい」、「新卒者、転職者を問わず採用したい」を選択した企業

「必要に応じて採用しているため、採用活動時期は決まっていない」が52.5%と最も高く、「無回答」が17.2%、「インターンシップ等により、採用前年の3月1日前から採用活動を開始している」が12.2%となった。

区分	総数	
インターンシップ等により、採用前年の3月1日前から	29 社	12.2%
採用前年の3月1日から5月31日までの間	21 社	8.8%
採用前年の6月1日以降	22 社	9.2%
必要に応じた採用のため、採用活動時期は決まっていない	125 社	52.5%
無回答	41 社	17.2%
合計	238 社	100.0%

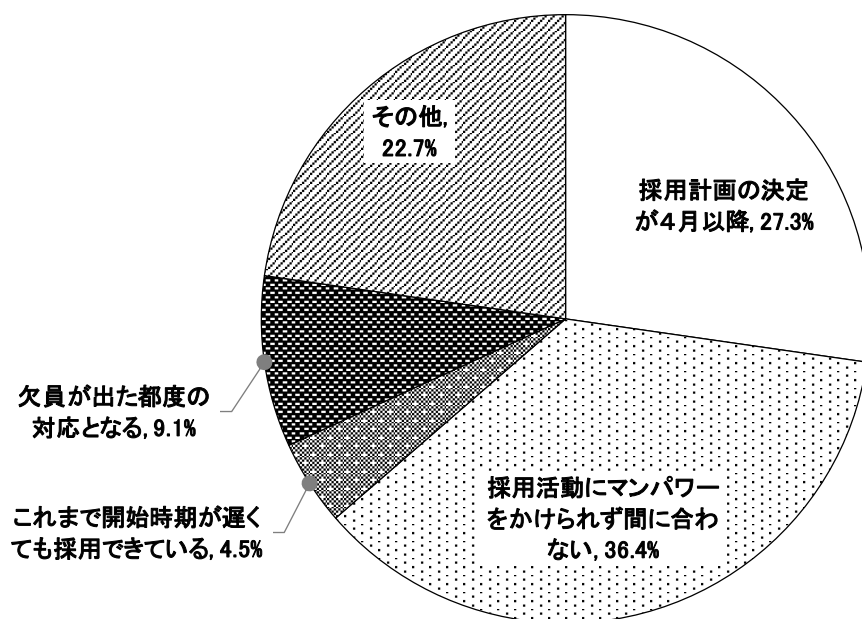


(n=238)

(2) 採用活動が6月以降となる最大の理由はなんですか。(単数回答) ※新規大卒者等の採用活動の開始時期について、「採用前年の6月1日以降」を選択した企業

「採用活動にマンパワーをかけられず間に合わないため」が36.4%と最も高く、次いで「採用計画の決定が4月以降のため」が27.3%、「その他」が22.7%となった。

区分	総数	
採用計画の決定が4月以降	6社	27.3%
採用活動にマンパワーをかけられず間に合わない	8社	36.4%
これまで開始時期が遅くても採用できている	1社	4.5%
大学等からの推薦で採用充足している	0社	0.0%
欠員が出た都度の対応となる	2社	9.1%
その他	5社	22.7%
合計	22社	100.0%



(n=22)

5. 貸与型奨学金返還支援制度について

4年生大学に通う学生のうち、日本学生支援機構などの貸与型奨学金を受給している学生は約半数に及び、借入総額は1人あたり平均324万円（39歳以下）、平均返還期間14.7年、平均返還月額16,880円（年間約20万円）となっています。

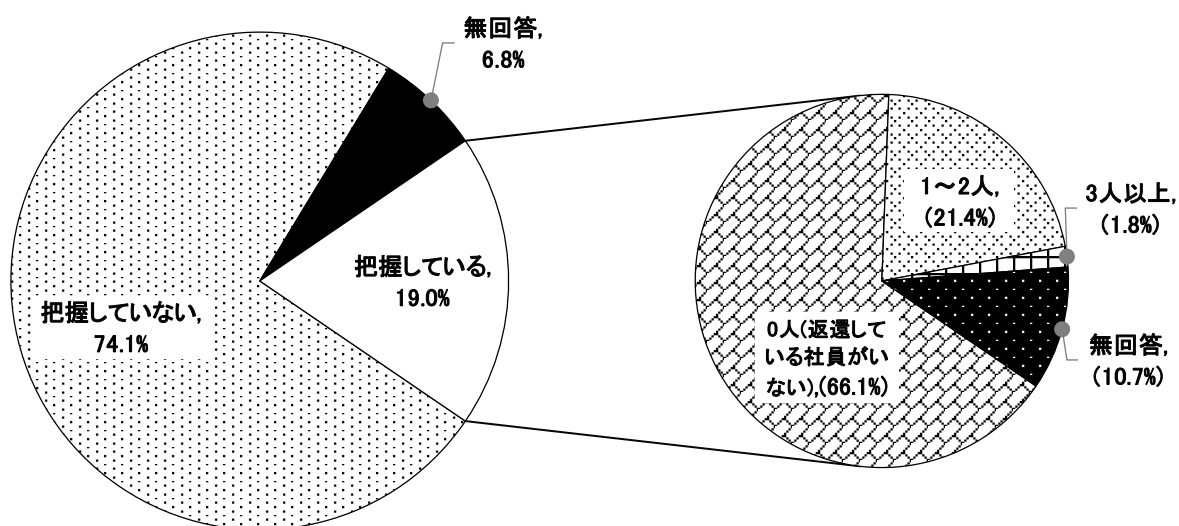
また、函館管内の高校卒業者の71.9%が、進学により函館から転出しています。

こうした状況を踏まえ、以下の設問に回答願います。

(1) 貸与型奨学金を返還している社員を把握していますか。また、人数を把握している場合は人数もご記入ください。(単数回答) ※若手正規従業員として、どのような方を採用したいかについて、「新規大卒者等を優先して採用したい」、「新規高卒者、新規大卒者等を問わず採用したい」、「新卒者、転職者を問わず採用したい」、「転職者を優先して採用したい」を選択した企業

「把握していない」が74.1%、「把握している」が19.0%となった。

区分	把握している					把握していない	無回答	合計
		0人 (返還している社員がいない)	1~2人	3人以上	無回答			
総数	56社	(37社)	(12社)	(1社)	(6社)	218社	20社	294社
	19.0% (100.0%)	(66.1%)	(21.4%)	(1.8%)	(10.7%)	74.1%	6.8%	100.0%

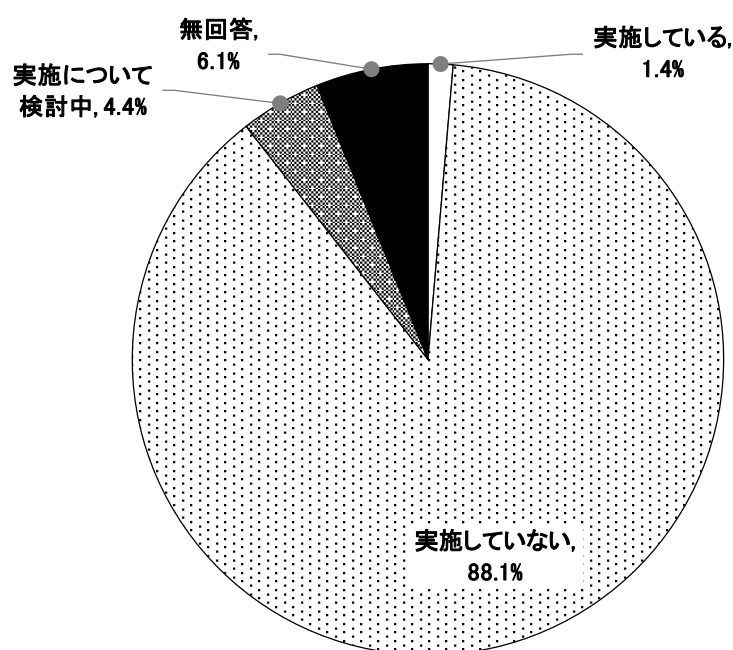


(n=294)

(2) 貴社では、社員の貸与型奨学金返還を支援する制度を実施していますか。(単数回答)
 ※若手正規従業員として、どのような方を採用したいかについて、「新規大卒者等を優先して採用したい」、
 「新規高卒者、新規大卒者等を問わず採用したい」、「新卒者、転職者を問わず採用したい」、「転職者を
 優先して採用したい」を選択した企業

「実施していない」が 88.1%、「無回答」が 6.1%、「実施について検討中」が 4.4%となった。

区分	実施している	実施していない	実施について 検討中	無回答	合計
総数	4 社	259 社	13 社	18 社	294 社
	1.4%	88.1%	4.4%	6.1%	100.0%



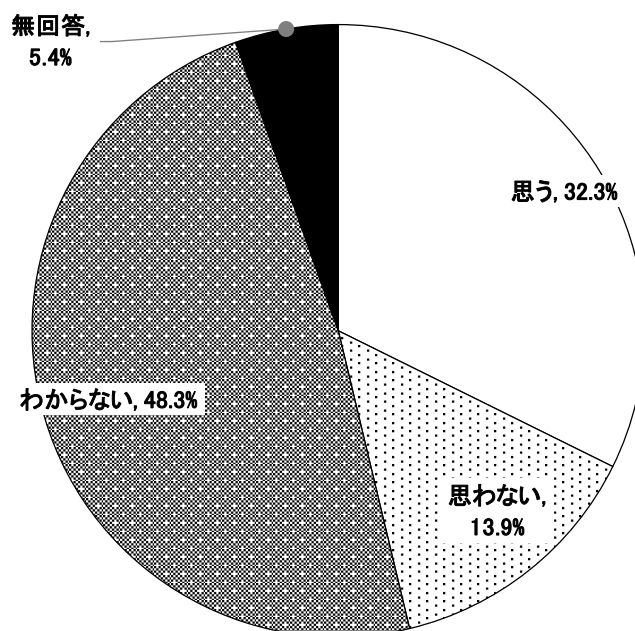
(n=294)

若者の地元企業への就職や市外からのU I Jターン就職を促進するため、地方の企業へ若者が就職する場合に、若者が抱える貸与型奨学金の返還を支援する自治体が増えています。

(3) 貸与型奨学金返還支援制度があった場合、貴社の採用活動にとって利点になると思いますか。(単数回答) ※若手正規従業員として、どのような方を採用したいかについて、「新規大卒者等を優先して採用したい」、「新規高卒者、新規大卒者等を問わず採用したい」、「新卒者、転職者を問わず採用したい」、「転職者を優先して採用したい」を選択した企業

「わからない」が48.3%、「思う」が32.3%、「思わない」が13.9%となった。

区分	思う	思わない	わからない	無回答	合計
総数	95社	41社	142社	16社	294社
	32.3%	13.9%	48.3%	5.4%	100.0%

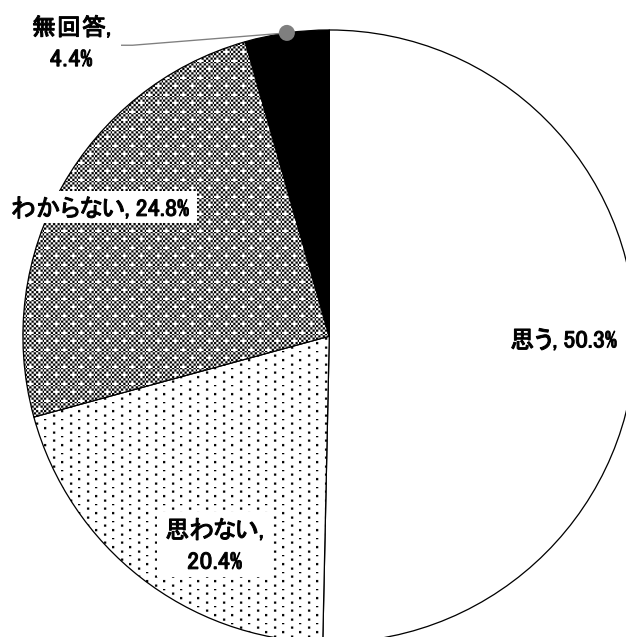


(n=294)

(4) 貸与型奨学金返還支援制度があった場合、若手正規従業員の函館市への定着にとって利点になると思いますか。(単数回答) ※若手正規従業員として、どのような方を採用したいかについて、「新規大卒者等を優先して採用したい」、「新規高卒者、新規大卒者等を問わず採用したい」、「新卒者、転職者を問わず採用したい」、「転職者を優先して採用したい」を選択した企業

「思う」が 50.3%、「わからない」が 24.8%、「思わない」が 20.4%となった。

区分	思う	思わない	わからない	無回答	合計
総数	148 社	60 社	73 社	13 社	294 社
	50.3%	20.4%	24.8%	4.4%	100.0%

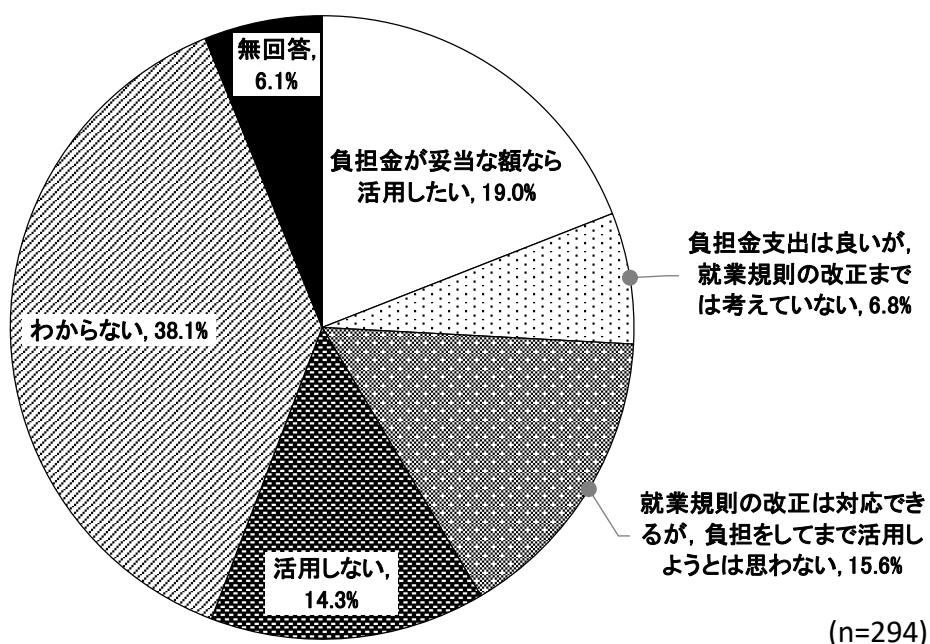


(n=294)

(5) 市が企業とともに社員の奨学金返還の支援を実施する場合、企業の皆様にも一部費用の負担と就業規則等の改正をお願いすることになります。仮に市で返還支援制度を創設した場合の制度活用についての貴社のご意向をお尋ねします。(単数回答) ※若手正規従業員として、どのような方を採用したいかについて、「新規大卒者等を優先して採用したい」、「新規高卒者、新規大卒者等を問わず採用したい」、「新卒者、転職者を問わず採用したい」、「転職者を優先して採用したい」を選択した企業

「わからない」が38.1%、「(返還中の社員1人あたりの)企業負担金が妥当な額なら活用したい」が19.0%、「就業規則の改正は対応できるが、企業負担をしてまで活用しようとは思わない」が15.6%となった。

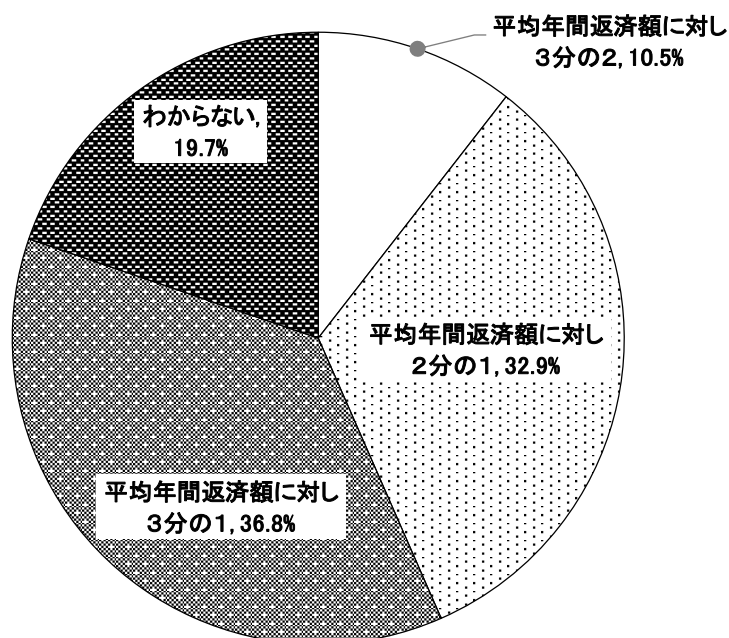
区分	負担金が妥当な額なら活用したい	負担金支出は良いが、就業規則の改正までは考えていない	就業規則の改正は対応できるが、負担をしてまで活用しようとは思わない	活用しない	わからない	無回答	合計
総数	56社	20社	46社	42社	112社	18社	294社
	19.0%	6.8%	15.6%	14.3%	38.1%	6.1%	100.0%



(6) 返還に係る企業負担額については、どれくらいが妥当と考えますか。(単数回答) ※仮に市で返還支援制度を創設した場合の制度活用について、「企業負担金が妥当な額なら活用したい」または「企業負担金を支出するのは良いが、就業規則の改正までは考えていない」を選択した企業

「平均年間返済額に対し3分の1(約7万円)」が36.8%、「平均年間返済額に対し2分の1(約10万円)」が32.9%、「わからない」が19.7%となった。

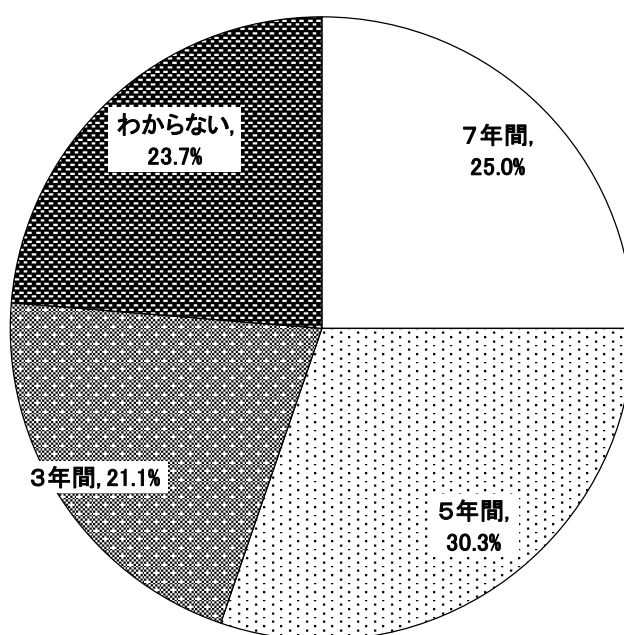
区分	平均年間返済額 に対し3分の2	平均年間返済額 に対し2分の1	平均年間返済額 に対し3分の1	わからない	合計
総数	8社	25社	28社	15社	76社
	10.5%	32.9%	36.8%	19.7%	100.0%



(7) 返還支援期間については、何年間が妥当と考えますか。(単数回答) ※仮に市で返還支援制度を創設した場合の制度活用について、「企業負担金が妥当な額なら活用したい」または「企業負担金を支出するのは良いが、就業規則の改正までは考えていない」を選択した企業

「5年間(平均返済期間の3分の1)」が30.3%、「7年間(平均返済期間の2分の1)」が25.0%、「わからない」が23.7%となった。

区分	7年間	5年間	3年間	わからない	合計
総数	19社	23社	16社	18社	76社
	25.0%	30.3%	21.1%	23.7%	100.0%

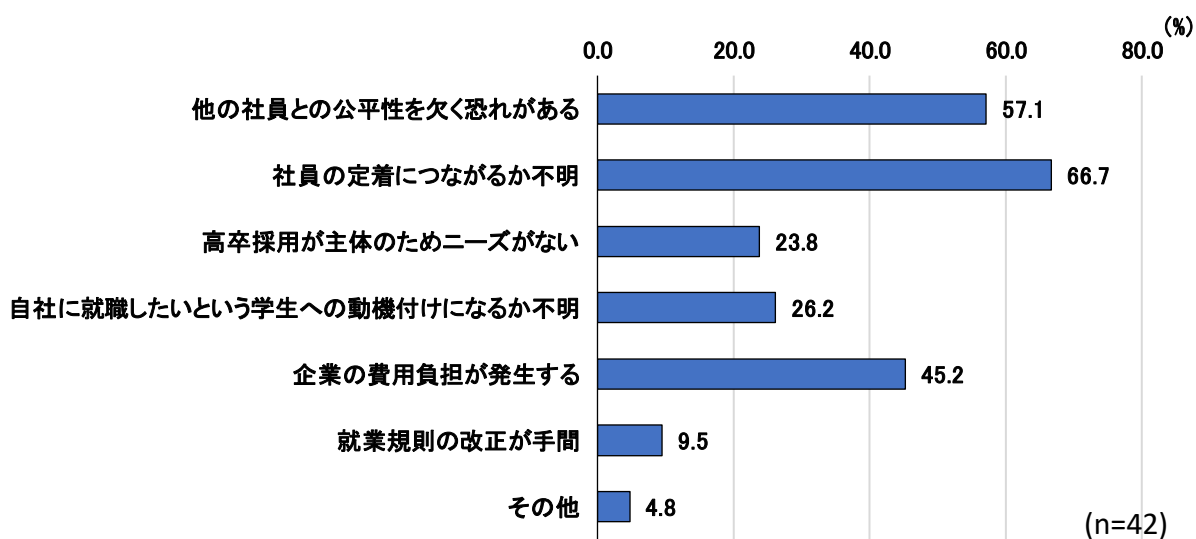


(n=76)

(8) 制度を活用しない(活用に消極的な)理由はなんですか。(複数回答) ※仮に市で返還支援制度を創設した場合の制度活用について、「活用しない」を選択した企業

「社員の定着につながるか不明だから」が 66.7%、「他の社員との公平性を欠く恐れがあるから」が 57.1%、「企業の費用負担が発生するから」が 45.2%となった。

区分	総数	
他の社員との公平性を欠く恐れがある	24 社	57.1%
社員の定着につながるか不明	28 社	66.7%
高卒採用が主体のためニーズがない	10 社	23.8%
自社に就職したいという学生への動機付けになるか不明	11 社	26.2%
企業の費用負担が発生する	19 社	45.2%
就業規則の改正が手間	4 社	9.5%
その他	2 社	4.8%
合計	98 社	



6. 若者の地元定着を実現させるためにお考えのことやお感じのことがありましたら、ご意見をお聞かせ下さい。(自由記述)

自由記述を主な内容で分類すると、「住みよいまちづくり」に関する内容が24.3%と最も高く、次いで「企業誘致，働ける場の増加」が23.4%となった。

(n=111)

区分	総数	
給料の上昇	15 社	13.5%
大型商業施設の建設・誘致	4 社	3.6%
娯楽施設等の建設・誘致	10 社	9.0%
企業誘致，働ける場の増加	26 社	23.4%
地元企業への支援	13 社	11.7%
職場環境の改善	13 社	11.7%
交通の利便性の向上・改善	1 社	0.9%
住みよいまちづくり	27 社	24.3%
地域の情報発信	5 社	4.5%
子育て支援	5 社	4.5%
移住・定住の促進	6 社	5.4%
補助金等の支援	14 社	12.6%
大学を増やす・誘致	5 社	4.5%
教育機関との連携	8 社	7.2%
その他	20 社	18.0%
合計	172 社	

※複数の分野にわたる意見については重複してカウント

〈その他の主な回答〉

- ・ 希望する業種に偏りがある
- ・ 函館の良さ・素晴らしさを感じていない
- ・ 地域の企業との交流を図るイベントの企画が必要

VI. 参考資料 調査票

1.【高校生】

高校生の 皆さんへ 函館での就職に関する 若者の意識調査のお願い

函館市では、少子高齢化の急激な進行に加え、大学進学や就職などによる若者の市外転出に伴う人口減少が続いています。

このような状況を踏まえ、市役所では、地域の未来を担う高校生の皆さんが、将来、函館で就職し、活躍できるように必要な取り組みを検討するため、皆さんの就職に関する意識を調査するアンケートを実施します。

いただいたご意見が今後の函館市の取り組みに反映されるチャンスです。ぜひ調査へのご協力をお願いします。

◆アンケートの概要

1. このアンケートは、函館市内の高校に在籍する高校3年生を対象に実施します。
2. 無記名でお答えいただき、統計的に処理を行った上で公表を行いますので、個人が特定されることはありません。
3. 回答時間は5分程度です。

◆記入（入力）上のご注意

1. ご本人がお答えください。
2. 回答は、選択肢の中から当てはまるものを選んでください。
3. 【性別～卒業後の進路希望】までは、全員にお答えいただけます。それ以降は、
【進学予定の方 ⇒ 問1～問8まで】
【就職予定の方 ⇒ 問9～問17まで】
【まだ決めていない方 ⇒ 問18, 問19】

と、分かれていますので、各自、該当する質問に回答してください。

問合せ先 函館市経済部雇用労政課

電話【0138-21-3308・3309（直通）】

e-mail【kovo@city.hakodate.hokkaido.jp】

全員への質問です。

○性別 1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

※ワークライフバランスに関する統計をとるためにお聞きします。回答していただける方のみ記入してください。

○学校名 ()

○居住地 1. 函館市内 2. 函館市外

11. 知名度が高い職場
12. 親や親族が営んでいる家業・企業を受け継ぎたい
13. その他 ()
14. まだ考えていない、わからない

問4 学校を卒業後は、函館で働きたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 思う ⇒問5, 問6, 問8へ
2. 思わない ⇒問7, 問8へ
3. わからない ⇒終了

(函館での就職を希望する方へお聞きします)

問5 函館で働きたいと思う理由はなんですか。(○はいくつでも)

1. 函館に愛着があるから
2. 家族の近くで暮らしたいから
3. 子供の頃からの友人・知人がいるから
4. やりたい仕事, 働きたい職場があるから
5. 住みやすい街だと思うから
6. 函館を離れて暮らすのが不安だから
7. 地域の発展に貢献したいから
8. お金がかからない, 経済的に有利だから
9. その他 ()

問6 函館での就職を検討する際に、どのようなことが役立つと思いますか。(○は3つまで)

1. 貸与型奨学金(※)を支援する制度がある
2. 函館で就職するとお祝金が支給される
3. (市外に進学した場合)就職活動する際の交通費が支給される
4. (市外に進学した場合)函館に戻って就職する際の引越費用が支給される
5. 職場見学・インターンシップ(就業体験)受入, 求人情報が定期的に提供される
6. 函館市内の合同会社説明会の開催
7. 先輩若手社員との交流会(就活体験談, 仕事のやりがい, 職場の雰囲気など)
8. 会社や仕事内容, 先輩社員の働く様子などを紹介する動画, SNS発信
9. 家族を交えて就職先を検討する場合に利用できる企業紹介ガイドブック(冊子)
10. その他 ()

※貸与型奨学金とは、大学卒業後に返す必要のある奨学金です。

(函館を離れて就職したい方へお聞きします)

問7 函館で働きたいと思わない理由はなんですか。(○はいくつでも)

1. 函館の会社や仕事がよくわからないから
2. 給料が安そうだから
3. 家族と離れて自立して生活したいから
4. 人間関係を新しく作ったり広げたりしたいから
5. 住んでみたい都市や地域があるから
6. 自分がやりたい仕事や働きたい職場が少なそうだから
7. 函館に自分が楽しめる娯楽が少ないから
8. その他 ()

問8 函館で働きたいと思う人を増やすためのアイデアがあれば自由にお書きください。

(自由記述)

進学を予定している方へのアンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

就職を予定している方への質問です。

問9 志望度が最も高い業種を1つ選んでください。

1. 建設業
2. 食料品製造業
3. その他の製造業（機械、金属、印刷など）
4. 情報通信業（電話などの通信、ソフトウェア開発、インターネットサービスなど）
5. 卸売・小売業（デパート・スーパーなどでの商品販売など）
6. 宿泊業（ホテルなど）
7. 飲食業（レストランなど）
8. 教育、学習支援業（幼稚園、認定こども園、学校（教師）、学習塾など）
9. 医療、福祉（病院、保育所、介護事業など）
10. 公務（国・地方自治体の公務員（教師を除く））
11. その他（ ）
12. まだ決まっていない

問10 あなたは将来どんな職場で働きたいですか。（〇はいくつでも）

1. 自分の能力を高める機会がある職場
2. 人間関係や雰囲気がよい職場
3. 休暇が取りやすい職場
4. 残業が少ない職場
5. 世の中や人のためになる仕事をしている職場
6. ITやDXなどを取り入れて業務の合理化などを推進する職場
7. 長期間安定して働くことができる職場
8. 世界や日本のたくさんの人たちを対象に働ける職場
9. 専門性の高い仕事にチャレンジできる職場
10. 給料が高い職場
11. 知名度が高い職場
12. 親や親族が営んでいる家業・企業を受け継ぎたい
13. その他（ ）
14. まだ考えていない、わからない

問11 就職先や仕事を決めるときに参考にすることはなんですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 担任や進路指導の先生の意見・アドバイス | 2. 卒業生・先輩の意見・アドバイス |
| 3. 家族・親戚の意見・アドバイス | 4. 友人・知人の意見・アドバイス |
| 5. インターンシップ（就業体験）、職場見学 | 6. 会社説明会 |
| 7. 会社のホームページ、SNS | 8. その他（ ） |

問12 就職活動をする中で不安に思っていることはなんですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 就職したい会社が見つかるか | 2. 家族と志望先(会社, 仕事)の意見が合うか |
| 3. やりたい仕事が見つかるか | 4. 自分に向いている仕事は何か |
| 5. 雰囲気など, どんな会社なのか分からない | 6. 就職のことを誰に相談してよいか分からない |
| 7. その他 () | |

問13 会社のどのようなことを知りたいですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. PRポイント | 2. どんな人が働いているのか |
| 3. 具体的にどのような仕事をするのか | 4. 先輩社員の入社のかっかけ |
| 5. 先輩社員が感じる仕事のやりがい | 6. 会社が求める人物像 |
| 7. 仕事の教わり方, 学び方 | 8. その他 () |

(函館での就職を希望する方へお聞きします)

問14 函館で働きたいと思う理由はなんですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 函館に愛着があるから | 2. 家族の近くで暮らしたいから |
| 3. 子供の頃からの友人・知人がいるから | 4. やりたい仕事, 働きたい職場があるから |
| 5. 住みやすい街だと思うから | 6. 函館を離れて暮らすのが不安だから |
| 7. 地域の発展に貢献したいから | 8. お金がかからない, 経済的に有利だから |
| 9. その他 () | |

(函館での就職を希望する方へお聞きします)

問15 就職先があれば「うれしい」制度(取り組み)はなんですか。(〇は3つまで)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 貸与型奨学金(※)の返還を支援する制度がある |
| 2. 函館で就職するとお祝金が支給される |
| 3. 家賃補助手当などの住宅関連の支援制度がある |
| 4. リフレッシュ休暇など, 会社オリジナルの休暇制度がある |
| 5. 仕事に必要な資格を取得するための費用をサポートしてくれる |
| 6. 未経験でも安心して仕事を覚えることができる研修制度がある |
| 7. その他 () |

※貸与型奨学金とは, 高校卒業後に返す必要のある奨学金です。

(函館を離れて就職したい方へお聞きします)

問16 函館で働きたいと思わない理由はなんですか。(〇はいくつでも)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 函館の会社や仕事がよくわからないから |
| 2. 給料が安そうだから |
| 3. 家族と離れて自立して生活したいから |
| 4. 人間関係を新しく作ったり広げたりしたいから |
| 5. 住んでみたい都市や地域があるから |
| 6. 自分がやりたい仕事や働きたい職場が少なそうだから |
| 7. 函館に自分が楽しめる娯楽が少ないから |
| 8. その他 () |

問17 函館で働きたいと思う人を増やすためのアイデアがあれば自由にお書きください。

(自由記述)

就職を予定している方へのアンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

進路をまだ決めていない方への質問です。

問18 あなたは将来どんな職場で働きたいですか。(複数回答可)

1. 自分の能力を高める機会がある職場
2. 人間関係や雰囲気がよい職場
3. 休暇が取りやすい職場
4. 残業が少ない職場
5. 世の中や人のためになる仕事をしている職場
6. ITやDXなどを取り入れて業務の合理化などを推進する職場
7. 長期間安定して働くことができる職場
8. 世界や日本のたくさんの人たちを対象に働ける職場
9. 専門性の高い仕事にチャレンジできる職場
10. 給料が高い職場
11. 知名度が高い職場
12. 親や親族が営んでいる家業・企業を受け継ぎたい
13. その他 ()
14. まだ考えていない、わからない

問19 函館で働きたいと思う人を増やすためのアイデアがあれば自由にお書きください。

(自由記述)

進路をまだ決めていない方へのアンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

2.【大学生等】

学生の
皆さんへ

函館での就職に関する 若者の意識調査のお願い

函館市では、少子高齢化の急激な進行に加え、大学進学や就職などによる若者の市外転出に伴う人口減少が続いています。

このような状況を踏まえ、函館市では、地域の未来を担う学生の皆さんが、将来、函館で就職し、活躍できるために必要な施策を検討するため、奨学金の返還支援など、皆さんの就職支援に関するニーズを調査するアンケートを実施します。

いただいたご意見が今後の市の取り組みに反映されるチャンスです。ぜひ調査へのご協力をお願いします。

◆アンケートの概要

1. このアンケートは、函館市内の大学・短大・高専等の学生を対象に実施します。
2. 無記名でお答えいただき、統計的に処理を行った上で公表を行いますので、個人が特定されることはありません。
3. 回答時間は5分程度です。

◆入力上のご注意

1. ご本人がお答えください。
2. 回答は、選択肢の中から当てはまるものを選んでください。

問合せ先 函館市経済部雇用労政課

電話【0138-21-3308・3309（直通）】

e-mail【koyo@city.hakodate.hokkaido.jp】

全員への質問です。

○性別 1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

※ワークライフバランスに関する統計をとるためにお聞きします。回答していただける方のみ記入してください。

○学校名 ()

○学部・学科 ()

○学年 1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生 5. その他

○出身地(高校卒業時の居住地) 1. 函館市内 2. 北海道内() 3. 北海道外()

※2を選択した方は括弧内に市町村名を入力してください。

※3を選択した方は括弧内に都府県名を入力してください。

○貸与型奨学金制度の利用 1. 利用している 2. 利用していない

※貸与型奨学金とは、卒業後に返還が必要な奨学金をいいます

○給付型奨学金制度の利用 1. 利用している 2. 利用していない

※給付型奨学金とは、卒業後の返還が不要な奨学金をいいます

問1 インターンシップ（就業体験）の経験はありますか。ある場合、直近で参加した時期と期間（日数）について教えてください。

1. ある（ 年生の 月 日間）⇒問2、 2. ない⇒問3へ
問3へ

問2 インターンシップに参加した目的はなんですか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 志望する業界で働くことを経験するため | 2. まだ知らない業界を知り、視野を広げるため |
| 3. 入社希望の企業をよく知るため | 4. 実践的な仕事を経験できるため |
| 5. 仕事に対する自分の適性を知るため | 6. 就職活動に有利だと考えるから（選考の免除、 |
| 7. その他（ ） | 優遇） |

問3 どのような内容のインターンシップに興味がありますか。（○はいくつでも）

- | |
|-----------------------------|
| 1. 会社・職場見学 |
| 2. 実際の職場での仕事体験 |
| 3. グループワーク（企画立案、課題解決、プレゼン等） |
| 4. 社員の講義、レクチャー |
| 5. 就職に直結する選考を兼ねたインターンシップ |
| 6. その他（ ） |
| 7. インターンシップに興味はない |

問4 志望度が最も高い業種を選んでください。（○は1つだけ）

- | |
|--|
| 1. 建設業 |
| 2. 食料品製造業 |
| 3. その他の製造業（機械、金属、印刷など） |
| 4. 情報通信業（電話などの通信、ソフトウェア開発、インターネットサービスなど） |
| 5. 卸売・小売業（デパート・スーパーなどでの商品販売など） |
| 6. 宿泊業（ホテルなど） |
| 7. 飲食業（レストランなど） |
| 8. 教育、学習支援業（幼稚園、認定こども園、学校（教師）、学習塾など） |
| 9. 医療、福祉（病院、保育所、介護事業など） |
| 10. 公務（国・地方自治体の公務員（教師を除く）） |
| 11. その他（ ） |
| 12. まだ決まっていない |

問5 あなたは将来どんな職場で働きたいですか。（○はいくつでも）

- | |
|---------------------|
| 1. 自分の能力を高める機会がある職場 |
|---------------------|

2. 人間関係や雰囲気がよい職場
3. 休暇が取りやすい職場
4. 残業が少ない職場
5. 世の中や人のためになる仕事をしている職場
6. ITやDXなどを取り入れて業務の合理化などを推進する職場
7. 長期間安定して働くことができる職場
8. 世界や日本のたくさんの人たちを対象に働ける職場
9. 専門性の高い仕事にチャレンジできる職場
10. 給料が高い職場
11. 知名度が高い職場
12. 親や親族が営んでいる家業・企業を受け継ぎたい
13. その他 ()
14. まだ考えていない、わからない

問6 就職先を検討する際に普段活用している情報源はなんですか。(〇はいくつでも)

1. 大学・短大・高専・専門学校就職支援部署、教職員のアドバイス
2. (マイナビ・リクナビ・ジョブキタ等の) 民間の就活 web サイト
3. 函館しごとネット (函館市運営)
4. 地元企業先輩達とのトークセッション (函館市主催)
5. 会社のホームページやSNS
6. (合同) 企業説明会
7. 就職・求人情報誌
8. 新聞の求人広告や求人記事
9. ハローワーク (窓口相談や求人情報)
10. インターンシップ、職場見学、アルバイト経験
11. 家族・親戚の意見・アドバイス
12. 母校のOB・OG、友人知人の意見
13. その他 ()
14. まだ就職のことは考えていない

問7 企業のどのようなことを知りたいですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 企業のPRポイント | 2. 職場の雰囲気、社風 |
| 3. 具体的な業務内容 | 4. 残業、休日出勤の実態 |
| 5. 求める人物像 | 6. 若手社員の定着状況 |
| 7. 教育研修制度、資格取得に関すること | 8. 先輩社員の声 (入社きっかけ、やりがい) |
| 9. 採用の選考方法・選考基準・採用実績 | 10. 勤務年数に応じたモデル年収 |
| 11. 福利厚生制度の内容 | 12. 職場見学やインターンシップの受入 |
| 13. その他 () | |

問8 あれば「うれしい就職支援の取り組み」はなんですか。(〇は3つまで)

1. 就職祝金の支給
2. 就職活動する際の交通費の支給
3. 就職する際の引越費用の支給
4. 新卒向け職場見学・インターンシップ (就業体験) 受入、求人情報の定期的な提供
5. 高校在学時の仕事体験イベント
6. 職場の雰囲気や仕事のやりがいなどを直接聞ける先輩若手社員との交流会

7. 会社や仕事内容、先輩社員の働く様子などを紹介する動画、SNS発信
8. 家族を交えて就職先を検討する場合に利用できる企業紹介ガイドブック（冊子）
9. 地元企業の採用力を高めるための採用担当者向け支援
10. 企業担当者と直接対面できる合同企業説明会
11. オンラインで実施する合同企業説明会
12. その他（ ）

問9 就職先があれば「うれしい制度（取り組み）」はなんですか。（〇は3つまで）

1. 入社祝金の支給
2. 家賃補助、借上住宅など住まいに関する福利厚生
3. リフレッシュ休暇など企業オリジナルの休暇制度
4. 資格取得支援制度（費用補助等）
5. 充実した社員教育や研修制度
6. テレワークなど柔軟な働き方
7. 育児・介護休業を取得しやすい雇用環境
8. 健康支援に関する福利厚生
9. その他（ ）

問10 学校を卒業後、函館で働きたいと思いますか。（〇は1つだけ）

1. 思う ⇒問11, 13へ
2. 思わない ⇒問12, 13へ
3. わからない ⇒問13へ

問11 函館で働きたいと思う理由はなんですか。（〇はいくつでも）

1. 自分の意思により、親や親類の近くで暮らしたいから
2. 親の意思により、函館で暮らしてほしいと言われているから
3. 長男・長女だから
4. 友人や交際相手がいるから
5. 文化・スポーツ活動など、属するコミュニティがあるから
6. 実家暮らしや物価の安さなど経済的メリットがあるから
7. 函館での生活に慣れているから
8. 函館が好きだから
9. 地元に貢献したいから
10. 自分が志望する企業や仕事があるから
11. 仕事とプライベートを両立させたいから
12. 都会での生活が大変そうだから（通勤ラッシュや家賃の高さなど）
13. その他（ ）

問12 函館で働きたいと思わない理由はなんですか。（〇はいくつでも）

1. 初任給や勤務体系など、希望条件に合う待遇の会社や仕事が少ないから
2. 業種や職種が限られ、就職先の選択肢が少ないから
3. 函館にどんな会社があるか分からないから
4. 住んでみたい地域があるから、都会で暮らしたいから
5. 出身地（函館以外）に戻りたいから
6. 家族から函館以外での就職を勧められているから
7. その他（ ）

問13 函館で働きたいと思う人を増やすためのアイデアがあれば自由にお書きください。

(自由記述)

貸与型奨学金制度を利用している方へお聞きします。

【利用していない方は問13で終了です。】

問14 差し支えない範囲でけっこうですので、利用している貸与型奨学金について教えてください。

①貸与型奨学金の種類（〇はいくつでも）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 日本学生支援機構：第一種奨学金 | 2. 日本学生支援機構：第二種奨学金 |
| 3. 大学独自の奨学金 | 4. 地方自治体の奨学金 |
| 5. 民間団体の奨学金 | 6. わからない |

②年間の返還予定額（〇は1つだけ）なお、併用している方は、合算した額でお答えください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 12万円未満（毎月の支払いが1万円未満） |
| 2. 12万円以上24万円未満（毎月の支払いが1万円以上2万円未満） |
| 3. 24万円以上（毎月の支払いが2万円以上） |
| 4. わからない |

③返還（償還）予定期間（〇は1つだけ）なお、併用している方は、最も長い期間でお答えください。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 10年未満 | 2. 10年以上 |
| 3. わからない | |

問15 就職活動の際、『第一志望の奨学金返還補助制度のない函館以外の企業』と、『同じ業種で奨学金返還補助制度のある函館の企業』があったとき、函館の企業はエントリー候補になり得ますか。（〇は1つだけ）

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 候補になる | 2. 候補にならない |
| 3. どちらともいえない | |

問16 就職活動の際、もし『奨学金返還補助制度のない函館以外の企業』から先に内定を得て承諾書・誓約書を提出した後に、『奨学金返還補助制度のある函館の企業』から内定を得たとき、函館の企業に入社する動機になり得ますか。（〇は1つだけ）

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 動機になる | 2. 動機にならない |
| 3. どちらともいえない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

3.【若手社員】

若手社員
の皆さんへ

函館での就職に関する
若者の意識調査のお願い

函館市では、少子高齢化の急激な進行に加え、大学進学や就職などによる若者の市外転出に伴う人口減少が続いています。

このような状況を踏まえ、函館市では、現在、地域で就職・活躍している皆さんが、函館で就職した理由など、ご自身の経験を踏まえたリアルな声（ご意見）もお聞きして、今後の市の取り組みに反映させていこうと考えておりますので、ぜひアンケート調査へのご協力をお願いします。

◆アンケートの概要

1. このアンケートは、函館市内の企業に勤務している方で、R4.4.1時点で29歳以下の正規雇用の社員を対象に実施します。
2. 無記名でお答えいただき、統計的に処理を行った上で公表を行いますので、個人が特定されることはありません。
3. 回答時間は5分程度です。

◆入力上のご注意

1. ご本人がお答えください。
2. 回答は、選択肢の中から当てはまるものを選んでください。

問合せ先 函館市経済部雇用労政課

電話【0138-21-3308・3309（直通）】

e-mail【koyo@city.hakodate.hokkaido.jp】

○性別 1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

※ワークライフバランスに関する統計をとるためにお聞きします。回答していただける方のみ記入してください。

○年齢（R4.4.1時点の年齢）

1. 10代
2. 20代前半（24歳まで）
3. 20代後半（25～29歳）

○最終学歴（卒業歴）

1. 高校卒業
2. 短大・高専・専門学校卒業
3. 大学・大学院卒業
4. その他（ ）

○現在の居住地

1. 函館市内
2. 函館市外

○入社年月日

現在の勤務先の入社年月 西暦（ ）年（ ）月

○入社形態

現在の勤務先の入社形態

1. 新卒で入社
2. 途中で入社

- 高校卒業時の居住地 1. 函館市内 2. 北海道内 () 3. 北海道外 ()
※2を選択した方は括弧内に市町村名を入力してください。
※3を選択した方は括弧内に都府県名を入力してください。

○高校卒業後の居住

【高校卒業時は函館市内に居住していた方へ】高校卒業後、進学や就職などで一度でも函館を出たことがありますか。

1. 函館を出たことがある 2. 函館を出たことがない

○世帯の状況 (○は1つだけ)

1. 一人暮らし 2. 親と同居 3. 夫婦のみ 4. 夫婦と子
5. ひとり親と子 6. 三世代で同居 7. その他 ()

○貸与型奨学金制度の利用

学生時代、貸与型奨学金を借用し、現在、その返還をしていますか (○は1つだけ)

1. 現在、返還期間中であり、返還している
2. 現在、返還期間中だが、事情により返還期限猶予または減額返還を申請し適用を受けている
3. 現在、返還期間中だが、事情により返還できず、遅延している状態
4. 現在、返還期間前
5. 貸与型奨学金は借用しなかった

○給付型奨学金制度の利用

学生時代、給付型奨学金は利用しましたか (○は1つだけ)

1. 利用した
2. 利用しなかった

問1 今の勤務先の業種 (主たる業種を1つだけ選んでください。)

- | |
|--|
| <p>1. 建設業
2. 食料品製造業
3. その他の製造業 (機械, 金属, 印刷など)
4. 情報通信業 (電話などの通信, ソフトウェア開発, インターネットサービスなど)
5. 卸売業・小売業 (デパート・スーパーなどでの商品販売など)
6. 宿泊業 (ホテルなど)
7. 飲食業 (レストランなど)
8. 教育, 学習支援業 (幼稚園, 認定こども園, 学校, 学習塾など)
9. 医療, 福祉 (病院, 保育所, 介護事業など)
10. その他 ()</p> |
|--|

問2 函館で就職した理由はなんですか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| <p>1. 自分の意思により、親や親類の近くで暮らしたかったから
2. 親の意思により、函館で暮らしてほしいと言われたから
3. 結婚・出産・介護など家族の都合があったから
4. 長男・長女だから
5. 友人や交際相手がいるから
6. 自分が志望する企業や仕事があったから
7. 実家暮らしや物価の安さなど経済的メリットがあるから</p> |
|---|

8. 函館での生活に慣れているから
9. 函館が好きだから
10. 地元貢献したかったから
11. 文化・スポーツ活動など、属するコミュニティがあったから
12. 学校から就職先を勧められたから
13. 家族や友人から就職先を勧められたから
14. 転勤がなさそうだから
15. 仕事とプライベートを両立させたいから
16. 都会での生活が大変そうだから（通勤ラッシュや家賃の高さなど）
17. その他（ ）

問3 今の勤務先に就職する際の就職活動で、何社応募しましたか（面接の有無は問いません）

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 1社のみ（今の勤務先のみ） | 2. 2～5社 |
| 3. 6～10社 | 4. 11社以上 |

問4 今の勤務先に就職するとき、重視した（魅力を感じた）点はなんですか。（○はいくつでも）

1. 会社の将来性
2. 企業イメージ・ブランド
3. 地元での評判
4. 教育制度・キャリアアップ
5. 職種・仕事内容
6. 会社の製品・サービス
7. 賃金
8. 福利厚生
9. 労働時間・休日・休暇
10. 通勤のしやすさ
11. 自宅から通えること
12. その他（ ）

問5 今の勤務先を選ぶ際に参考にしたことはなんでしたか。（○はいくつでも）

1. 高校の就職指導、担任・担当教員のアドバイス
2. 大学・短大・高専・専門学校の就職支援部署、教職員のアドバイス
3. （マイナビ・リクナビ・ジョブキタ等の）民間の就活 web サイト
4. 函館しごとネット（函館市運営）
5. 地元企業の先輩達とのトークセッション（函館市主催）
6. 会社のホームページ、SNS
7. （合同）企業説明会
8. 就職・求人情報誌
9. 新聞の求人広告や求人記事
10. ハローワーク（窓口相談や求人情報）
11. インターンシップ、職場見学、アルバイト経験
12. 家族・親戚の意見・アドバイス
13. 母校のOB・OG、友人知人の意見・アドバイス
14. その他（ ）

問6 今回の勤務先に入社後、ギャップを感じたことがありますか。各項目ごとに期待を上回った場合はプラス、ギャップがなかった場合は期待通り、下回った場合はマイナスを選んでください。(○は1つだけ)

1. 業務内容	1 プラス	2 期待通り	3 マイナス
2. 配属部署	1 プラス	2 期待通り	3 マイナス
3. 職場の雰囲気, 人間関係	1 プラス	2 期待通り	3 マイナス
4. 残業の多さ, 休暇の取得のしやすさ	1 プラス	2 期待通り	3 マイナス
5. 給与	1 プラス	2 期待通り	3 マイナス
6. 福利厚生制度	1 プラス	2 期待通り	3 マイナス
7. キャリア開発, 教育, 研修制度	1 プラス	2 期待通り	3 マイナス

問7 ご自身の経験を踏まえて、若者の函館への就職を促進させるためには、どのような就職支援の取組みを充実させるべきだと思いますか。(○は3つまで)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 貸与型奨学金の返還補助制度 2. 就職祝金の支給 3. (進学等で市外に出た場合) 函館で就職活動する際の交通費の支給 4. (進学等で市外に出た場合) 函館に戻って就職する際の引越費用の支給 5. 地元企業の新卒向け職場見学・インターンシップ(就業体験)受入, 求人情報の定期的な提供 6. 高校在学者対象の仕事体験イベント 7. 職場の雰囲気や仕事のやりがいなどを直接聞ける先輩若手社員との交流会 8. 会社や仕事内容, 先輩社員の働く様子などを紹介する動画, SNS発信 9. 家族を交えて就職先を検討する場合に利用できる企業紹介ガイドブック(冊子) 10. 地元企業の採用力を高めるための採用担当者向け支援 11. 企業担当者と直接対面できる合同企業説明会 12. オンラインで実施する合同企業説明会 13. その他()
--

問8 若者の地元就職・定着を実現させるためにお考えのことや感じたことがありましたら、ご意見をお聞かせください。

(自由記述)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

企業の
皆様へ

企業の採用活動等の実態調査のお願い

函館市では、少子高齢化の急激な進行に加え、大学進学や就職などによる若者の市外転出に伴う人口減少が続いていることから、今年度、地域の未来を担う若者の地元就職と定着の促進に効果的な事業を検討するため、高校生や大学生、若手社員を対象に、就職に関する意識調査を実施するとともに、企業の皆様に対し、採用活動等の実態調査を実施することといたしました。

この調査結果を、今後の市の取り組みに反映させていこうと考えておりますので、ぜひ調査へのご協力をお願いします。

また、貴社において、令和4年4月1日時点で29歳以下の正規従業員が在籍している場合は、若手社員向けのアンケート調査へのご協力もいただきたく、社内での周知等につきまして、お願い申し上げます。

◆アンケートの概要

1. このアンケートは、商工会議所および中小企業家同友会の会員企業、立地企業で、下記の要件全てに該当する事業所を対象に実施します。
 - ①市内の事業所
 - ②現在、人手不足か否かにかかわらず、今後も定期的・継続的に新卒者等の若年者の正規従業員を雇用する意向のある事業所
2. 市外の支社・営業所等は含めずにご回答ください。（東京本社に人事・採用権があるなど『函館市外の事業所』が回答する場合は、『函館市内の事業所』に関する採用活動についてご回答ください。
3. 本調査で知り得た情報は、統計的に処理を行った上で公表を行いますので、企業（個人）が特定されることはありません。
4. 調査結果は、行政上の基礎資料とする目的以外に使用しません。また、調査により得られた情報、調査票については、調査終了後に責任をもって処分いたします。
5. 回答時間は5～10分程度です。

◆記入上のご注意

1. 事業所の代表者、人事担当者など、人事・採用権のある方がお答えください。
2. 回答は、選択肢の中から当てはまるものを選んでください。
3. 調査事項は、特に指定のない限り、令和4年4月1日時点の状況でお答えください。

◆回答方法・期限

1. 回答は、令和4年10月31日（月）までに、専用サイトから入力してください。
2. 調査票の郵送を希望される場合は、
e-mail【koyo@city.hakodate.hokkaido.jp】
電 話【0138-21-3308・3309（直通）】
F A X【0138-27-0460】 で、函館市経済部雇用労政課にご連絡ください。
※郵送の場合は、同封する返信用封筒で、令和4年10月28日（金）までにポストに投函してください。

(1) 【採用活動において実施した募集方法】(○はいくつでも)

1. ハローワークへの求人申込
2. 学校訪問
3. 有料の求人・就活 web サイト, 求人情報誌を活用
4. 無料の求人・就活 web サイトを活用
5. 自社のホームページ・SNS を活用
6. 合同企業説明会, 企業面接会に参加
7. 企業見学会, インターンシップ (就業体験) の実施
8. 企業紹介ガイドブック・パンフレットの作成
9. その他 ()

(2) 【採用活動において実施した選考方法】(○はいくつでも)

1. 書類選考 (エントリーシート, 履歴書など)	2. 筆記試験 (一般常識, 専門科目など)
3. 適性検査 (SPI 3 など)	4. 小論文
5. 面接 (集団または個別)	6. グループディスカッション, ディベート

(3) 【採用活動における課題】(○はいくつでも)

1. 求人を出しても応募がない, エントリーが少ない
2. 内定を出しても辞退される
3. ターゲットとなる人材が応募してくれない
4. 専任の採用担当者がいないため, 採用活動にマンパワーを割けない
5. 求人や採用活動にかかる予算がない
6. 自社の魅力・強みの伝え方が分からない
7. web 企業説明会や面接など, オンライン採用の対応ができていない
8. 入学生の就職活動の動向や, 採用手法のノウハウが分からない
9. インターンシップを実施してみたいが, やり方が分からない
10. 入社後すぐに離職してしまう
11. 採用市場の動向が分からない
12. その他 ()

問3

(1) 若手正規従業員の採用を促進するために, 貴社で実施していることはありますか。また, 実施していない場合, 今後, 実施してみたいと思いますか。項目ごとに, 該当する番号を選んでください。(各項目ごとに○は1つだけ)

1. 入社祝金	1 既に実施済み	2 実施してみたい	3 考えていない
2. 家賃補助手当, 借上住宅等	1 既に実施済み	2 実施してみたい	3 考えていない
3. 資格取得支援制度 (費用負担)	1 既に実施済み	2 実施してみたい	3 考えていない
4. インターンシップに係る交通費の助成	1 既に実施済み	2 実施してみたい	3 考えていない
5. 就職活動に係る交通費の助成	1 既に実施済み	2 実施してみたい	3 考えていない
6. 採用者に対する引越費用の助成	1 既に実施済み	2 実施してみたい	3 考えていない
7. 給与水準・体系の見直し	1 既に実施済み	2 実施してみたい	3 考えていない
8. 年次有給とは別の特別休暇(有給)制度	1 既に実施済み	2 実施してみたい	3 考えていない

9. 育児・介護休業を取得しやすい雇用環境	1 既に実施済み	2 実施してみたい	3 考えていない
10. 健康支援に関する福利厚生	1 既に実施済み	2 実施してみたい	3 考えていない
11. 教育・研修制度の充実	1 既に実施済み	2 実施してみたい	3 考えていない
12. テレワーク制度	1 既に実施済み	2 実施してみたい	3 考えていない
13. その他（ ）	1 既に実施済み	2 実施してみたい	

(2) 若手正規従業員の採用確保のために、市に求める支援策はなんですか。(〇はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"> 1. インターンシップ（就業体験）の導入・運営支援 2. 合同企業説明会の開催 3. 職場見学会の開催 4. 保護者と接点を持つ機会の提供 5. 先輩若手社員との交流会の開催 6. 家族を交えて就職先を検討する場合に利用できる企業紹介ガイドブック（冊子）の作成 7. 企業紹介動画の作成，SNS発信 8. 函館に残って就職した者への就職祝金の支給 9. 企業の採用力を高めるための事業（採用戦略，企業説明スキルの向上，オンライン化への対応等） 10. その他（ ）

問4 若手正規従業員として、どのような方を採用したいですか。(〇は1つだけ)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 新規高卒者を優先して採用したい ⇒問5，問10 2. 新規大卒者等（大学，短大，高専，専門学校の卒業生）を優先して採用したい ⇒問6～問10 3. 新規高卒者，新規大卒者等を問わず採用したい ⇒問5～問10 4. 新卒者，転職者を問わず採用したい ⇒問5～問10 5. 転職者を優先して採用したい ⇒問7～問10

新規高卒者の採用について

問5 新規高卒者が自社に定着するためにどんな課題があると感じますか。(〇はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 普段から高校生との接点が少なく，若者が求める福利厚生のニーズを把握できていない 2. 普段から高校生との接点が少なく，若者が求める就業（職場）環境のニーズを把握できていない 3. 内定から入社までの期間中に内定者のニーズを把握したいが，どうやって接点をもてば良いのかわからない 4. 面接や試験等，新規高卒者の特性に合った採用選考方法を確立できていない 5. 新規高卒者の特性に合った採用選考基準を確立できていない 6. 高卒社員の適性に合ったOJT・OFFJTを，効果的に実施できていない 7. 高卒社員の相談に乗れる体制づくりが確率できていない

新規大卒者等の採用について

問6 （新規大卒者等の採用実績がある，または採用予定がある方は回答願います）

内閣府の要請により，大卒予定者等への採用広報活動は採用前年の3月1日から，採用選考活動は6月1日からとされている一方で，大学4年生の9割が4月までに会社説明会参加のピークを迎えている状況です。

(1) 貴社の採用活動の開始時期はいつ頃ですか。(○は1つだけ)

【(例) R5.4月採用なら, R4年3月から採用活動】

- | |
|---|
| 1. インターンシップ等により, 採用前年の3月1日前から採用活動を開始している ⇒問7へ |
| 2. 採用前年の3月1日から5月31日までの間に採用活動を開始している ⇒問7へ |
| 3. 採用前年の6月1日以降に採用活動を開始している ⇒(2)へ |
| 4. 必要に応じて採用しているため, 採用活動時期は決まっていない ⇒問7へ |

(2) 採用活動が6月以降となる最大の理由はなんですか。(○は1つだけ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 採用計画の決定が4月以降のため |
| 2. 採用活動にマンパワーをかけられず間に合わないため |
| 3. これまで開始時期が遅くても採用できているため |
| 4. 大学等からの推薦で採用充足しているため |
| 5. 欠員が出た都度の対応となるため |
| 6. その他 () |

貸与型奨学金返還支援制度についてお聞きします。

4年制大学に通う学生のうち, 日本学生支援機構などの貸与型奨学金を受給している学生は約半数に及び, 借入総額は1人あたり平均324万円(39歳以下), 平均返還期間14.7年, 平均返還月額16,880円(年間約20万円)となっています。

また, 函館管内の高校卒業者の71.9%が, 進学により函館から転出しています。

こうした状況を踏まえ, 以下の設問に回答願います。

問7 貸与型奨学金を返還している社員を把握していますか。また, 人数を把握している場合は人数もご記入ください。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------------------------|------------|
| 1. 把握している (<input type="text"/> 人) | 2. 把握していない |
|-------------------------------------|------------|

問8 貴社では, 社員の貸与型奨学金返還を支援する制度を実施していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 実施している | 2. 実施していない |
| 3. 実施について検討中 | |

問9 若者の地元企業への就職や市外からのU I Jターン就職を促進するため, 地方の企業へ若者が就職する場合に, 若者が抱える貸与型奨学金の返還を支援する自治体が増えています。

(1) 貸与型奨学金返還支援制度があった場合, 貴社の採用活動にとって利点になると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 思う | 2. 思わない |
| 3. わからない | |

(2) 貸与型奨学金返還支援制度があった場合, 若手正規従業員の函館市への定着にとって利点になると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|---------|
| 1. 思う | 2. 思わない |
|-------|---------|

3. わからない

(3) 市が企業とともに社員の奨学金返還の支援を実施する場合、企業の皆様にも一部費用の負担と就業規則等の改正をお願いすることになりますが、仮に市で返還支援制度を創設した場合の制度活用についての貴社のご意向をお尋ねします。(○は1つだけ)

1. (返還中の社員1人あたりの) 企業負担金が妥当な額なら活用したい⇒(4)⇒(5)へ
2. (返還中の社員1人あたりの) 企業負担金を支出するのは良いが、就業規則の改正までは考えていない⇒(4)⇒(5)へ
3. 就業規則の改正は対応できるが、企業負担をしてまで活用しようとは思わない⇒問10へ
4. 活用しない⇒(6)へ
5. 分からない⇒問10へ

(4) 返還に係る企業負担額については、どれくらいが妥当と考えますか。(○は1つだけ)

1. 平均年間返済額に対し3分の2 (約14万円)
2. 平均年間返済額に対し2分の1 (約10万円)
3. 平均年間返済額に対し3分の1 (約7万円)
4. 分からない

(5) 返還支援期間については、何年間が妥当と考えますか。(○は1つだけ)

1. 7年間 (平均返済期間の2分の1)
2. 5年間 (平均返済期間の3分の1)
3. 3年間 (平均返済期間の5分の1)
4. 分からない

(6) 制度を活用しない(活用に消極的な)理由はなんですか。(○はいくつでも)

1. 他の社員との公平性を欠く恐れがあるから
2. 社員の定着につながるか不明だから
3. 高卒採用が主体のためニーズがないから
4. 自社に就職したいという学生への動機付けになるか不明だから
5. 企業の費用負担が発生するから
6. 就業規則の改正が手間だから
7. その他 ()

問10 若者の地元定着を実現させるためにお考えのことやお感じのことがありましたら、ご意見をお聞かせ下さい(自由記載)

(御協力) 差し支えなければ、企業名を記入してください。企業名を公表することはありません。(任意)

企業名 ()

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。